

区分	授業科目	講義演習 実習の別	単位数		担当教員名 ()内は 非常勤講師	毎週授業時間数				資格取得に必要な履修科目								備考		
						1 学 年		2 学 年		介護職員 初任者研修	介護福祉士 受験	社会福祉士 編入	メデイカル セラピー	日商P C 検定3級	介護予防 運動	インストラ クション	社会福祉 士主任			
						前 期	後 期	前 期	後 期										必 修	選 択
医療的 ケア	医療的 ケア I	講	4	西 井					4						◎					
	医療的 ケア II	演	1	西井・石橋											◎					
専 門 分 野	福祉ビジネス I	講	1	吉牟田			2											○		
	福祉ビジネス II	講	1	小 平			2											○		
	医療事務概論	講	1	小平・(新村)			1											○		
	介護事務概論	講	1	小平・(松島)			1											○		
	情報処理演習	演	1	吉牟田			2							◎			○			
	医療・福祉とICT	講	2	吉牟田					2									○		
	医療と介護の報酬請求	演	1	西井・(加藤・ 新村・松島)					2									○		
	医療秘書実務	演	1	小 平					2									○		
	富山型福祉特別講義	講	2	小平・(能登・ 田尻・西村)														○		
インターンシップ	演	1	専任全員			*											○			
科 目	社会保障論	講	2	関					2					◎					○	
	児童家庭福祉論	講	2	(佐 原)													○		○	
	地域福祉論 I	講	2	関													○		○	
	地域福祉論 II	講	2	(森 脇)													○		○	
	相談援助の理論と方法I	講	2	(村 上)					2								○		○	
	相談援助の理論と方法II	講	2	(村 上)													○		○	
	相談援助演習 I	演	1	(室 林)					2								○		○	
	相談援助演習 II	演	1	(室 林)													○		○	
キ ャ リ ア	介護福祉総合演習 I	演	1	専任全員					2											
	介護福祉総合演習 II	演	1	専任全員																
	キャリアデザイン演習	演	1	小 平					2											
総合的研究	演	2	専任全員				2	2												
小 計		32	66				20	0	15	18	8	35	0	28						
計		42	73				34	4	16	20	8	39	0	28						

※調整あり

履修上の注意

- 介護福祉士資格
 - 資格取得に必要な単位を取得した者は、介護福祉士国家試験の受験資格を取得できる。次のとおりとする。
 - 区分「人間と社会」の選択科目○印の7科目のうち5単位以上（120時間以上）を選択する。
 - 区分「キャリア」介護福祉総合演習I・IIは、介護福祉士の国家試験に必要な科目のため履修することが望ましい。
- 四年制大学への編入
社会福祉士の受験資格取得のため編入学を目指す者は、介護福祉士にソーシャルワーク分野の科目を履修することを推奨する。
- 社会福祉士主任任用資格
○印の科目のうちから3科目以上の単位を取得して卒業した者は、社会福祉士主任任用資格を取得することができる。
- 介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級）
 - 介護福祉士資格取得に必要な科目の一部を履修する（科目の読替え）ことで修了することができる。
 - 初任者研修に関する全科目の終了後に、試験を実施し合格した場合に認定する。
- レクリエーションインストラクター
資格取得に関わる◎印の全科目の単位を取得して卒業した者は、レクリエーション・インストラクター資格を取得することができる。「レクリエーション概論」「レクリエーション活動援助法」は、学外行事への参加が求められる。
- メデイカルセラピー、ケアセラピーの資格
推奨科目を履修し、一般財団法人日本医療教育財団による医療事務技能審査試験、ケアセラピー技能認定試験に合格して認定される。
- 介護予防運動スペシャリストは、指定科目を履修し、認定団体によるレポート審査を経て認定される。

授業科目名	医学一般			科目コード	W111-10				
科目区分	専門科目 - ところとからだのしくみ - ところとからだのしくみ		担当教員名	田淵 英一					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	医学一般III					
関連科目	医学一般II								
資格等 取得との関連	介護福祉士免許必須科目								
授業の概要	人体を構成している各組織や器官の構造（解剖学）と機能（生理学）を知り、生体機能を維持するために各器官がどのように機能分担して働いているかを理解する。								
学習目標	介護技術の基礎となる人体の構造や機能の基本的知識を習得し、理解する。また、介護サービスにおける安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する。								
キーワード	解剖、生理、生命、ヒト、遺伝、細胞、臓器、医学								
テキスト・ 参考書等	佐藤昭夫、佐伯由香著 人体の構造と機能 医歯薬出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人体を構成している各組織や器官の名称および機能を説明できる。								
LO-2	介護士に関わる解剖生理学系の専門技術や技法を習得している。								
LO-3	分子・遺伝子レベル、細胞レベル、臓器レベルで、ヒトの成り立ちを考えることができる。								
LO-4	授業を通して、自分自身を含め、人間が自然の”理”の中で生きていることを理解できる。								
LO-5	人体の構造と働き、さらには人間社会の成り立ちの基本がわかることにより、社会的能力の必要性がわかる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	30								30
LO-2	10								10
LO-3	30								30
LO-4	20								20
LO-5	10								10
備考	試験は記述式です。 身体の構造と仕組みについての知識度と理解度で判定します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	からだのしくみの理解 オリエンテーション、生命とは、進化論に基づくヒトのなりたち	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 また、日頃から、疾病について興味を持ち、学ぶ機会も設ける。	600分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第2回	からだのしくみの理解 遺伝子によるタンパク質合成のしくみ	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	90分
第3回	からだのしくみの理解 運動系 骨、骨格、関節	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第4回	からだのしくみの理解 運動系 筋(骨格筋と平滑筋)、ヒトの運動の仕組み	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第5回	からだのしくみの理解 神経系 構造と働き、大脳皮質の機能の概要	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第6回	からだのしくみの理解 神経系 自律神経、感覚 感覚受容の仕組み、感覚の種類	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第7回	からだのしくみの理解 感覚 視覚、聴覚の働き	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第8回	からだのしくみの理解 循環系 心臓の構造と機能、血液およびリンパ液の流れ	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第9回	からだのしくみの理解 血液 血液の成分、赤血球・白血球(免疫)・血小板の働き	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第10回	からだのしくみの理解 体液 組成・水分の出納バランス、呼吸器系 肺の構造と機能	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分

第11回	からだのしくみの理解 消化器系 消化器官の構造と機能	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	180分
第12回	からだのしくみの理解 代謝 栄養素と代謝	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	180分
第13回	からだのしくみの理解 泌尿器系 腎臓 尿の生成・排泄の仕組み	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	240分
第14回	からだのしくみの理解 体温調節 核心温・体温調節の仕組み、生殖と老化 生殖器の構造と機能	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	240分
第15回	からだのしくみの理解 内分泌（ホルモン）系 内分泌臓器の種類、構造、機能	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	300分

授業科目名	医学一般			科目コード	W111-11				
科目区分	専門科目 - こととからだのしくみ - こととからだのしくみ		担当教員名	西井 啓子					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	高校までに習得した身体の構造や働きに関する基本的な知識		後継科目	医学一般					
関連科目	医学一般、生活支援技術、介護福祉論								
資格等 取得との関連	介護職員初任者研修修了科目、介護福祉士指定科目、社会福祉主事任用資格指定科目（選択）								
授業の概要	日常生活を送るために欠かせない基本的な行動（動作）に関することとからだのしくみを理解する。								
学習目標	1. からだとこととからのしくみを全体的に概説できる。 2. 睡眠、移動、食事等の日常生活動作の基本的な仕組みを説明できる。								
キーワード	からだ、ことと、解剖・生理、日常生活、機能低下								
テキスト・ 参考書等	小坂橋喜久代他編 「最新介護福祉全書 12 こととからだのしくみ」メヂカルフレンド社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	からだとこととからのしくみを理解し、睡眠、移動、食事等の日常生活に必要な行為の基本的な仕組みに関する知識を有する。								
LO-2									
LO-3	生活支援がどこにどの程度なぜ必要かを判断する能力を有する。								
LO-4	こととからだのしくみを学ぶことに対して熱心に意欲を持って臨むことができ、積極的に発言することができる。								
LO-5									
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	40				10			100
LO-1	50	20							70
LO-2									
LO-3		20							20
LO-4						10			10
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、第1章「生きている」しくみの理解 からだの成り立ちの理解 からだの形と臓器の場、からだの部位の名称、生命徴候としての呼吸、体温、脈拍、血圧	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本講義を振り返りわからないところをまとめる	60分
第2回	生命徴候（体温、脈拍、呼吸、血圧）測定	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】	60分
第3回	第1章 生きているしくみの理解 テキストP20 - 35	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】わからないところをまとめておく	60分
第4回	第2章 こころのしくみの理解 脳のつくりと働き、こころと脳のつながり、しくみ（テキストP53 - 74）	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】	60分
第5回	第8章 睡眠に関連したこころとからだのしくみ	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】	60分
第6回	第8章 睡眠に関連したこころとからだのしくみ	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】	60分
第7回	感覚器で外界をとらえるしくみを理解する	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】	60分
第8回	自律神経と呼吸器、消化器、泌尿器、内分泌、生殖器 テキストP97 - 114、P20、27、183 - 192、249 - 256、	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】	60分
第9回	第4章 「活動・移動」に関連したこころとからだのしくみ テキスト139 - 151	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】	60分
第10回	第4章「活動・移動」に関連したこころとからだのしくみ p 154 - 172	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】歩行のメカニズムについてまとめておく。	60分

第11回	第7章「排泄」に関連したところからだのしくみ p 253～267	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】	90分
第12回	第12章「食事」に関連したところからだのしくみ p183～207	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】自然の排泄を妨げる要因をまとめておく。	60分
第13回	第7章「排泄」に関連したところからだのしくみ テキストP257～284	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】排泄のメカニズムについてまとめる。	60分
第14回	第6章「入浴・清潔保持」に関連したところからだのしくみ p 231～246	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】入浴のトラブルについてまとめておく。全体を振り返り、まとめの時間に質問する。	120分
第15回	まとめ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	心理一般			科目コード	W111-20				
科目区分	専門科目 - こととからだのしくみ - こととからだのしくみ			担当教員名	樋口 康彦				
開講時期	1年後期			授業の方法	講義				
必修・選択	選択			単位数	2単位				
前提科目(知識)				後継科目	なし				
関連科目	コミュニケーション論、人間の尊厳と自立								
資格等 取得との関連									
授業の概要	現代ほど人間の心理とそれが導き出す様々な行動のメカニズムが注目されている時はない。 本講義では心理学の概論書に必ず出てくる基本事項について日常生活で体験する様々な出来事を例に挙げながら、できるだけ平易に説明していく。								
学習目標	心理学の入門書に記載されているような基本事項、性格、感覚、記憶などについて基本的な事柄を理解し、日常生活に役立てられるようにする。								
キーワード	性格、知能、記憶、学習								
テキスト・ 参考書等	特になし。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5	心理学の基本的な分野である欲求、知能、性格、感情、学習、記憶、認知と思考、感覚、知覚について理解する。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		10			30			100
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5	60		10			30			100
備考	Aの30は授業態度とする。 レポートは採点后、コメントをつけて返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション。心理学とは何か。心理学の研究対象および心理学の研究方法について。	
	【予習】シラバスを読んで授業の内容について確認する。	30分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	60分
第2回	欲求・動機づけ。欲求のメカニズムと種類について。	
	【予習】欲求および動機づけについて、本や心理学辞典などで調べる。	60分
	【復習】欲求のメカニズムについて考える。	60分
第3回	欲求・動機づけと行動。欲求充足のメカニズムについて。	
	【予習】欲求・動機づけと行動について、本で調べる。	80分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	90分
第4回	知能とは何か。知能の測定法および知能と創造性。知能に影響を与えるのは遺伝か環境か。	
	【予習】知能について、本や心理学辞典などで調べる。	120分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分
第5回	性格について。性格研究の歴史的展望および性格の測定方法。	
	【予習】性格研究の歴史的展望を、本や心理学辞典などで調べる。	90分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分
第6回	性格形成の要因(1)。遺伝か環境か。	
	【予習】性格形成における遺伝と環境の影響について本やインターネットを用いて調べる。	120分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分
第7回	性格形成の要因(2)。性格形成における社会的要因について。	
	【予習】性格形成における社会的影響について本やインターネットを用いて調べる。	60分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	60分
第8回	感情について。喜怒哀楽。感情のモデルおよび現代の感情理論について。	
	【予習】感情喚起のモデルについて調べる。	120分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分
第9回	学習について。レスポナント条件づけとオペラント条件づけ、学習の形成、モデリングなど。	
	【予習】学習成立の条件について考える。	90分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分
第10回	記憶(1)。記憶の種類および記憶のメカニズムについて。	
	【予習】記憶のメカニズムについて考える。	90分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	90分

第11回	記憶(2)。記憶の忘却と変容および効果的な記憶法について。	
	【予習】記憶の忘却と変容について本で調べる。	90分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	90分
第12回	認知と思考。脳の中での複雑な情報処理および心的イメージについて。	
	【予習】心的イメージについて調べる。	120分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分
第13回	感覚について。刺激と五感について。	
	【予習】五感の働きについて調べる。	120分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分
第14回	知覚(1)。図と地および錯覚について。	
	【予習】様々な錯覚が生じる原因について調べる。	120分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分
第15回	知覚(2)。形・空間の知覚について。後期テストについての説明。	
	【予習】ヒトが形・空間を知覚する時の特徴について調べる。	120分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分

授業科目名	ターミナルケア論			科目コード	W111-50				
科目区分	専門科目 - ことごとからだのしくみ - ことごとからだのしくみ		担当教員名	西井 啓子 金山 ひとみ					
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	医学一般 ~ 、高齢者・障害者の心理 ・		後継科目	なし					
関連科目	生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目(領域ことごとからだのしくみ)								
授業の概要	死にゆく人を介護するにあたり、介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する学習とします。生命の誕生や「死」の捉え方を概説し、死および生きることについて考察します。終末期から危篤、死亡時のからだの理解や終末期における医療、医療職との連携について理解を深めます。また、公衆衛生の現状や医療統計の入門的事項について、実例を用いながら修得します。								
学習目標	1. 人の「死」を多方面から概説する。2. ターミナルケアに関連する用語を正しく理解する。3. 終末期から危篤時におけるからだやことごとの変化について理解する。4. 死亡時のからだの変化について理解する。5. 終末期医療の現状と医療職との連携について理解する。5. わが国の公衆衛生の現状や医療統計の入門的事項について、実例を用いながら習得する。								
キーワード	死の概念、ターミナル、終末期医療、死の判定、医療統計								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉全書「ことごとからだのしくみ」小坂橋喜久代・松田たみ子編 メヂカルフレンド社、「国民衛生の動向」、講義担当者作成資料								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	わが国の平均寿命、心臓死と脳死、ターミナルに関する用語、終末期から危篤、死亡時のことごとからだの変化、医療職との連携を説明できる。医療統計に関する基礎知識を身につける。								
LO-2	統計の基礎知識である、平均、分散、箱ひげなどを使って、事例問題を解くことができる。								
LO-3									
LO-4	わが国における医療の動向や終末期介護に関心をもち、積極的に授業に臨む姿勢を有している。								
LO-5	提示資料やグループワークを通して、自己の死生観を育成する。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	20	20			10			100
LO-1	40	20							60
LO-2	10								10
LO-3									
LO-4						10			10
LO-5			20						20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、生命の誕生と寿命	
	【予習】平均寿命について調べてくる	30分
	【復習】わが国の平均寿命、世界各国との比較、平均寿命延伸の背景	30分
第2回	死の捉え方	
	【予習】死者の弔い方について調べてくる	30分
	【復習】本時の授業をまとめる	30分
第3回	脳死と植物状態	
	【予習】ターミナル、終末、尊厳、安楽の言葉の意味を調べてくる。	30分
	【復習】ターミナルケア、尊厳死、安楽死、終末期、自然死、平穏死の言葉の意味を整理しておく。	30分
第4回	死の判定や生物学的な死について理解する。(心肺停止状態、脳死、植物状態の違い)	
	【予習】メヂカルフレンド社テキスト「こころからだのしくみ」P320～321を読んでくる。	30分
	【復習】授業内容を整理する。ノートを見直す。確認問題を実施する。	30分
第5回	人口動態、年次推移、少子高齢化	
	【予習】メヂカルフレンド社テキストP321～324を読んでくる。	30分
	【復習】授業の内容を整理する。ノートを確認し、確認問題をする。	30分
第6回	「終わりよければすべてよし」DVDをとおして、終末期の捉え方、ケアの在り方を考える	
	【予習】在宅医療について調べてくる	60分
	【復習】終末期のありかたについて、自分の考えをまとめる	60分
第7回	死因、死亡場所、年次変化	
	【予習】国民衛生の動向で三大死因について調べてくる	60分
	【復習】本授業で学修したことをまとめる	90分
第8回	公衆衛生とは、健康の概念	
	【予習】国民衛生の動向で該当項目を調べてくる	30分
	【復習】本日の授業内容を整理する。ノートを整理する。	30分
第9回	終末期にみられる身体的特徴	
	【予習】1年次で学習した医学一般を復習する。	90分
	【復習】授業の内容を整理する。ノートを整理する。	90分
第10回	集団における健康問題を平均、分散など統計知識を使って理解する	
	【予習】平均値、分散などについて調べてくる。。	60分
	【復習】本時の授業の内容をノートにまとめる。	60分

第11回	集団における健康問題を統計知識を使って理解する	
	【予習】平均、分散について調べてくる	60分
	【復習】本時の授業内容を整理する。	60分
第12回	死後の身体的変化（死体の冷却、死斑、死体硬直、乾燥など）	
	【予習】提示した資料を読んでくる。	30分
	【復習】授業の内容を整理する。	30分
第13回	終末期医療とトータルペイン	
	【予習】終末期の意味について調べてくる。	60分
	【復習】本時の授業内容を整理する。	90分
第14回	医療職との連携、医療の実際と介護の連携	
	【予習】呼吸困難、倦怠感、浮腫について調べてくる。	60分
	【復習】授業内容を整理する。確認問題をやる。	30分
第15回	全体のまとめ	
	【予習】1回～14回までの内容を振り返る。	120分
	【復習】死の三徴候、死の定義、植物状態、危篤時のからだの変化、死亡時のからだの状態、終末期医療などについて、まとめをする。	120分

授業科目名	発達と老化の理解			科目コード	W113-10				
科目区分	専門科目 - ことろとからだのしくみ - 発達と老化の理解			担当教員名	西井 啓子				
開講時期	1年前期			授業の方法	講義				
必修・選択	必修			単位数	2単位				
前提科目(知識)	特になし			後継科目	医学一般 、 心理一般				
関連科目	医学一般 、 医学一般 、 心理一般								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目 初任者研修修了								
授業の概要	発達の観点からの老化を理解し、老化に関する心理や身体機能の変化の特徴に関する基礎的知識を習得し、高齢者の健康について学習する科目である。								
学習目標	人間の成長と発達の基礎を理解する。 老年期の発達と成熟を理解する。 老化に伴うことろとからだの変化を理解する。								
キーワード	成長と発達 発達理論 老化 高齢者の心理 高齢者に多い症状・病気								
テキスト・ 参考書等	「発達と老化の理解」林 泰史編 メヂカルフレンド社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	成長と発達の考え方、発達理論、形態的成長や身体機能、精神運動機能、心理社会的発達に関する基礎知識を有している。また、老化に伴うことろとからだの変化と日常生活や高齢者に多い病気や症状に関する基本的な知識を有している。								
LO-2									
LO-3	人間にとって、また社会において老年とは何かについて自己の考えを発表することができる。また、要支援・要介護高齢者に接した時にどう対応すればよいかを考えることができる。								
LO-4	高齢者の生き方に関心をもち人間にとって、自ら課題に取り組む姿勢がある。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	20	20		10	10			100
LO-1	40	20							60
LO-2									
LO-3			10		10				20
LO-4			10			10			20
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	人間の成長と発達の基礎的理解 人間の成長と発達 成長と発達用語の定義、生命誕生のドキュメント、自分の成長と発達について振り返る	
	【予習】該当する箇所を読んでくる。	60分
	【復習】本時を振り返りノートを整理する	30分
第2回	第1章 成長と発達の原則、成長発達に影響する因子、発達理論	
	【予習】該当する箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時を振り返りノートを整理する。	30分
第3回	成長発達理論	
	【予習】90歳以上の高齢者で著名な人のリストを上げる。	30分
	【復習】グループで原稿を作成する。	90分
第4回	高齢者の生き様から考える これからの老年観 GW発表 今日の老年期をめぐる問題 P49～59	
	【予習】グループで発表の準備をする。	30分
	【復習】老年観を整理する。	30分
第5回	第3章 ライフサイクルのなかの老年期 P62～95	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分
第6回	第4章 老化に伴うこととからだの変化と日常生活 老化の特徴 身体的機能の変化と日常生活への影響P98～120	
	【予習】該当する箇所を読んでくる。	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分
第7回	第4章 老化に伴うこととからだの変化と日常生活 知的・認知機能の変化と日常生活への影響、精神機能の変化と日常生活への影響、精神機能の低下の予防 P121～126	
	【予習】該当する箇所を読んでくる。	30分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分
第8回	老化に伴うこととからだの変化と日常生活 初任者研修 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴老化に伴うこととからだの変化と日常（防衛反応の変化、喪失体験）、知的・認知機能の変化と日常生活への影響、精神機能の変化と日常生活への影響、精神機能の低下の予防 P121～126	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	老化に伴うこととからだの変化と日常生活 初任者研修 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響（身体的機能の変化、咀嚼機能の変化、筋・骨・関節の変化、体温維持機能の変化、精神機能の変化） 老化の特徴 身体的機能の変化と日常生活への影響P98～120	
	【予習】該当する箇所を読んでくる。	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分
第10回	高齢者と健康 初任者研修 高齢者の疾病と生活上の留意点（骨折、筋力の低下と動き・姿勢の変化、関節痛） 第6章 高齢者に多い症状・病気 高齢者に多い症状と日常生活における留意点P174～P196	
	【予習】該当する箇所を読んでくる。	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分

第11回	高齢者と健康 初任者研修 高齢者に多い病気とその日常生活の留意点(循環器障害、老年期うつ病、誤嚥性肺炎、など) 第4章 老化に伴うところからたの変化と日常生活 身体機能の低下の予防、第6章 高齢者に多い症状・病気 高齢者に多い病気と日常生活での留意点P197~229	
	【予習】該当する箇所を読んでくる。	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分
第12回	第5章 高齢者の心理 高齢者の気持ちを理解するには、高齢者の様々な気持ち、高齢者の気持ちを踏まえたかわり 高齢者のイメージ、高齢者の心身機能の個人差、老性自覚、役割の喪失、障害を受けとめる高齢者の気持ち P139~171	
	【予習】該当する箇所を読んでくる。	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分
第13回	第6章 高齢者に多い症状・病気 高齢者に多い症状と日常生活における留意点 廃用症候群、老年症候群、かゆみ、不眠、発熱、脱水など P176~196	
	【予習】該当する箇所を読んでくる。	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分
第14回	第6章 高齢者に多い症状・病気 高齢者に多い病気と日常生活での留意点 糖尿病、動脈硬化症、心筋梗塞、高血圧などP197~228	
	【予習】該当する箇所を読んでくる。	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分
第15回	第6章 要介護高齢者にかかわる介護福祉士と保健・医療職との連携 P 229~242	
	【予習】該当する箇所を読んでくる。	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分

授業科目名	医学一般			科目コード	W113-20				
科目区分	専門科目 - こととからだのしくみ - 発達と老化の理解		担当教員名	田淵 英一					
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	医学一般I		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士免許必須科目 社会福祉主事任用資格関連科目								
授業の概要	生活習慣・老化に伴う身体および精神機能の変化の特長について基礎的知識を習得するとともに、中年・高齢期にみられる代表的な疾患について理解する。								
学習目標	生活習慣・老化に伴う代表的な疾患について、原因、症状、治療を知り、理解する。								
キーワード	病気、医療、原因、症状、治療								
テキスト・ 参考書等	新・社会福祉士養成講座 1 人体の構造と機能及び疾病(福祉士養成講座編集委員会 中央法規)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	対象となる疾患の原因、症状、治療を説明できる。								
LO-2	介護士が関わる医療の専門技術や技法を習得している。								
LO-3	病気に罹患することにより生じる患者の精神、肉体、経済、家族、環境の変化など、包括的に疾患を捉えることができる。								
LO-4	病気が発生する原因、予防、治療について探求する意欲をもてる。								
LO-5	医療現場において、他の医療スタッフと協働して医療に従事することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	30								30
LO-2	10								10
LO-3	30								30
LO-4	20								20
LO-5	10								10
備考	試験は記述式です。 疾病に関する原因、症状、治療法を中心に出题します。 医学一般前期での医学基礎知識が所々で必要となります。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	生活習慣 メタボリックシンドロームの背景・概念・定義、生活習慣病の背景・概念・種類	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 また、日頃から、疾病について興味を持ち、学ぶ機会も設ける。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第2回	腫瘍 良性腫瘍の種類・原因・症状・治療、悪性腫瘍の種類・原因・症状・治療	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第3回	血管系 脳血管性疾患（脳出血、脳梗塞）、心疾患（狭心症、心筋梗塞）	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第4回	循環・代謝系 高血圧、糖尿病	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第5回	呼吸・消化器系 肺炎、気管支炎、肝炎・肝硬変、消化性潰瘍	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第6回	血液・腎臓 貧血、白血病、腎不全	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第7回	泌尿器 尿失禁、排尿困難、前立腺肥大	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第8回	骨・関節 骨粗鬆症、骨折、変形性関節症、関節リウマチ	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第9回	目・耳 白内障、緑内障、難聴、めまい	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第10回	感染 感染症（ノロウイルス、インフルエンザウイルス、エイズ、結核、腸管出血性大腸炎、日和見感染）	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分

第11回	神経 パーキンソン病・症候群、クロイツフェルト・ヤコブ病、筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	180分
第12回	先天性疾患 ダウン症候群、心房・心室中隔欠損症、血友病、進行性筋ジストロフィー	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	180分
第13回	老年性疾病 老年症候群、廃用症候群、褥瘡、低栄養、脱水、嚥下障害	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	240分
第14回	重症心身障害 脳性麻痺、進行性筋ジストロフィー	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	240分
第15回	精神 知的障害、発達障害、認知症、統合失調症、感情障害	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	360分

授業科目名	認知症ケア論			科目コード	W115-10				
科目区分	専門科目 - こととからだのしくみ - 認知症・障害の理解		担当教員名	西井 啓子					
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	医学一般		後継科目	認知症ケア論					
関連科目	発達と老化、高齢者福祉論、介護実習、								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得します。最新の知見を踏まえて認知症の人の心理を理解し、さまざまなケア方法を知ることによって自信を持って適切な対応ができるよう、様々な教材、ディスカッションも交えて実践力に繋がります。第1回～8回までは松居担当。第9回～15回までは西井担当。								
学習目標	1.認知症ケアの歴史や現状、国の施策を理解する 2.認知症の原因となる主な病気の症状や特徴を学び、それに伴うこととからだの変化を理解する。 3.認知症の人の特性を理解し、日常生活における支援・ケアの基本について学び、共感的に理解することができる。								
キーワード	認知症 中核症状 周辺症状 BPSD パーソン・センタード・ケア								
テキスト・ 参考書等	「認知症の理解」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	認知症を取り巻く現状や歴史、認知症の原因疾患・中核症状・周辺症状、パーソン・センタード・ケアについて理解している。								
LO-2	認知症の人の心理に共感し、課題の中で、それに関する自身の思いを表現することができる。								
LO-3	それぞれの認知症の原因疾患の特徴を知り、認知症の人の症状にあわせた対応方法を考えることができる。								
LO-4	授業には前向きな姿勢で取り組み、新しい知識を吸収したいという思いで講義に臨んでいる。								
LO-5	相手の立場に立って考えられる姿勢が常時あり、円滑なコミュニケーションをとることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		20			30			100
LO-1	50		10						60
LO-2						10			10
LO-3			10						10
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他Aは、普通の授業の中で評価します。松居と西井で半々で成績を評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	認知症を取り巻く現状 実習体験を振り返り、認知症に関する授業前の自身の認知症の方への理解の状況を把握 自身の事例をワークにまとめ、グループ毎に発表し、意見交換を行う 「認知症」の意義と定義を学ぶ	
	【予習】本シラバスを読み、科目の概要や目的を抑える	60分
	【復習】自身の実習体験と他の人の体験をふりかえり、今後どのような知識が必要となるのかをまとめる 「認知症」の言葉の定義や意味を確認する	120分
第2回	認知症を取り巻く現状 認知症ケアの歴史について学ぶ(オレンジプラン等は別資料配布) DVD「認知症ケア」	
	【予習】テキストP6からP4を読んでおく	60分
	【復習】テキストと配布資料より、痴呆から認知症への移り変わりの背景を確認し、現状と今後の方向性について理解を深める	120分
第3回	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	
	【予習】テキストP24を読んでおく	60分
	【復習】配布資料をもとに、認知症人への支援対策を説明できるようにする	120分
第4回	医学的側面からみた認知症の基礎 中核症状と周辺症状についての理解する テキストと配布資料をもとに説明	
	【予習】テキストP44からP56までを読んでおく	60分
	【復習】中核症状と周辺症状の違いがわかり、説明ができる それぞれに含まれる症状について理解し、説明ができる	120分
第5回	医学的側面からみた認知症の基礎 認知症類似の状態について知る。「健忘」「せん妄」「うつ病」について理解をする	
	【予習】テキストP44からP56までを読んでおく	60分
	【復習】「健忘」「せん妄」「うつ病」について、それぞれの「認知症」との違いがわかり、説明ができる	120分
第6回	医学的側面からみた認知症の基礎 医学的側面から「アルツハイマー型認知症」について理解する	
	【予習】テキストP58からP62までを読んでおく	60分
	【復習】「アルツハイマー型認知症」の症状と特徴について理解し、説明ができる	120分
第7回	医学的側面からみた認知症の基礎 医学的側面から「脳血管性認知症」について理解する	
	【予習】テキストP62からP63までを読んでおく	60分
	【復習】「脳血管性認知症」の症状と特徴について理解し、説明ができる	120分
第8回	医学的側面からみた認知症の基礎 医学的側面から「レビー小体型認知症」「前頭・側頭型認知症」について理解する	
	【予習】テキストP64からP65までを読んでおく	60分
	【復習】「レビー小体型認知症」「前頭・側頭型認知症」について理解し、説明ができる	120分
第9回	医学的側面からみた認知症の基礎 医学的側面から「慢性硬膜下血腫」「クロイツフェルト・ヤコブ病」などさまざまな認知症の原因疾患を理解する	
	【予習】テキストP65からP67を読んでおく	60分
	【復習】「慢性硬膜下血腫」「クロイツフェルト・ヤコブ病」などさまざまな認知症の原因疾患を理解し、説明することができる	120分
第10回	医学的側面からみた認知症の基礎 医学的側面からみた「若年性認知症」「MCI」について理解する	
	【予習】テキストP2、P17、P17を読んでおく	60分
	【復習】「若年性認知症」「MCI」について理解し、説明することができる	120分

第11回	医学的側面からみた認知症の基礎 認知症の診断と、認知症の評価スケールについて理解する 実際に評価スケールを実施してみる	
	【予習】テキストP9からP12、P24からP29までを読んでおく	60分
	【復習】授業の資料を再確認し、認知症の診断基準や評価スケールについて理解し、説明することができる	120分
第12回	認知症の治療について理解する。	
	【予習】テキストP35からP42までを読んでおく	60分
	【復習】DVDを見ての感想をレポートにまとめる	120分
第13回	認知症に伴うこととからだの変化と日常生活 認知症の行動・心理症状（BPSD）について、それぞれのステージの特徴を理解する	
	【予習】テキストP42からP61までを読んでおく	60分
	【復習】認知症の進行に伴い変化する、認知症の人の心理、コミュニケーションの特徴、関わる際の留意点などを理解する	120分
第14回	認知症に伴うこととからだの変化と日常生活 「パーソン・センタード・ケア」について理解をする	
	【予習】テキストP62からP66までを読んでおく	30分
	【復習】授業の資料を再確認し、「パーソン・センタード・ケア」の考え方を理解し、説明することができる	120分
第15回	認知症に伴うこととからだの変化と日常生活 総合的なまとめ DVD「明日の記憶」	
	【予習】これまで学習したテキスト範囲、資料を確認する	30分
	【復習】DVDの各場面ごとの主人公の思いや周囲の人の関わりをワークシートにまとめる	180分

授業科目名	認知症ケア論			科目コード	W115-11				
科目区分	専門科目 - ことごとからだのしくみ - 認知症・障害の理解		担当教員名	井上 理絵 串田 美代志					
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	医学一般、高齢者・障害者の心理、認知症ケア論、障害者ケア論		後継科目	ターミナルケア論					
関連科目	障害者ケア論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	パーソンセンタード・ケアに基づきながら、認知症症状が出ている人の理解を深め、非薬物療法を中心に、グループワークやロールプレイを用いながら、事例をとおして対応方法について学んでいきます。また、認知症を支える家族への支援や地域連携について学びます。								
学習目標	認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族・地域を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得します。								
キーワード	パーソンセンタードケア、生活環境、地域支援、認知症の人と家族、非薬物療法								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会 新・介護福祉士養成講座「認知症の理解」中央法規 日本認知症ケア学会編「改訂認知症ケアの基礎」ワールドプランニング								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	認知症の人の特徴的な行動と心理、認知症の人を支える家族への支援と地域のサポート体制を十分に理解している。								
LO-2	中核症状や周辺症状の区別ができ、日常生活に及ぼす影響を知り一人ひとりの症状に合った対応方法を考える判断力を有している。								
LO-3									
LO-4	認知症高齢者施策に興味・関心を持ち、自分の住む地域のサポート体制の実態について、自ら調べることができる。								
LO-5	ロールプレイをとおして、認知症の人や家族の思いに共感し、適切な関わり方について理解する。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	10			40				100
LO-1	30	10							40
LO-2	20								20
LO-3									
LO-4					20				20
LO-5					20				20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 認知症の人の体験	
	【予習】テキストP100～P115までを読んでくる	90分
	【復習】認知症の人の体験や感じ方を振り返り、介護に活かす方法を考える	90分
第2回	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 認知症の人の生活理解	
	【予習】テキストP118～P154までを読んでくる	90分
	【復習】認知機能の変化が及ぼす生活への影響と、その人らしい生活を続けるために必要なことを環境因子を考える。また、若年性任長の人の生活の理解と支援について考えを深める。	90分
第3回	認知症の人の日常生活における支援 ひもときシート	
	【予習】ひもときシートについて調べる	120分
	【復習】ひもときシートを理解する	60分
第4回	認知症の人に対する介護 関わりの基本	
	【予習】テキストP156～P183までを読んでくる	90分
	【復習】認知症の人への関わり方とアセスメント方法について押さえる	90分
第5回	認知症の人の日常生活における支援 センター方式	
	【予習】センター方式シートを理解する	90分
	【復習】本人本位のケアのためのポイントを押さえる	90分
第6回	認知症の人に対する介護 認知症の進行に応じた介護	
	【予習】テキストP184～P216までを読んでくる	90分
	【復習】本人本位のケアのためのポイントを押さえる	90分
第7回	地域との連携 地域におけるサポート体制	
	【予習】テキストP218～P227まで読んでくる	90分
	【復習】認知症の人が地域で暮らすために必要な資源やサポート体制について理解を深める	90分
第8回	地域との連携 チームアプローチ	
	【予習】テキストP228～P235までを読んでくる	90分
	【復習】認知症の人を支える他職種の協働について理解し、その中での介護職の役割について考える	90分
第9回	家族への支援 家族へのレスパイトケア	
	【予習】テキストP238～P250まで読んでくる	90分
	【復習】介護者自身の体験を知り、家族介護の深さへの理解を深め、レスパイトの重要性について考える	90分
第10回	家族への支援 家族へのエンパワメント 認知症の人と家族の会について	
	【予習】テキストP251～P258まで読んでくる	90分
	【復習】家族と介護職との協働の意義を知り、家族会等の役割について理解を深める	90分

	認知症に関する制度と施策	
第11回	【予習】テキストP260～P279まで読んでくる	90分
	【復習】オレンジプラン等の認知症に関する施策、権利擁護、高齢者虐待防止法との関係について理解を深める	90分
	小テスト 認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ(1) 事例：ロールプレイ	
第12回	【予習】小テスト 前回までの範囲 ロールプレイについて調べる	90分
	【復習】自分の体験を基に、認知症の人や介護者の心理について、ワークシートに記入する	90分
	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ(2) 事例：バリデーション・音楽療法	
第13回	【予習】バリデーション・音楽療法について調べる	90分
	【復習】バリデーション・音楽療法について理解を深める	90分
	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ(3) 事例：タクティールケアとスウェーデンの認知症ケア	
第14回	【予習】タクティールケアについて調べる	90分
	【復習】タクティールケアについて理解を深める	90分
	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ(4) 事例：いろいろな認知症療法	
第15回	【予習】テキストP74.75を読み、興味がある療法を二つ調べる	90分
	【復習】園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法などについて理解を深める	90分

授業科目名	障害者ケア論			科目コード	W115-20				
科目区分	専門科目 - ことごとからだのしくみ - 認知症・障害の理解		担当教員名	西井 啓子					
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	医学一般、医学一般、発達と老化の理解		後継科目	障害者ケア論					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	障害の概念や障害福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の医学的側面からの基礎知識（症状や合併症）を習得するとともに、障害のある人の体験を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得します。障害に関する医学的知識を具体事例をもとに講義します。								
学習目標	それぞれの障害に関する医学的知識を習得し、自立に向けた生活を考え尊厳を重視した支援ができる。								
キーワード	肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、言語障害、内部障害								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成テキスト 「障害の理解」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	障害のある人の心理や身体機能に関する医学的基礎知識を理解し、正しく説明することができる。								
LO-2									
LO-3	障害に応じた基本的なケアの根拠を理解し、利用者の生活に応じた自立に向けた介護を考える事ができる。								
LO-4	授業に積極的に参加し、質問・意見・グループ討議に自分の考えを発言できる。								
LO-5	障害者の尊厳を保持し、関わりを深めようとする姿勢を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70	10	10			10			100
LO-1	30	10	10						50
LO-2									
LO-3	30								30
LO-4						10			10
LO-5	10								10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	障害の医学的側面の基礎知識 障害と人権について講義します。	
	【予習】シラバス、テキストの目次をよく読み、授業の全体像をとらえる。	60分
	【復習】資料・ノートを整理する。	30分
第2回	障害の医学的側面の基礎知識 障害者福祉の全体像について理解する	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 からだのしくみ(筋肉)を予習する。	60分
	【復習】資料・ノートを整理する。	30分
第3回	障害の医学的側面の基礎知識 肢体不自由のある人についての生活支援を講義します。(2)	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 からだのしくみ(神経)を予習する。	60分
	【復習】資料・ノートを整理する。	30分
第4回	障害の医学的側面の基礎知識 失語症のある人を理解する	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 動作が思うようにできないことが気持ちに与える影響を考える。	60分
	【復習】資料・ノートを整理する。	30分
第5回	障害の医学的側面の基礎知識 視覚障害のある人を理解する。	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 からだのしくみ(口腔)を予習する。	60分
	【復習】資料・ノートを整理する。	30分
第6回	障害の医学的側面の基礎知識 聴覚障害のある人についての生活支援を講義します。	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 思いが伝わりにくいことが生活に与える変化を考える。	60分
	【復習】資料・ノートを整理する。	30分
第7回	障害の医学的側面の基礎知識 聴覚障害のある人についての生活支援を講義します。(1)	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 からだのしくみ(目)を予習する。	60分
	【復習】資料・ノートを整理する。	30分
第8回	障害の医学的側面の基礎知識 視覚障害のある人についての生活支援を講義します。(2)	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 中途失明について調べる。	60分
	【復習】資料・ノートを整理する。	30分
第9回	障害の医学的側面の基礎知識 腎臓機能障害のある人についての生活支援を講義します。(2)	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 からだのしくみ(耳)を予習する。	60分
	【復習】資料・ノートを整理する。	30分
第10回	障害の医学的側面の基礎知識 腎臓機能障害のある人についての生活支援を講義します。	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 第1～9回の復習。	60分
	【復習】資料・ノートを整理する。	30分

第11回	障害の医学的側面の基礎知識 内部障害のある人の理解 心臓機能障害のある人についての生活支援を講義します。	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 からだのしくみ(心臓)を予習する。	60分
	【復習】資料・ノートを整理する。	30分
第12回	障害の医学的側面の基礎知識 内部障害のある人の理解 心臓機能障害のある人についての生活支援を講義します。(2)	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 高齢者の心疾患の特徴を予習する。	60分
	【復習】資料・ノートを整理する。	30分
第13回	障害の医学的側面の基礎知識 内部障害のある人の理解 呼吸機能障害のある人についての生活支援を講義します。(1)	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 からだのしくみ(肺)を予習する。	60分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	60分
第14回	障害の医学的側面の基礎知識 内部障害のある人の理解 呼吸機能障害のある人についての生活支援を講義します。(2)	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 呼吸の変化が気持ちに与える影響を考える。	60分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	120分
第15回	まとめ	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 からだのしくみ(腎臓)を予習する。	30分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	120分

授業科目名	障害者ケア論			科目コード	W115-21				
科目区分	専門科目 - ことごとからだのしくみ - 認知症・障害の理解			担当教員名	石橋 郁子				
開講時期	2年前期			授業の方法	講義				
必修・選択	選択			単位数	2単位				
前提科目(知識)	障害者ケア論			後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	障害の種別に応じた医学的基礎知識と自立した生活に向けてのケアについて、本人・家族を含めた介護の視点を学びます。さらに、地域のサポート体制と多職種の連携、協働、家族支援について講義や施設見学等から理解を深めます。								
学習目標	それぞれの障害に関する医学的知識を習得し、自立に向けた生活を考え尊厳を重視した支援ができる。本人と家族の支援に必要なサポート体制、多職種連携、協働から、介護福祉士の支援の在り方について理解できる。								
キーワード	内部障害 免疫不全 糖尿病 難病 直腸・膀胱機能障害 難病の支援								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成テキスト「障害の理解」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	障害のある人の心理や身体機能に関する医学的基礎知識を理解し、正しく説明することができる。								
LO-2									
LO-3	障害に応じた基本的なケアの根拠を理解し、利用者の生活に応じた自立に向けた介護を考える事ができる。								
LO-4	授業に積極的に参加し、質問・意見・グループ討議に自分の考えを発言できる。								
LO-5	障害者の尊厳を保持し、関わりを深めようとする姿勢を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70	10	10		10				100
LO-1	30	10	10						50
LO-2									
LO-3	30								30
LO-4					10				10
LO-5	10								10
備考	課題の提出は、授業で伝達された期限を守ること。 課題にはコメント・点数をつけ、必要時個人面談します。 欠席時は、資料等必ず研究室に来訪して説明を受けること。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	障害の医学的側面の基礎知識 前期の復讐からはじめます。	
	【予習】シラバス、テキストの目次をよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第2回	障害の医学的側面の基礎知識 直腸・膀胱機能低下のある人について講義します。(1)	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 からだのしくみ(消化器)を学習する。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第3回	障害の医学的側面の基礎知識 直腸・膀胱機能低下のある人について生活支援を講義します。(2)	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】課題プリント提出	90分
第4回	障害の医学的側面の基礎知識 直腸・膀胱機能低下のある人について日常生活の「活動」場面の支援を考えます。(3)	
	【予習】テキストをよく読み、日常生活の「活動」 について、考える。資料持参する。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第5回	障害の医学的側面の基礎知識 肝臓機能障害のある人についての生活支援を講義し、生活支援を考えます。	
	【予習】テキストを読む。 からだのしくみ(肝臓)を学習しておく。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第6回	障害の医学的側面の基礎知識 ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害のある人について講義します。(1)	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第7回	障害の医学的側面の基礎知識 ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害のある人についての生活支援を考えます。(2)	
	【予習】テキストをよく読み、日常生活の「活動」 について、考える。資料持参する。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第8回	障害の医学的側面の基礎知識 糖尿病のある人について講義します。(1)	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第9回	障害の医学的側面の基礎知識 糖尿病のある人についての生活支援を講義します。(2)	
	【予習】テキストをよく読み、日常生活の「活動」 について、考える。資料持参する。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第10回	障害の医学的側面の基礎知識 糖尿病のある人についての生活支援を講義します。(2)	
	【予習】テキストをよく読み、日常生活の「活動」 について、考える。資料持参する。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分

第11回	障害の医学的側面の基礎知識 10回までの小テスト 難病の人について講義します。(1)	
	【予習】障害の復習してくる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第12回	障害の医学的側面の基礎知識 難病の人について生活支援を講義します。(2)	
	【予習】障害の種類を学習してくる。	90分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	90分
第13回	障害の医学的側面の基礎知識 難病の人について生活支援を講義、ディスカッションします。(3)「特別講義」	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】レポート作成提出する。	90分
第14回	障害の医学的側面の基礎知識 難病の人について生活支援 家族の支援と地域との連携(1)	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	90分
第15回	障害の医学的側面の基礎知識 難病の人について生活支援 家族の支援と地域との連携(2) 練習問題を実施する。	
	【予習】今までのまとめ	90分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	90分

授業科目名	介護福祉論			科目コード	W121-10				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護の基本		担当教員名	関 好博					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	介護福祉論					
関連科目	障害者福祉論、生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護職員初任者研修、介護福祉士受験資格、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	介護福祉士を取り巻く状況と介護福祉士誕生の背景、介護の対象となる高齢者や障害者の特性、介護実践の場、そして介護従事者の倫理を、テキストや資料を用いて説明します。介護の意義と役割及び専門性、自立の意味や自己決定、ICFの考え方の理解を目指します。								
学習目標	1. 介護の目的・理念、介護の社会化等、介護福祉に関連する重要な用語を説明できる。 2. 介護福祉士を取り巻く状況から介護問題の背景について説明できる。 3. 「尊厳を支える介護」や「自立に向けた介護」について、自分の意見を述べるができる。								
キーワード	介護福祉、介護福祉士、介護福祉士及び介護福祉士法、介護の社会化、尊厳、自立支援								
テキスト・ 参考書等	介護の基本 最新介護福祉全書 メジカルフレンド社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	わが国の介護福祉の歴史や関連する法律、および社会福祉士及び介護福祉士法制定の背景や介護の定義、義務規定など、介護福祉士を取り巻く状況に関する知識を有する。また、尊厳の保持や自立支援、ノーマライゼーションなど、介護の基礎理								
LO-2									
LO-3	「尊厳の保持」や「自立支援」の概念を提示された事例に活用する判断力を有する。								
LO-4	本講義で習得した介護の基本となる知識について、新聞やTVなどの最新情報を自ら入手することにより、介護福祉の動向や社会状況への意欲や関心を有する。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	10	10			10		30	100
LO-1	40	10							50
LO-2									
LO-3			10						10
LO-4						10			10
LO-5								30	30
備考	その他 A については、授業への参加度合いを総合的に評価して点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護福祉士を取り巻く状況「介護の成り立ち、歴史、概念・定義」	
	【予習】本シラバスを読み、本講義の全体を把握すること。参考図書介護福祉辞典「福祉」の用語を調べておく。	90分
	【復習】福祉の用語を狭義と広義の両面から理解する。	90分
第2回	第1章 自立に向けた介護 介護の成り立ち	
	【予習】テキストP2～P13まで読んでくる	90分
	【復習】日本での介護における歴史についてノート、テキストを基に整理する。	90分
第3回	介護の概念・定義、「介護」の見方・考え方の変化、介護問題の背景（テキストP13～21）	
	【予習】テキストP13～21を読んでくる。	90分
	【復習】介護の概念、定義について整理し、「介護」の見方・考え方の変遷についてノート・テキストを基に整理する。介護問題の背景を整理する。	90分
第4回	介護実践における連携 多様なサービスの理解（居宅・施設） 「きのこエスポワール病院の30年」DVDから歴史・尊厳の介護、利用者理解、施設での介護状況について学びを深める	
	【予習】テキストP22～34を読んでくる。	90分
	【復習】施設の生活の変化について学びを深める 生活を支える方法について考える	90分
第5回	介護実践における連携 多様なサービスの理解（介護保険外、社会資源）	
	【予習】テキストP35～48まで読んでくる	90分
	【復習】介護保険の概要を理解し、介護保険外の市町村独自のサービスについて調べる	90分
第6回	自立に向けた介護 居宅・施設での仕事の内容 DVD「職務の理解」訪問介護・通所介護・グループホーム・小規模多機能型居宅介護・特別養護老人ホーム	
	【予習】P48からP57まで読んでくる	90分
	【復習】施設の特性と、サービス内容、仕事の内容について理解を深める	90分
第7回	自立に向けた介護 ケアマネジメントと他職種連携 事例からケアマネジメントを考える（小テスト）	
	【予習】（小テスト 前回までの振り返り）ケアマネジメントの内容を調べる テキストP180から184まで読んでくる	90分
	【復習】ケアマネジメントと介護過程の違いについて説明できるようにする	90分
第8回	尊厳を支える介護 人権と尊厳の保持、QOL、エンパワメント	
	【予習】P159からP170まで読んでくる	90分
	【復習】生活とは何かを考え、支援のあり方や求められている効果を考え、まとめる 尊厳を支えるケアについて理解を深める	90分
第9回	尊厳を支える介護 ノーマライゼーション、自立・自律、ストレングスマデル	
	【予習】テキストP171からP180まで読んでくる	90分
	【復習】利用者のもつ内的資源と外的資源について復習し、ストレングスマデルを理解し、ノーマライゼーションについて説明できるようにする	90分
第10回	介護従事者の倫理 高齢者虐待	
	【予習】高齢者虐待の事例を調べてくる	90分
	【復習】高齢者虐待防止法、高齢者の養護者支援について事例をもとに考えをまとめる	90分

第11回	介護従事者の倫理 身体拘束禁止	
	【予習】身体拘束の内容について調べる	90分
	【復習】身体拘束ゼロ作戦、個人の権利を守る制度の概要について復習する	90分
第12回	自立に向けた介護 自立支援と介護予防 残存能力の活用、意欲を高める介護	
	【予習】自立支援について復習してくる 介護予防の意義を調べる	30分
	【復習】残存能力の活用、意欲を高める支援について考えをまとめる	60分
第13回	自立に向けた介護 自立支援と介護予防 個別性の尊重と個別ケア、重度化防止、生活不活発病について	
	【予習】生活不活発病について調べる	90分
	【復習】介護予防の考え方を深め、レポートにまとめる	90分
第14回	介護実践における連携 他職種理解とチームケア 介護環境の特徴の理解 訪問介護と施設介護サービスの違い、地域包括ケアの方向性	
	【予習】 小テスト（前回までのまとめ） 地域包括ケアの内容について調べる	90分
	【復習】介護の専門性と介護環境の特徴について理解を深める	90分
第15回	介護実践における連携 介護に関わる職種	
	【予習】介護支援専門員、サービス提供責任者、チームケアに含まれる職種を調べる	90分
	【復習】公的なサービスを行うために必要な役割分担について考えをまとめる	90分

授業科目名	介護福祉論			科目コード	W121-11				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護の基本		担当教員名	井上 理絵					
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護福祉論		後継科目	高齢者福祉論					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護福祉論には、さまざまな介護実践の場の特徴、介護過程の意味、展開方法の概略、ケアマネジメント、介護従事者の倫理などをテキストを中心に、その他の資料を用いて講義します。介護福祉士の倫理について理解します。								
学習目標	1. ケアマネジメントおよび介護保険制度の概略を説明できる。 2. 介護サービス提供の場の特徴を説明できる。 3. 介護従事者の倫理を概説できる。								
キーワード	ケアマネジメント、介護過程、居宅サービス、施設サービス、介護従事者の倫理								
テキスト・ 参考書等	西村洋子編「介護の基本」メヂカルフレンド社 最新介護福祉全書3								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	ケアマネジメントや介護保険制度の概略、介護サービス提供の場の特徴、介護従事者の倫理に関する基本的知識を有する。								
LO-2									
LO-3	「介護従事者の倫理」の概念を提示された事例に活用する判断力を有する。								
LO-4	新聞やTVなどを通して介護保険サービスに関する最新情報を自ら入手することにより、介護福祉への意欲や関心を有する。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	30	20			10			100
LO-1	40	30							70
LO-2									
LO-3			10			10			20
LO-4			10						10
LO-5									
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護従事者の倫理 介護職の倫理社会的責任	
	【予習】第8章 P249からP257まで読む	30分
	【復習】介護従事者の倫理について、テキストやノートを基に整理する。	30分
第2回	介護従事者の倫理 プライバシーの保護と人権	
	【予習】第8章 P249からP257まで熟読する	0分
	【復習】介護福祉士としての倫理について考えを深める	0分
第3回	介護保険サービスと介護の専門性	
	【予習】介護保険制度のしくみについて復習してくる	0分
	【復習】介護保険制度のしくみと流れについてテキスト、ノートを基に整理する。	0分
第4回	介護保険制度 介護と医療の連携	
	【予習】他職種連携について復習する	0分
	【復習】介護保険制度における介護サービスの内容をテキスト、ノートを基に整理する。	0分
第5回	自立に向けた介護 医行為と介護の連携・役割	
	【予習】医行為について調べる	0分
	【復習】医行為の具体的な内容について復習し、介護職の行為についてまとめる	0分
第6回	自立に向けた介護 リハビリテーション	
	【予習】テキストP91からP92を読む	0分
	【復習】リハビリテーションの定義について復習する	0分
第7回	介護における安全の確保とリスクマネジメント	
	【予習】リスクマネジメントに意味を調べる	0分
	【復習】安全とリスクマネジメントの関係について復習する	0分
第8回	介護従事者の安全 感染予防・腰痛予防	
	【予習】感染予防・腰痛予防について調べる	0分
	【復習】介護従事者の安全と健康についてまとめる	0分
第9回	介護における安全の確保とリスクマネジメント	
	【予習】介護の現場における具体的な事例を調べる	0分
	【復習】グループワークの内容を整理する	0分
第10回	介護における安全の確保とリスクマネジメント	
	【予習】グループワークの内容を整理し、発表原稿をまとめる	0分
	【復習】介護における安全とリスクマネジメントの総括	0分

第11回	介護福祉士の役割と機能を支える仕組み	
	【予習】生活支援としての介護とは何かを考えてくる	0分
	【復習】生活支援における介護の機能についてまとめる	0分
第12回	介護を必要とする人の理解	
	【予習】要介護高齢者、障害者など、介護が必要な人について自分の考えをまとめる	0分
	【復習】「生活支援」と介護福祉士の役割について具体的に自分の意見をまとめる	0分
第13回	介護を必要とする人の理解	
	【予習】生活のニーズとは何かを考える	0分
	【復習】生活ニーズと個人ケアについて自分の意見をまとめる	0分
第14回	介護実践における連携	
	【予習】「その人らしさ」とは何か、具体的事例をもとに考えをまとめる	0分
	【復習】介護職の環境と仕事内容について整理する	0分
第15回	全体のまとめ	
	【予習】これまで学習してきた内容でわからない箇所，理解不足の箇所を把握すること。	0分
	【復習】これまで学習してきた内容をすべて復習し，定期試験に備えること。	0分

授業科目名	高齢者福祉論			科目コード	W121-12				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護の基本		担当教員名	井上 理絵					
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護福祉論 ・ 、生活支援技術 ・ 、社会保障、介護過程 ・		後継科目	介護福祉論 ・ 、介護過程 ・ 、介護福祉総合演習 ・					
関連科目	介護福祉論 ・ 、生活支援技術 ・ 、社会保障、認知症ケア論 ・ 、障害者ケア論 ・								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	高齢者支援の基本理念や高齢者理解の視点に基づき、実際に展開する上での各専門職との連携や協働を効果的に進める方法について考察する。また、現在のわが国における社会的課題である介護の概念やその支援展開の方法について学ぶ								
学習目標	高齢者支援におけるソーシャルワークアプローチの展開方法について理解する 高齢者支援の展開過程や各局面における支援者の展開について習得する 介護の概念や介護過程の展開についての知識を得る								
キーワード	高齢者支援、ケアマネジメント、介護								
テキスト・ 参考書等	社会福祉士養成講座編集委員会編「高齢者に対する支援と介護保険制度」(中央法規)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	生命倫理や介護従事者に必要な倫理に関する知識、介護実践における倫理的課題と利用者の人権について理解する。また、介護の安全や従事者の安全確保に必要な基本的知識を有している。								
LO-2									
LO-3	介護従事者に求められる倫理観や高齢者虐待に関する知識を基に、介護場面で遭遇する倫理的課題を解決するうえで必要な判断力を有している。								
LO-4	社会的状況や福祉の動向などに関心をもち、専門職に必要な倫理観に関心をもつことができる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40		20		20	20			100
LO-1	40								40
LO-2									
LO-3			20		20				40
LO-4						20			20
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	高齢者の特性を知る 高齢者の社会的理解と身体的理解	
	【予習】テキストP2からP15まで読んでくる	90分
	【復習】高齢者の生活と心、身体的変化について復習する	90分
第2回	高齢者の生活実態について 高齢者の精神的理解と、人生における高齢期を総合的に理解する	
	【予習】テキストP16からP28まで読んでくる	90分
	【復習】高齢者に多い心の病気についてまた死について考えを深める	90分
第3回	高齢者支援の方法と実際 高齢者支援の方法	
	【予習】テキスト第9章 P250～P261まで読む	90分
	【復習】高齢者支援の基本理念や高齢者理解の方法を確認した上で、多様な支援方法のうち、個人・家族に対する相談援助、グループ・地域を活用して相談援助を行う方法をする際の留意点を理解する	90分
第4回	高齢者支援の方法の実際 介護保険法における連携と実際	
	【予習】テキスト第9章 P262～P285まで読む	90分
	【復習】「居宅」「介護予防」「施設」「虐待」における実践事例をとおして、多様な「場」と「方法」を用いて提供される支援の実際について学びを深める	90分
第5回	高齢者を支援する専門職の役割と実際 専門職の役割と実際	
	【予習】テキスト 第10章 P286～P290まで読む	90分
	【復習】さまざまな福祉分野の資格について理解を深める	90分
第6回	高齢者を支援する専門職の役割と実際 専門職による協働・倫理	
	【予習】テキスト 第10章 P291～P300まで読む	90分
	【復習】チームアプローチについて理解を深め、連携や協働を効果的・効率的に進めるための方法や留意点を理解する	90分
第7回	介護の概念や対象を理解する	
	【予習】テキスト第11章 P301～P311まで読む	90分
	【復習】介護の概念について歴史的背景を鑑み、理解を深める	90分
第8回	介護の専門性の理解と介護の対象者	
	【予習】テキスト第11章 P312～P334 を読む	90分
	【復習】介護の専門的理解と対象者について関連性をまとめ、ICFの視点からも考えを深める	90分
第9回	介護予防の概念と介護人材確保について	
	【予習】テキスト 第11章 P335～P342まで読む	90分
	【復習】「介護」の本質や内容について、振り返り概説できるようにする	90分
第10回	介護過程 介護各論 -1 自立に向けた介護・家事における自立支援	
	【予習】テキスト第12章 P344～P361までと第13章 P366～P385まで読む	90分
	【復習】介護過程の概要と展開技法を振り返り、理解を深める。自立支援としての介護の展開と家事における自立支援について振り返り理解を深める	90分

第11回	介護各論 -2 身支度・指導・睡眠・食事・口腔衛生・入浴・清潔・排泄の介護	
	【予習】テキスト第13章 P375～P399まで読む	90分
	【復習】身支度・指導・睡眠・食事・口腔衛生・入浴・清潔・排泄の介護を振り返り、支援方法について理解を深める	90分
第12回	介護各論 -3 身支度・指導・睡眠・食事・口腔衛生・入浴・清潔・排泄の介護	
	【予習】テキスト第13章 P375～P399まで読む	90分
	【復習】身支度・指導・睡眠・食事・口腔衛生・入浴・清潔・排泄の介護を振り返り、支援方法について理解を深める	90分
第13回	介護各論 認知症ケア	
	【予習】テキスト第14章 P400～P427まで読む	90分
	【復習】認知症ケアの理解と認知症高齢者を取り巻く現状について理解し、支援方法を考える	90分
第14回	介護各論 終末期ケア・住環境	
	【予習】テキスト第14章 P428～P455まで読む	90分
	【復習】終末期ケアをめぐる概念からケアの実際、家族との関係や居住環境について考えを深める	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】1回から14回までのテキスト範囲、配布資料を見てくる	90分
	【復習】前期末試験に向けて前期の学びを確認する	90分

授業科目名	高齢者福祉論			科目コード	W121-13				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護の基本		担当教員名	関 好博					
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	高齢者福祉論、社会保障、生活支援技術		後継科目	なし					
関連科目	介護福祉論・、生活支援技術・、社会保障、認知症ケア論・、障害者ケア論・、介護過程、介護過程、介護福祉総合演習								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	介護の対象となる高齢者・障害者の特性、介護実践の場の特性を踏まえて、高齢者を支援する組織と役割、高齢者支援の方法と実際について学習する。								
学習目標	高齢者保健福祉制度を体系的に把握し、介護保険制度の基本的理解やサービスの体系について習得する								
キーワード	高齢者支援組織 高齢者支援方法 介護予防								
テキスト・ 参考書等	社会福祉士要講座編集委員会 「高齢者に対する支援と介護保険制度」 新・社会福祉士養成講座13 中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	高齢者の特性や現代社会における高齢者の生活実態について考察でき、高齢者保健福祉制度に影響を及ぼした社会的要因を探り、介護保険制度を中心とした高齢者支援内容を理解できる								
LO-2									
LO-3	グループで意見交換することで高齢者支援に対する視点を共有し、高齢者福祉制度の内容について理解できる								
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	90				10				100
LO-1	70								70
LO-2									
LO-3	20				10				30
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	少子高齢社会と高齢者 少子高齢社会の要因や人口高齢化の地域格差、家族の状況 高齢者を取り巻く諸問題について	
	【予習】テキスト P 30から P 60まで読んでくる	90分
	【復習】少子高齢化の問題点、高齢者の健康・介護・経済等生活の諸問題について復習する	90分
第2回	高齢者保健福祉の起源と生成 高齢者の定義と、高齢者福祉の歴史について	
	【予習】テキスト P 62から P 76まで読んでくる	90分
	【復習】高齢者福祉についての歴史を復習する	90分
第3回	高齢者保健福祉制度の発展 昭和から平成における高齢者福祉について	
	【予習】テキスト P 77から P 85まで読んでくる	90分
	【復習】高齢者保健福祉政策の理念の変化についてまとめる	90分
第4回	高齢者支援の関係法規 老人福祉法・高齢者の医療の確保に関する法律	
	【予習】テキスト P 88から P 107まで読んでくる	90分
	【復習】老人福祉法・高齢者の医療の確保に関する法律成立の経緯・背景、構成、内容など理解する	90分
第5回	高齢者支援の関係法規 高齢者虐待防止法	
	【予習】テキスト P 108から P 116まで読んでくる	90分
	【復習】高齢者虐待防止法成立の背景と枠組み、特徴について学びを深める	90分
第6回	高齢者の支援の関係法規 高齢者の権利擁護とネットワーク	
	【予習】テキスト P 121,122を読んでくる	90分
	【復習】権利擁護と成年後見制度について理解する	90分
第7回	高齢者の支援の関係法規 バリアフリー新法、高齢者の居住の安定確保に関する法律等	
	【予習】テキスト P 117から 124まで読んでくる	90分
	【復習】バリアフリー法、高齢者の居住の安定確保に関する法律、社会参加と生涯学習について理解する	90分
第8回	介護保険制度の基本的枠組み	
	【予習】テキスト P 126～P 154まで読んでくる	90分
	【復習】介護保険制度の目的と理念、保険財政、保険者と被保険者、介護保険の最近の動向について学びを深める	90分
第9回	介護保険制度のしくみ 要介護認定の仕組みとプロセス、介護報酬について	
	【予習】テキスト P 156から P 156まで読んでくる	90分
	【復習】要介護認定の仕組みについて理解し、保険給付、介護報酬の内容について理解する	90分
第10回	介護保険制度の仕組み 地域支援事業、介護保険事業計画など	
	【予習】テキスト P 169から P 182まで読んでくる	90分
	【復習】地域支援事業、介護保険事業計画と、介護サービスの質を確保するための仕組みについて理解する	90分

第11回	介護保険サービスの体系 介護保険サービスにおける専門職の役割と実際 居宅・施設サービスについて	
	【予習】テキストP184からP200まで読んでくる	90分
	【復習】介護支援専門員、訪問介護員、介護職員などの役割と実際を知り、居宅サービス、施設サービスについての理解を深める	90分
第12回	介護予防サービス、地域密着型サービスについて	
	【予習】テキストP201からP210まで読んでくる	90分
	【復習】介護予防の考え方、サービス内容と地域密着型サービスについて理解を深める	90分
第13回	高齢者を支援する組織と役割 行政機関の役割・指定サービス事業者・国民健康保険団体連合会の役割	
	【予習】テキスト第8章 P214～P224まで読む	90分
	【復習】国・都道府県・市町村の組織と、指定サービス事業者、国民健康保険団体連合会が介護保険制度等との関わりの具体的内容について理解する	90分
第14回	高齢者を支援する組織と役割 地域包括支援センターの組織体系と役割	
	【予習】テキスト 第8章 P225～P233まで読む	90分
	【復習】地域包括支援センターの活動の実際を理解し、運営組織や地域包括ケアの役割について深く理解する	90分
第15回	高齢者を支援する組織と役割 社会福祉協議会とボランティア団体・非営利民間活動	
	【予習】テキスト第8章 P234～P247まで読む	90分
	【復習】社会福祉協議会やボランティア団体と地域住民との協働の必要性和地域社会の仕組みについて理解を深める	90分

授業科目名	障害者福祉論			科目コード	W121-14				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護の基本		担当教員名	石橋 郁子 室林 孝嗣					
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	障害者ケア論		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	障害の種別に応じた医学的基礎知識と自立した生活に向けてのケアについて、本人・家族を含めた介護の視点を学びます。さらに、地域のサポート体制と多職種の連携、協働、家族支援について講義や施設見学等から理解を深めます。								
学習目標	それぞれの障害に関する医学的知識を習得し、自立に向けた生活を考え尊厳を重視した支援ができる。本人と家族の支援に必要なサポート体制、多職種連携、協働から、介護福祉士の支援の在り方について理解できる。								
キーワード	障害者総合支援法 発達障害 知的障害 精神障害 障害者の支援								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成テキスト「障害の理解」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	障害のある人の心理や身体機能に関する医学的基礎知識を理解し、正しく説明することができる。								
LO-2									
LO-3	障害に応じた基本的なケアの根拠を理解し、利用者の生活に応じた自立に向けた介護を考える事ができる。								
LO-4	授業に積極的に参加し、質問・意見・グループ討議に自分の考えを発言できる。								
LO-5	障害者の尊厳を保持し、関わりを深めようとする姿勢を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40		40		10	10			100
LO-1	30		20			10			60
LO-2									
LO-3			20						20
LO-4					10				10
LO-5	10								10
備考	室林先生 7回 (障害者総合支援法・発達障害系)、松居 3回 (介護の視点)、()先生 5回 (精神障害系)です。合わせて全体評価とします。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護を必要とする人の理解 オリエンテーション・障害の基本理念	
	【予習】シラバス、テキストの目次をよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第2回	介護を必要とする人の理解 人間の多様性・複雑性の理解、社会情勢と生活実態	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第3回	介護を必要とする人の理解 障害者の暮らしの実際（1）障害者の生活の歴史	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第4回	介護を必要とする人の介護 障害者の暮らしの実際（2）法制度の変革	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第5回	介護を必要とする人の理解 障害者の暮らしの実際（3）障害者総合支援法	
	【予習】障害者総合支援法について調べる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第6回	介護を必要とする人の理解 障害者の暮らしの実際（4）障害者総合支援法	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第7回	介護を必要とする人の理解 障害のある人の暮らしの理解（1）サービスの仕組み	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第8回	介護を必要とする人の理解 障害のある人の暮らしの理解（2）サービスのプロセス	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第9回	介護を必要とする人の理解 障害のある人の暮らしの理解（3）サービスの課題	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第10回	介護を必要とする人の理解 障害のある人の暮らしの理解（4）障害児の支援	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分

第11回	介護を必要とする人の理解 介護を必要とする人の生活の理解(1)行政・労働・教育	
	【予習】資料を復習してくる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第12回	介護を必要とする人の理解 介護を必要とする人の生活の理解(2)就労支援	
	【予習】障害の概念を復習してくる。	90分
	【復習】レポート整理する。	90分
第13回	介護を必要とする人の理解 介護を必要とする人の生活の理解(3)支援事業	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	90分
第14回	介護を必要とする人の理解 介護を必要とする人の生活の理解(4)ケアマネジメント	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	90分
第15回	まとめ	
	【予習】説明できない語句を調べる。	30分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	120分

授業科目名	介護予防論			科目コード	W121-15				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護の基本	担当教員名	立島 真 杉本 洋亮 今村 彰宏 田村 良子						
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	介護福祉論	後継科目	なし						
関連科目	医学一般 ~ 、高齢者・障害者の心理 ・ 、障害者ケア論 ・ 、介護福祉論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目 社会福祉主事(任用資格)指定科目								
授業の概要	高齢者の生活と運動、介護予防に関する基礎的な知識を理解します。リハビリテーションの考え方と基礎的知識をふまえたリハビリテーションの実際を具体的に学習します。病院・施設・在宅で行われるリハビリテーションの特徴を理解し、専門職との連携を学びます。オムニバス方式です。								
学習目標	高齢者の健康と運動について介護予防と関連させて理解します。リハビリテーションの理念と基礎原則を理解します。こころとからだの障害の程度とその影響を理解します。リハビリテーションの展開過程について理解します。								
キーワード	リハビリテーション、障害、ICIDH、ICF、介護予防								
テキスト・ 参考書等	澤村誠志編集 最新介護福祉全書別巻2「リハビリテーション論」 メヂカルフレンド社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	リハビリテーションの理念、展開過程、基礎原則を理解する。障害の程度とその影響を理解し日常生活自立支援及び、社会生活能力の維持拡大への援助について理解する。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	リハビリテーションに関する動向に関心を持ち、積極的に授業に臨むことができる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80					20			100
LO-1	80								80
LO-2									
LO-3									
LO-4						20			20
LO-5									
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	自立に向けた介護 高齢者の健康と運動	
	【予習】教科書	90分
	【復習】リハビリテーション理念の展開 障害がある人の見方と変遷、 ICIDHとICFの違い リハビリテーションの種類	90分
第2回	自立に向けた介護 介護予防と運動	
	【予習】教科書	90分
	【復習】介護予防における介護福祉士の役割	90分
第3回	自立に向けた介護 リハビリテーションの考え方	
	【予習】教科書	90分
	【復習】リハビリテーションの理念	90分
第4回	自立に向けた介護 リハビリテーションと介護	
	【予習】教科書	90分
	【復習】配布資料	90分
第5回	自立に向けた介護 リハビリテーションの実際	
	【予習】教科書	90分
	【復習】リハビリテーション介護の目的 配布資料	90分
第6回	自立に向けた介護 障害別リハビリテーションの実際(1)	
	【予習】教科書	90分
	【復習】障害の形態、機能訓練	90分
第7回	自立に向けた介護 障害別リハビリテーションの実際(2)	
	【予習】配布資料	90分
	【復習】パーキンソン病の特徴、移動助、リウマチの特徴、脊髄損傷の特徴、大腿骨頸部骨折術後の注意点	90分
第8回	自立に向けた介護 施設におけるリハビリテーション(1)	
	【予習】教科書	90分
	【復習】遊びリハビリテーションの考え方、目的 日常生活につながる遊びリテーションを計画する	90分
第9回	自立に向けた介護 施設におけるリハビリテーション(2)	
	【予習】教科書	90分
	【復習】施設リハビリテーションの考え方、流れ	90分
第10回	自立に向けた介護 医療におけるリハビリテーション(1)	
	【予習】教科書	90分
	【復習】維持期リハビリテーションサービス、訪問、通所リハビリテーションのついて	90分

第11回	自立に向けた介護 医療におけるリハビリテーション(2)	
	【予習】地域リハビリについて調べてくる。	90分
	【復習】本時で学んだことを資料で振り返る。	90分
第12回	自立に向けた介護 在宅におけるリハビリテーション	
	【予習】在宅で過ごす高齢者について調べてくる。	90分
	【復習】本時で学んだことを振り返る。	90分
第13回	自立に向けた介護 地域リハビリテーション	
	【予習】地域リハビリ施設について調べてくる。	90分
	【復習】本時で学んだことを振り返る。	90分
第14回	自立に向けた介護 リハビリテーション専門職との連携	
	【予習】医療職・リハビリ専門職について調べてくる。	90分
	【復習】本時で学んだことを振り返る。	90分
第15回	自立に向けた介護 福祉用具、住居の改造 福祉のまちづくり	
	【予習】福祉用具・住宅改修を調べてくる。	90分
	【復習】今まで学習したことを整理し、期末試験に備える。	90分

授業科目名	コミュニケーション技術			科目コード	W122-10				
科目区分	専門科目 - 介護 - コミュニケーション技術	担当教員名	石橋 郁子						
開講時期	1年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目	コミュニケーション技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格、介護職員初任者研修								
授業の概要	1 介護におけるコミュニケーションの意義と目的、介護技術とコミュニケーションの関係性。2 介護福祉士に求められるさまざまなコミュニケーション技法。3 コミュニケーション障害の理解、障害に応じたコミュニケーションの技法。4 チームにおけるコミュニケーションの意義と目的。記録、報告・連絡・相談、会議。これらを演習を通して理解できるようにする。								
学習目標	介護福祉士に求められる専門性とコミュニケーション技術の関係を明らかにしながら、介護場面における幅広いコミュニケーション技術の理解を目指すとともに、社会福祉援助技術の能力を身につけます。								
キーワード	コミュニケーション障害、傾聴、共感、質問技法、記録								
テキスト・ 参考書等	新・介護福祉士養成講座「5 コミュニケーション技術」中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護福祉士に求められるコミュニケーション技術に関する基礎知識を身につける。								
LO-2	利用者や家族などに対し、基本技術を身につけ、適切なコミュニケーションができる。								
LO-3	事例から、利用者理解を踏まえ、介護場面に求められるコミュニケーション技術の判断ができる。								
LO-4	受講カードにその日の授業内容を正しくふり返ることができている。与えられた課題に対し、前向きに取り組んでいる。								
LO-5	事例検討、グループワーク等に積極的に参加し、協働で成果に取り組むことができる。介護の対象者の全体像を理解しようとし、介護観を深める。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		15		10	5			100
LO-1	50								50
LO-2					10				10
LO-3	20								20
LO-4						5			5
LO-5			15						15
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護におけるコミュニケーションの基本（介護におけるコミュニケーションの役割や基本、生活支援とコミュニケーション）	
	【予習】シラバスを確認し授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】コミュニケーションの意義と目的、基本についてまとめておく。	30分
第2回	介護におけるコミュニケーションの基本（利用者・家族との関係づくり）	
	【予習】テキスト第1章の第2節 までをよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】関わりを示す5つの基本動作をまとめておく。	30分
第3回	介護におけるコミュニケーション（コミュニケーションと人間の特性、生活支援とコミュニケーション）	
	【予習】テキスト第1章の第3節 をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】介護福祉士は介護技術の提供をとおして利用者とコミュニケーションをおこなっていることを自分なりに理解する。	30分
第4回	コミュニケーションの基本、介護におけるコミュニケーションの役割	
	【予習】テキスト第2章の第1節 をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】傾聴の意味と、「よき聴き手」とはどういうものかをまとめておく。	30分
第5回	介護における生活支援とコミュニケーション、チームのコミュニケーション	
	【予習】テキスト第1章の第3節と第4章の第1節をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】コミュニケーションの意義と役割についてまとめておく。	30分
第6回	利用者の特性に応じたコミュニケーション（コミュニケーション障害のある利用者への対応）	
	【予習】テキスト第3章の第2節をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】コミュニケーション障害について、テキストの演習を元にまとめておく。	30分
第7回	利用者の特性に応じたコミュニケーション（コミュニケーション障害のある利用者への対応） 技術の実際	
	【予習】テキストをよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】質問の技法を事例を元に説明できるとともに、質問のポイントを説明できるようまとめておく。	30分
第8回	機械・道具を用いたコミュニケーション（コミュニケーションツールの種類と活用） 記録について	
	【予習】他の関連科目のテキストを参照しながら、コミュニケーションツールの種類を調べてくる。	15分
	【復習】インターネットほかでコミュニケーションツールを用いた事例を確認しておく。	30分
第9回	介護におけるコミュニケーションの基本（報告並びに環境について）	
	【予習】テキストをよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】「報告」「連絡」「相談」の意義と目的を整理しておく。また、具体的な方法と留意点をまとめておく。	30分
第10回	介護場面における利用者・家族（利用者の納得と同意を得る技法） 意義・目的・技法	
	【予習】テキストをよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】「明確化」「焦点化」「要約」「直面化」などを自分で整理しておく。	30分

第11回	介護におけるチームのコミュニケーション（チームのコミュニケーション）	
	【予習】テキスト第4章の第1節をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】チームのコミュニケーションに関して、基礎的なことと具体的な方法についてまとめておく。	30分
第12回	介護におけるチームのコミュニケーション（記録）	
	【予習】テキスト第4章の第2節をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】記録の種類と書き方の留意点をまとめておく。情報の保護と管理について整理しておく。	30分
第13回	介護におけるチームのコミュニケーション（報告・連絡・相談、会議）	
	【予習】テキストをよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】「報告」「連絡」「相談」の意義と目的を整理しておく。また、具体的な方法と留意点をまとめておく。会議の留意点をまとめておく。	30分
第14回	介護場面における利用者・家族（相談・助言・指導の技法、利用者の意欲を引き出す技法）	
	【予習】テキスト第2章の第5節と第6節をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】相談を受ける際の原則と、介護職に求められる相談技術をまとめておく。利用者の意欲低下に関してまとめるとともに、ストレスを引き出す技法について考えておく。	30分
第15回	介護場面における利用者・家族（利用者と家族の意向を調整する技法、複数の利用者がある場面での技法）	
	【予習】テキスト第2章の第7節と第8節をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】利用者と家族の意向の一致に向けた支援をまとめておく。グループワークについてまとめておく。	30分

授業科目名	コミュニケーション技術			科目コード	W122-11				
科目区分	専門科目 - 介護 - コミュニケーション技術	担当教員名	山崎 清之 松本 保男 石橋 郁子						
開講時期	1年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目	障害者ケア論 ・ 生活支援技術 介護実習								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	1. 聴覚及び言語障害者とのコミュニケーション介護の実際を学びます。 2. 視覚障害者とのコミュニケーション介護の実際を学びます。								
学習目標	1. 手話 ・ 基本的な手話技術の習得 ・ 障害のとらえ方の理解 ・ 聞こえないことの不便や聴覚障害者のおかれている社会環境、関連制度等の理解 2. 点字								
キーワード	1. 手話 聴覚障害者 点字 視覚障害者 コミュニケーション								
テキスト・ 参考書等	1. 「新・手話教室 入門」 - 厚生労働省手話奉仕員養成講座入門課程対応 - 2. 「初めての点訳」 特定非営利活動法人全国視覚障害者情報提供施設協会								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	100								100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考	1.手話 ・テキストをもとに、ほぼ毎回ビデオを使用して学習を進めます ・ネイティブスピーカー（ろう者）に、2回程度参加してもらいます ・必要に応じて、グループ等に分かれて進めます * 授業態度・意欲(25%程度)・節目ごとのレポート(30%程度)・修了試験(45%程度)を目安にして、総合的に評価します"								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の歴史と概要、点字の歴史、点字と墨字、点字の組み立て・特徴、 点字器の種類・扱い方	
	【予習】シラバス確認	0分
	【復習】自己課題の取り組み	0分
第2回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の書き方の実際(その1) 点字を書くときのポイント、 「読み書きの基礎」 点字の読み方、五十音	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の書き方の実際(その2)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の書き方の実際(その3) 数字、アルファベット	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 聞こえないってどんなこと	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろう教育	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 指文字を覚えよう	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろうの人の話を聞こう	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろう者の生活 家族を紹介しよう	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 趣味を表してみよう・誕生日を表してみよう	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろうの人と話をしてみよう	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	1. 手話 修了試験	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W123-10				
科目区分	専門科目 - 介護 - 生活支援技術		担当教員名	井上 理絵 石橋 郁子					
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	生活支援技術					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護を必要とする人の状況に合わせた介護技術を実施できるよう、技術や知識について学習します。実際にモデルや実施者を体験して、相手にも自分にも安全で負担のない技術を習得していきます。適宜小テストを行い、技術や知識を確認していきます。								
学習目標	1.生活支援の目的・方針を理解する 2.介護の必要性や根拠を考え、理解することができる 3.「住環境の整備」「移動」「身じたく」「食事」「排泄」の意義・目的を理解し、自立に向けた基本的な介護技術を習得するとともに、福祉用具の機能を理解する。								
キーワード	生活支援技術、移動・移乗、身じたく、食事、排泄								
テキスト・ 参考書等	川井太加子編集 最新介護福祉全書5 「介護 生活支援技術」 メヂカルフレンド社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を説明できる。								
LO-2	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術が実践できる。								
LO-3	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から総合的に考えることができる。								
LO-4	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
LO-5	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50					50			100
LO-1	10					10			20
LO-2	10					10			20
LO-3	10					10			20
LO-4	10					10			20
LO-5	10					10			20
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	生活支援 ・生活とはどのようなことを考えます。また、ICFの考え方についての基礎を学びます。	
	【予習】シラバス・テキスト目次を確認する。	90分
	【復習】自己の生活を振り返り、また、家族との違いなどの要因を考える	90分
第2回	「観察」について健康を支える技術についてバイタルサイン測定について学びます。	
	【予習】こころとからだのしくみのテキスト用意する。	90分
	【復習】バイタルサインの重要性と正確な測定方法を復習しておく。	90分
第3回	自立に向けた住居環境の整備 環境と健康状態、安全で安楽な生活環境、睡眠について学びます。	
	【予習】安眠の条件を調べる。	90分
	【復習】テキスト、資料の復習しておく。	90分
第4回	自立に向けた住居環境の整備 心地よい睡眠環境、「ベッドメイキング」演習、腰痛予防について学びます。	
	【予習】睡眠環境を考える。	90分
	【復習】ベッドメイキングのポイントをおさえ、二人で実施する練習をする。	90分
第5回	自立に向けた移動の介護 基本的な身体動作、ベッド上での寝返り動作等	
	【予習】こころとからだのしくみのテキスト用意し読む。(骨格・筋肉)	90分
	【復習】高齢者のからだの動きを復習しておく。	90分
第6回	自立に向けた移動の介護 起き上がり・立ち上がりから歩行動作介助を学びます。	
	【予習】前回の復習。	90分
	【復習】ベッド上の動作の練習を、様々な体格の学生同士で練習してみる。	90分
第7回	自立に向けた移動の介護 車いすへの移乗・移動動作介助を安全安楽に配慮して学びます。	
	【予習】車いすの名称確認。高齢者の自然な動きの確認。	90分
	【復習】移乗介助の練習を、様々な体格の学生同士で練習してみる。	90分
第8回	自立に向けた移動の介護 杖歩行の支援技術、外出支援方法について学びます。 障害者車両を体験します。	
	【予習】障害者の移動について機器等を調べる。	90分
	【復習】移動介助をまとめ整理しておく。	90分
第9回	自立に向けた身じたくの介護 着る・装うことの意義・目的、被服の機能と個性について学びます。	
	【予習】高齢者の服装について調べる。	90分
	【復習】口腔ケアのポイント確認しておく。	90分
第10回	自立に向けた身じたくの介護 着脱介助の実際	
	【予習】高齢者のからだの動きを復習しておく。	90分
	【復習】麻痺のある利用者の着替えの原則とポイントをおさえ、練習しておく。	90分

第11回	自立に向けた食事の介護 食事の意義・目的、食事介助の実際	
	【予習】こころとからだのしくみのテキスト用意し読む。(口腔～消化器官)	90分
	【復習】食べるしくみと、おいしく食べることについて考える。	90分
第12回	自立に向けた食事の介護 座位姿勢での安全な食事介助、福祉用具の活用	
	【予習】介護食について調べる。	90分
	【復習】食事介助をまとめ整理しておく。	90分
第13回	自立に向けた排泄の介護 排泄の意義・目的、排泄介護の実際・トイレ誘導	
	【予習】こころとからだのしくみのテキスト用意し読む。(尿・便)	90分
	【復習】高齢者への尊厳あるケアについて考える。	90分
第14回	生活支援 前期実技試験模擬 オリエンテーション	
	【予習】実技の復習。	90分
	【復習】実技試験・定期試験対策	90分
第15回	自立に向けた排泄の介護 排泄介助の実際 おむつ介助	
	【予習】テキストでおむつ交換とあたりまえの排泄について考える。	90分
	【復習】実技試験・定期試験対策	90分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W123-11				
科目区分	専門科目 - 介護 - 生活支援技術		担当教員名	井上 理絵 石橋 郁子					
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	生活支援技術		後継科目	生活支援技術 、生活支援技術					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護を必要とする人の状況に合わせた介護技術を実施できるよう、技術や知識について学習します。実際にモデル実施者を体験して、相手にも自分にも安全で負担のない技術を習得していきます。適宜テストを行い、技術や知識を確認していきます。講義やグループワーク・演習をとおしてよりよい支援を考え実践できるように、学習していきます。								
学習目標	1.安全・安楽、プライバシーに配慮し、自立に向けた基本的な介助方法を習得する。2.介護の必要性や支援の根拠を考え、理解することができる。3.「身じたく」「清潔」「排泄」「睡眠」介護の意義・目的を理解し、自立を支援する基本的な介護技術を習得するとともに、福祉用具の機能を理解する。								
キーワード	生活支援技術 、入浴、清拭、ポータブルトイレ、電法								
テキスト・ 参考書等	川井太加子編集 最新介護福祉全書5 「介護 生活支援技術 」 メヂカルフレンド社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を説明できる。								
LO-2	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術が実践できる。								
LO-3	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から総合的に考えることができる。								
LO-4	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
LO-5	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50					50			100
LO-1	10					10			20
LO-2	10					10			20
LO-3	10					10			20
LO-4	10					10			20
LO-5	10					10			20
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	自立に向けた清潔保持の介護 身体の清潔の意義とケアの方法について学びます。	
	【予習】テキスト・ファイル確認。	90分
	【復習】入浴事故についてレポート作成する。	90分
第2回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 入浴介助の基本技術、安全・安楽について学びます。	
	【予習】入浴の物品準備。	90分
	【復習】入浴事故についてレポート作成する。	90分
第3回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 入浴ケアの実際を体験します。	
	【予習】入浴による身体の変化とリスクについて考える。	90分
	【復習】入浴事故についてレポート作成する。	90分
第4回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 全身清拭と足浴、入浴事故の発表。	
	【予習】発表のまとめ。	90分
	【復習】入浴関係のまとめ	90分
第5回	自立に向けた排泄の介護 排泄のメカニズム、介助の基本の振り返ります。	
	【予習】前期の排泄復習。	90分
	【復習】尊厳に配慮した、安全な排泄を考える。	90分
第6回	自立に向けた介護 事例学習	
	【予習】前期・後期の振り返り。	90分
	【復習】 コミュニケーション 技術の手技 根拠 安全の配慮 自立支援の視点で振り返り、チェックする。	90分
第7回	自立に向けた介護 事例学習	
	【予習】前期・後期の振り返り。	90分
	【復習】 コミュニケーション 技術の手技 根拠 安全の配慮 自立支援の視点で振り返り、チェックする。	90分
第8回	自立に向けた介護 事例学習	
	【予習】前期・後期の振り返り。	90分
	【復習】 コミュニケーション 技術の手技 根拠 安全の配慮 自立支援の視点で振り返り、チェックする。	90分
第9回	自立に向けた介護 事例学習	
	【予習】前期・後期の振り返り。	90分
	【復習】 コミュニケーション 技術の手技 根拠 安全の配慮 自立支援の視点で振り返り、チェックする。	90分
第10回	自立に向けた介護 福祉用具の活用	
	【予習】前期・後期の振り返り。	90分
	【復習】 コミュニケーション 技術の手技 根拠 安全の配慮 自立支援の視点で振り返り、チェックする。	90分

第11回	自立に向けた睡眠の介護 安楽のための技法、電法（１）	
	【予習】体調変化時の手当について考える。	90分
	【復習】観察の復習（バイタルサインなど）	90分
第12回	自立に向けた睡眠の介護 安楽のための技法、電法（２）	
	【予習】体調変化時の手当について考える。	90分
	【復習】観察の復習（バイタルサインなど）	90分
第13回	全体のまとめ振り返り 後期実技試験オリエンテーション	
	【予習】テキスト・ファイル確認。	90分
	【復習】課題の練習と、定期試験対策。	120分
第14回	全体のまとめ振り返り 実技試験模擬	
	【予習】テキスト・ファイル確認。	90分
	【復習】課題の練習と、定期試験対策。	120分
第15回	全体のまとめ振り返り 実技試験	
	【予習】テキスト・ファイル確認。	90分
	【復習】課題の練習と、定期試験対策。	120分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W123-12				
科目区分	専門科目 - 介護 - 生活支援技術		担当教員名	松島 紘子 竹内 七々恵					
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	生活支援技術、介護福祉論		後継科目	介護福祉論、看取り介護					
関連科目	生活支援技術、介護福祉論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	高齢者や障害者の自立を尊重し、適切な介護技術を用いて安全に援助できる知識や技術について習得する学習です。高齢や障害により従来の生活様式と状況が異なったときよりよい支援を考え実践できるように、講義やグループワーク・演習を通して学習します。								
学習目標	運動・認知・感覚機能低下など利用者の状態や状況に応じた適切な介助方法を理解し身につけます。福祉用具等を活用し、安全・安楽、プライバシーに配慮し、その人らしい適切な介助方法を身につけます。								
キーワード	自立支援、潜在能力、心身の状況、福祉用具の活用、ICF								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉全書5「生活支援技術」、最新介護福祉全書6「生活支援技術」、川井 太加子編メヂカルフレンド社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	高齢者・障害者の心身の状況に応じて、自立生活支援に必要な専門的知識を習得し、根拠に基づいた生活支援技術を行うことができる。								
LO-2	学生同士で高齢者や障がい者の利用者像を設定し、利用者の状態に合わせた、基本の応用となる生活支援技術を実施することができる。								
LO-3	高齢者、障がい者の状態・状況をアセスメントし、それに応じた生活支援の方法を考えることができる。								
LO-4									
LO-5	演習を通して、コミュニケーションの基本を身につけ、相手の気持ちを察することができる。他者への共感的態度を持つことができ、協調、協同して行動することができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40		10		40	10			100
LO-1	40								40
LO-2					40				40
LO-3			10						10
LO-4									
LO-5						10			10
備考	その他Aについては、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「移動1」ベッド上の移乗 ~寝返り、起き上がり、座位~ 自然な動きの観察を行い、動きの根拠を押さえて利用者の移乗の支援を行うことができる。	
	【予習】シラバス持参 生活支援技術 に目を通す。	90分
	【復習】移乗チェックシートの確認を行う。(全体の流れ、自分の出来ていなかったところ)	90分
第2回	「移動2」ベッド、車椅子間の移乗 ベッドから車椅子、車椅子からベッドへ以上する際の移乗の動きを理解し、利用者の障害に応じてポイントを押さえて支援を行うことができる。	
	【予習】車椅子の取り扱い、各部の名称のおさらい。(授業はじめに小テストを行う。)	90分
	【復習】移乗チェックシートの確認を行う。(全体の流れ、自分の出来ていなかったところ。)	90分
第3回	「移動3」片麻痺がある方の臥位~車椅子への移乗の一部介助の方法を理解し、ポイントをおさえて行うことができる。福祉用具を使用して移乗介助を行うことができる。	
	【予習】移動1、2の実技で使用した移乗チェックシートを見直し、臥位~車椅子移乗までの動作の確認を行う。	90分
	【復習】生活支援技術 P61-ベッドから車椅子への移乗介護、移乗介助における留意点。	90分
第4回	「移乗4」立ち上がりが困難な方への移乗の介助 車いすとベッド間の移乗 福祉用具の活用	
	【予習】p264スライディングボードを利用した移乗、一部介助による車いすの移乗確認 P271車いす移動する利用者の介護確認	90分
	【復習】p264スライディングボードを利用した移乗、一部介助による車いすの移乗確認 P272車いす移動する利用者の介護確認	90分
第5回	自立に向けた衣服の着脱 介護計画実習での体験を生かし、「着る・装う」という生活の意義と支える視点を再確認する 障害に応じた着脱の支援方法が理解できる。	
	【予習】介護計画実習の担当利用者が普段どんな服装をしておられたか思い出しておく。	90分
	【復習】P166-衣生活・整容行動の介護の技法について確認	90分
第6回	自立に向けた衣服の着脱 応用編 ベッドに臥床したままの状態での衣服の着脱	
	【予習】P184全介助による衣服の着脱を確認	90分
	【復習】p187利用者の状態・状況に応じた衣服の着脱の介護の留意点確認	90分
第7回	自立に向けた食事の介護1 高齢者に多い食事に関する障害を理解し、食事を楽しむための方法を考える事ができる	
	【予習】食事の介護の基本、嚥下のメカニズムについて	90分
	【復習】食事の介護の基本、嚥下のメカニズムについて	90分
第8回	自立に向けた食事の介護2 高齢者に多い食事に関する障害を理解でき、食事を楽しむための方法を考えることができる。	
	【予習】食事の介護の基本	90分
	【復習】食事介助の方法、利用者にあった食事内容のアセスメント	90分
第9回	自立に向けた睡眠の介護 不眠の原因を理解し、それに応じた良眠を促す支援方法を考えることができる。快適な環境づくり(ベッドメイキング)ができる。	
	【予習】p211睡眠の意義と目的	90分
	【復習】ICFに基づくアセスメント	90分
第10回	自立に向けた睡眠の介護 不眠の原因をアセスメントし、介護計画の立案、実施を行う	
	【予習】計画実施の準備(必要物品等)	90分
	【復習】計画書提出	90分

第11回	自立に向けた排泄の介護 排尿のメカニズムを理解し、頻尿、尿失禁がある利用者に対し、適切な支援方法を考え、学生同士で実施することができる。	
	【予習】自立排泄支援と紙おむつの資料を読み、共感理解出来るところ、わからないところ（言葉、内容）に線をひいておく。資料は授業で使用するので必ず持参すること。	90分
	【復習】生活支援技術 P137 - 「排泄」という生活の支援の視点 特に安全への配慮に関して、トイレは危険も多いことを知っておく。	90分
第12回	認知機能に障害がある方への生活支援の実際（DVD鑑賞）を知り、実習先で活かすことができる。利用者のみならず、学生同士の接し方について今までよりも相手を思いやり接することができる。	
	【予習】事例の概要を把握する。	90分
	【復習】感想を書き、提出。	90分
第13回	応用技術（1）介護福祉士国家試験実技試験問題の実施 アセスメントシートを記入し、学生同士で利用者、実施者、評価者となり行なう。	
	【予習】問題文をよく読んでおく。	90分
	【復習】介護福祉士実技試験問題の復習	90分
第14回	応用技術（2）介護福祉士国家試験実技試験問題の実施 アセスメントシートを記入し、学生同士で利用者、実施者、評価者となり行なう。	
	【予習】問題文をよく読んでおく。	90分
	【復習】介護福祉士実技試験問題の復習	90分
第15回	福祉用具の活用	
	【予習】	90分
	【復習】資料の確認、レポートの提出	90分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W123-20				
科目区分	専門科目 - 介護 - 生活支援技術		担当教員名	石黒 康子					
開講時期	1年後期		授業の方法	実技					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	医学一般 、生活支援技術 、								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	・自立に向けた家事の介助の方法、家事に参加することを支える介護を学習。行事食・郷土食としての伝統食やマナーなど生活文化についても学習。健やかな人生を送るための適正な食生活のあり方に関する知識の習得。								
学習目標	栄養バランスのとれた食事、高齢者の嗜好に合った食べやすい食事、生活習慣病を予防できる食事等、命をつなぎ、QOLの向上に欠く事のできない食の重要性を認識し、臨機応変に対応できる介護実践力を養うこと。								
キーワード	健康・栄養・食生活・衛生・生活習慣病・介護食								
テキスト・ 参考書等	久保田トミ子他、介護福祉士養成テキスト10 「生活支援技術」 建帛社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	栄養的にバランスのとれた食生活を営むために、食品のもつ特性について理解し、正しく答えることができる。								
LO-2	ニーズを踏まえ、個別性に応じた安全でおいしい食事作りができる。								
LO-3	高齢者・障害者の食におけるニーズを把握し、対応を考えることができる。								
LO-4	健康や食について関心を持ち、自分自身も適正な食生活に努めている。								
LO-5	グループのメンバーと協調性を育み、不得意とする他者へのサポートができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	10	30	10				100	
LO-1	50	10						60	
LO-2									
LO-3			30					30	
LO-4									
LO-5				10				10	
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	家事の意義と目的、栄養と健康、食生活の現状と問題点。	
	【予習】日常の家事の必要性について考えてみる。また、自分の食生活を振り返ってみる。	90分
	【復習】自分の食生活について見直しをおこない、課題を見出し解決方法を考える。	90分
第2回	90	
	【予習】医学一般 のテキストをもとに、身体の機能について復習をおこない、要点を確認しておく。	90分
	【復習】栄養素の役割についてまとめ、疾患との関係を把握しておく。	90分
第3回	食品の分類と特性（中間テスト）	
	【予習】日頃、摂取している食品について、過不足がないか調べてみる。	90分
	【復習】食品の特性と調理との関係を把握する。	90分
第4回	食品の加工と保存、食品の安全性	
	【予習】食品についている表示やマークについて調べてみる。	90分
	【復習】消費期限・賞味期限の確認、冷蔵庫の庫内について調べる。	90分
第5回	献立と料理、献立作成、調理の手法	
	【予習】我が家の食事ができるまでを把握する。	90分
	【復習】献立作成のポイントをまとめ、高齢者向きを考えた場合の展開方法を把握する。	90分
第6回	高齢者・障害者の食生活のあり方	
	【予習】老化に伴う身体面や心理面からの機能低下の状態や、障害によって生じる食事摂取の不都合さについて把握する。	90分
	【復習】高齢者・障害者がおいしく食べれる手法をまとめる。	90分
第7回	食事と生活習慣病	
	【予習】食事と病気の関係を調べる。	90分
	【復習】生活習慣病を予防するためのポイントをまとめる。	90分
第8回	調理実習（1）介護食	
	【予習】咀嚼・嚥下困難者について調べる。	90分
	【復習】嚥下困難に適する食材・調理方法をまとめる。	90分
第9回	調理実習（2）日本料理の基礎	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	90分
	【復習】実習ノートを作成し、要点をまとめ、課題を明らかにする。	90分
第10回	調理実習（3）「行事食」ちらしずし、清し汁、ミルクくずもち	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	90分
	【復習】実習ノートを作成し、要点をまとめ、課題を明らかにする。	90分

第11回	調理実習(4)「西洋料理」マカロニグラタン、野菜スープ、ヨーグルトサラダ	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	90分
	【復習】実習ノートを作成し、要点をまとめ、課題を明らかにする。	90分
第12回	調理実習(5)「行事食」正月料理	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	90分
	【復習】実習ノートを作成し、要点をまとめ、課題を明らかにする。	90分
第13回	調理実習(6)「行事食」我が家のお雑煮	
	【予習】我が家の雑煮の作り方を家の人に習い、使用する材料の確認をする。	90分
	【復習】課題レポートを作成する。	90分
第14回	調理実習(7)生活習慣病予防のための食事	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	90分
	【復習】課題レポートを作成する。	90分
第15回	調理実習(8)「自由献立」高齢者の献立作成・調理	
	【予習】グループで献立作成・検討をおこない、材料の確認・用意、発表等の練習をする。	90分
	【復習】課題レポートを作成する。	90分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W123-21				
科目区分	専門科目 - 介護 - 生活支援技術		担当教員名	石黒 康子 富山 定子					
開講時期	2年前期		授業の方法	実技					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	生活支援技術		後継科目						
関連科目	生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	自立に向けた居住環境の整備が個々の状況に応じて、よりよい支援ができるように学習します。 自立に向けた家事の介助の技法、家事に参加することを支える介護を学習します。								
学習目標	利用者が生活の中で求めている幸せとは何かを的確に捉える力と、個性のある自立・自律や社会参加に向けた生活支援ができるようになることをめざします。								
キーワード	自立 生活 家事 居住 環境整備								
テキスト・ 参考書等	久保田トミ子他、介護福祉士養成テキスト10 「生活支援技術」 建帛社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	自立に向けた生活支援の技法や、個々の状況に応じた居住の環境整備に関する知識を習得している。								
LO-2	自立生活を支援するための必要な介護実践技術の基本を身につけている。								
LO-3	自立に向けた生活支援のためのニーズを的確に捉えることができる。								
LO-4	その人らしい自立生活支援に関心を持ち、課題解決のための創意工夫することができる。								
LO-5	他者に共感でき、自立に向けた生活支援のために協調・協働して行動することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		20	30				100	
LO-1	25		10					35	
LO-2				10				10	
LO-3	25		10					35	
LO-4				10				10	
LO-5				10				10	
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	自立に向けた居住環境の整備 健康と「すまい・環境」との関係、居住環境のアセスメント	
	【予習】健康と居住環境との関係を把握しておく	90分
	【復習】授業での学習を振り返り、居住の環境整備の必要性をまとめる	90分
第2回	自立に向けた居住環境の整備 高齢者と環境整備	
	【予習】高齢者に伴う身体機能の低下のために、環境整備としてどうあるべきか考える	90分
	【復習】授業での学習を振り返り、住環境の役割と支援のための要素をまとめる	90分
第3回	自立に向けた居住環境の整備 障害者と環境整備	
	【予習】障害に伴う機能の低下のために、環境整備としてどうあるべきか考える	90分
	【復習】授業での学習を振り返り、支援のための要素をまとめる	90分
第4回	自立に向けた居住環境の整備 生活を支える「すまい・環境」	
	【予習】個々の状況に応じた環境整備について考える	90分
	【復習】授業での学習を振り返り、環境整備の必要性についてまとめる	90分
第5回	自立に向けた居住環境の整備 住宅改修・ユニバーサルデザイン	
	【予習】誰もが住みやすい、使いやすい住環境についてユニバーサルデザインの視点で考える	90分
	【復習】授業での学習を振り返り、支援のための要素をまとめる	90分
第6回	自立に向けた家事の介護 家事の意義・目的 家事支援に関するアセスメント	
	【予習】日頃の家事について、生活者としての見解をまとめる	90分
	【復習】授業での学習を振り返り、衣生活の内容を整理する	90分
第7回	自立に向けた家事の介護 被服の管理	
	【予習】繊維の種類、洗たく、シミ抜き、管理についてテキストを読んでおくこと	90分
	【復習】授業での学習を振り返り、支援のための要素をまとめる	90分
第8回	自立に向けた家事の介護 掃除用具・用剤の使い方と各部屋の掃除	
	【予習】掃除用具と用剤との関係について把握しておくこと	90分
	【復習】授業での学習を振り返り、支援のための要素をまとめる	90分
第9回	自立に向けた家事の介護 水回り、ガス及び電気器具等の管理、ごみ処理等	
	【予習】各家庭の水回りや熱源の管理について把握しておく	90分
	【復習】授業での学習を振り返り、支援のための要素をまとめる	90分
第10回	自立に向けた家事の介護 家事に参加することを支える介護の工夫	
	【予習】日々の生活での家事の種類や方法について考えてみる	90分
	【復習】授業での学習を振り返り、家事の介助としての支援方法を探る	90分

第11回	自立に向けた家事の介護 家事介助の技法(1) 縫製の基礎 花ふきん	
	【予習】 運針の練習をする	90分
	【復習】 授業の課題を作成しながら、支援するための方法を探る	90分
第12回	自立に向けた家事の介護 家事介助の技法(2) 縫製の基礎 ボタンつけ	
	【予習】 ボタン、ホックづけの練習をする	90分
	【復習】 授業の課題を作成しながら、支援するための方法を探る	90分
第13回	自立に向けた家事の介護 家事介助の技法(3) ユニバーサルファッション製作	
	【予習】 グループで高齢者・障害者を想定し、着脱しやすい服を考案する	90分
	【復習】 工夫した点を製作していくため、必要な付属品の確認・準備をする	90分
第14回	自立に向けた家事の介護 家事介助の技法(4) ユニバーサルファッション製作	
	【予習】 機能低下に伴い着脱しやすい服について、自己の見解をまとめる	90分
	【復習】 ユニバーサルファッションのためのレポート作成に向けて要点をチェックし、まとめる	90分
第15回	自立に向けた家事の介護 家事介助の技法(5) ユニバーサルファッション製作 発表会	
	【予習】 グループの発表に向けて、改善点や反省点をチェックする	90分
	【復習】 アイデア作品の応募用書類の記入内容をチェックし、下書用紙を作成する	90分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W123-22				
科目区分	専門科目 - 介護 - 生活支援技術			担当教員名	井上 理絵				
開講時期	2年後期			授業の方法	演習				
必修・選択	選択			単位数	1単位				
前提科目(知識)	医学一般、高齢・障害者の心理、障害者ケア論、生活支援技術			後継科目	なし				
関連科目	ターミナルケア論、介護過程各論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	死を迎えることや残された者の思いなど、さまざまな「死」を取り巻く状況を講義やグループワークをとおして学習します。終末期を理解し、QOLを高める身体・生活援助やコミュニケーション技術を身につけ、介護福祉士としての死生観を養います。								
学習目標	看取り介護の重要性を理解し、終末期から臨終期の適切なケアを理解します。 在宅・施設における看取り介護におけるチームアプローチの中で介護福祉士としての役割を理解し、自分の死生観を養います。								
キーワード	終末期、終末期介護、死生観、グリーフケア、他職種連携、								
テキスト・ 参考書等	新・介護福祉士養成講座 介護福祉士養成講座編集委員会編集「生活支援技術」中央法規 ㈱三菱総合研究所 「特別養護老人ホームにおける看取り介護ガイドライン」2007年3月								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	終末期の心身状況を理解し、在宅・施設における他職種連携、終末期の介護技術の基本について十分に理解できる。								
LO-2									
LO-3	緩和ケア、リビングウィル等、尊厳の保持を理解し、自分自身の死生観を深めることができる。								
LO-4	尊厳保持を貫く終末期介護のあり方を考え、専門職としての介護能力を高めるために興味関心の視野を広げようと積極的に取り組む姿勢が十分に見受けられる								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢がグループワークの中で見ることができる。また、その場の状況に応じた適切な言葉かけを仲間にかけることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80		20				100
LO-1			40						40
LO-2									
LO-3			30						30
LO-4			10						10
LO-5					20				20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	終末期の介護 終末期の意義と介護の役割	
	【予習】テキスト P 366 ~ P 373までを読んでくる	60分
	【復習】終末期の意味を学び、終末期ケアの考え方を理解し、終末期における介護の役割を学ぶ	120分
第2回	終末期の介護 高齢者の終末期医療	
	【予習】テキスト P 183 ~ P 1188までを読んでくる	60分
	【復習】看取りの場所の変化、医療の実際、インフォームドコンセントについて押さえる	120分
第3回	終末期の介護 在宅での看取り	
	【予習】テキスト P 188 ~ 199までを読んでくる	90分
	【復習】事例から自分の思いをまとめ、ワークシートに記入する	90分
第4回	終末期の介護 施設での看取り(1)	
	【予習】㈱三菱総合研究所「特別養護老人ホームにおける看取り介護ガイドライン」に目を通してくる	90分
	【復習】今まで体験してきた実習施設と照らし合わせて内容を考える	90分
第5回	終末期の介護 施設での看取り(2)	
	【予習】テキスト P 199 ~ 209までを読んでくる	90分
	【復習】看取り介護の具体的な実践内容を理解する	90分
第6回	終末期の介護 施設での看取り(3)	
	【予習】㈱三菱総合研究所「特別養護老人ホームにおける看取り介護ハンドブック」に目を通してくる	90分
	【復習】家族との連携の大切さや介護福祉士としての役割について考えを深める	90分
第7回	終末期の介護 緩和ケアの実際	
	【予習】緩和ケアとは何かを調べる	90分
	【復習】緩和ケアの具体内容について理解を深める	90分
第8回	終末期の介護 食事・睡眠を支える介護	
	【予習】終末期に必要な食事・睡眠を支える介護に必要なことを考える	90分
	【復習】終末期に必要な食事・睡眠を支える介護の重要性と具体的内容を理解する	90分
第9回	終末期の介護 排泄・清潔を支える介護	
	【予習】終末期に必要な排泄・清潔を支える介護に必要なことを考える	90分
	【復習】終末期に必要な排泄・清潔を支える介護の重要性と具体的内容を理解する	90分
第10回	終末期の介護 その人らしさを支える介護	
	【予習】終末期に必要なその人らしさを支える介護に必要なことを考える	90分
	【復習】終末期に必要なその人らしさを支える介護の重要性と具体的内容を理解する	90分

第11回	終末期の介護 死後の支援（エンゼルケア）	
	【予習】エンゼルケアについて調べる	90分
	【復習】死後の支援における介護福祉士の役割について理解を深める	90分
第12回	終末期の介護 グリーフケア	
	【予習】グリーフケアについて調べる	90分
	【復習】グリーフケアについての意義と具体的方法について理解を深める	90分
第13回	終末期の介護 エンディングノート DVD鑑賞	
	【予習】エンディングノートについて調べる	90分
	【復習】DVDを観ての感想をワークシートにまとめる	90分
第14回	終末期の介護 特別講義 「施設での看取りの実際」	
	【予習】実際に現場で働いている卒業生に看取りについて質問したいことをまとめる	90分
	【復習】施設での看取りの実際の特別講義から考えたことや思いをレポートにまとめる	90分
第15回	終末期の介護 まとめ課題「孤独死を介護福祉士として考える」についてレポート作成	
	【予習】孤独死について調べ、考えをまとめる	60分
	【復習】看とり介護全体から、孤独死を考え、介護福祉士の役割と関連させてレポートを作成する	120分

授業科目名	介護過程			科目コード	W124-10				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護過程		担当教員名	石橋 郁子					
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	介護過程					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	利用者の立場に近づき、利用者が求めている支援を提供する視点に立ち、生きてきた時間と生活からその人を理解していくために介護過程という思考過程の基本を主に、テキストを使用しながら、学習します。								
学習目標	情報の収集、解釈・分析、そしてアセスメントの意味を理解します。利用者個々のニーズを把握する能力と介護計画を立案する能力を養います。 「分析的思考」と「総合的思考」を養うためにICFの概要や考え方を習得します。								
キーワード	生活 幸せ 情報収集 アセスメント ICF								
テキスト・ 参考書等	石野育子編著 最新介護福祉士全書7「介護過程」メヂカルフレンド社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護過程の流れを理解し、アセスメントの必要性を理解する能力を十分有する。 ICFの概要や考え方を理解することができる。								
LO-2	一人の人間の全体像を捕え、様々な視点からニーズを見出し、それに関連することを分析する能力が十分身につけている。								
LO-3	「介護福祉論」「生活支援技術」「こころとからだのしくみ」等の科目で学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力を十分に有する。								
LO-4	介護過程を展開するために必要な情報や知識を積極的に修得しようと意欲的に行動することができる。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を十分身につけている。 円滑なコミュニケーションのとり方の基本が身につけており、他者の意見を尊重しながら、グループの意見をまとめ、発表								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		20		20				100
LO-1	30								30
LO-2	10		10						20
LO-3	20		10						30
LO-4					10				10
LO-5					10				10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護過程の意義 介護過程とは 自分の身近におきた最近の出来事(困ったこと・迷ったこと)についてどのように解決してきたか考える。	
	【予習】シラバスを読み、科目の内容や目的を抑える	60分
	【復習】本時の資料、ノートを見て振り返る。	120分
第2回	介護過程の意義 自分の身近におきた出来事について解決していくプロセスを理解する。グループワークを通して、解決していくプロセスを話し合う。	
	【予習】本学に入学する1カ月前の生活を振りかえり、自分の行動をノートにメモしておく。	60分
	【復習】他の人がどのように対応していたか、解決しているプロセスをワークシートを見て振り返る。	120分
第3回	介護過程の意義 グループワーク 問題を解決していく過程が理解できる。(1)コンセンサスゲーム 課題を通してグループワークをおこなう。グループ発表	
	【予習】テキストP5～7を読んでおく。	60分
	【復習】グループで検討した意見をワークシートから振り返る。	120分
第4回	介護過程の意義 グループワーク 問題を解決していく過程が理解できる。コンセンサスゲーム(2) グループでより良い解決方法を検討しあう。発表する	
	【予習】テキストP5～9までを読んでおく	90分
	【復習】テキスト、ノートから学習したことを振り返る	90分
第5回	介護過程の意義 身近に起こる出来事を問題解決過程を使い思考できる。(3)事例1について考える。個人ワーク	
	【予習】テキストP1～9を読む	90分
	【復習】テキストP7の表1-1と自分が考えた事例1について振り返る。	90分
第6回	介護過程の意義 事例1についてグループワークをおこない、考えられる様々な方法を話し合う。グループ発表をおこなう。	
	【予習】前回の事例1のワークシートを見ておく	90分
	【復習】他のグループで発表された意見をワークシートを見て振り返る。	90分
第7回	介護過程の意義 介護過程の意義・目的・展開について学習する	
	【予習】テキストP12～P15を読んでおく	60分
	【復習】本時のノートとテキスト範囲を読み振り返る。	120分
第8回	介護過程の基礎的理解(1)介護過程の展開	
	【予習】テキストP13～18を読んでおく	90分
	【復習】本時のノート、資料、テキスト範囲から振り返る。	90分
第9回	介護過程の基礎的理解(2)介護過程とチームアプローチ	
	【予習】テキストP18～21を読んでおく	60分
	【復習】本時のノート、資料、テキスト範囲から振り返る。	120分
第10回	介護過程の基礎的理解(3)介護過程とチームアプローチ	
	【予習】テキストP23～32を読んでおく	60分
	【復習】ニーズとは何か本時のノートを見て振り返る。	120分

第11回	介護過程の展開 介護過程におけるニーズ ニーズを見つける視点について分かる。マズローの基本的欲求がわかる。	
	【予習】テキストP26～P43を読んでおく	60分
	【復習】本時のノート、テキスト範囲からニーズについて振り返る。	120分
第12回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント(1) 介護過程の構成要素とアセスメントについて理解する。ICFの構成要素についてわかる	
	【予習】テキストP13～P14 59～61を読んでおく	90分
	【復習】アセスメントについてノート及びテキスト範囲から振り返る。	90分
第13回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント(2) アセスメント情報収集について分かる。身近な人の事例課題2をICFの視点でワークシートに記述する(自己ワーク)	
	【予習】テキストP61～P62を読んでおく	90分
	【復習】本時の課題から事実を情報収集することを振り返る。	90分
第14回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント(3) 身近な事例2について情報収集をICFの視点をういたワークシートに記述したものをういて発表をし、他グループからの意見を聞く。	
	【予習】テキストP50をよく読む。	90分
	【復習】グループで情報収集した内容を見直してみる。	90分
第15回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント(4) グループで集めた情報をアセスメントする。コンセンサスゲーム 既定のシートにグループから出た情報を記述し、アセスメントを行う。グループ発表	
	【予習】グループで情報収集した内容をテキストP50を参考に見直し、発表の準備をしておく。	90分
	【復習】他のグループ発表を聞いて、情報収集について振り返る。	90分

授業科目名	介護過程			科目コード	W124-11				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護過程		担当教員名	井上 理絵					
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	介護過程		後継科目	介護過程					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	<p>様々な利用者の生活場面とその環境から適切な支援ができるよう、習得した知識や経験を介護過程の展開に活用していきます。</p> <p>介護計画実習での情報収集ができるよう事例をとおして記録用紙の書き方を学びます。</p> <p>専門職として必要な知識・技術を身につけ、多職種との連携を理解します。</p>								
学習目標	<p>情報の収集、解釈・分析、アセスメントの意味を理解し、利用者個々のニーズを把握する能力を養います。</p> <p>また、介護計画を立案するために必要な具体的な情報収集能力を身につけ、介護計画を立案する能力を養います。</p>								
キーワード	情報収集 アセスメント ICF ニーズ 本人の思い								
テキスト・ 参考書等	石野育子編著 最新介護福祉士全書7「介護過程」メヂカルフレンド社 平成27年度「介護実習の手引き」 富山短期大学								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	情報収集の必要性を理解する能力を有する。情報収集の必要性と方法について十分理解をしている。								
LO-2	収集した情報をICFシートに分類し、整理する能力を十分に有する。								
LO-3	「介護福祉論」「生活支援技術」「こころとからだのしくみ」等の科目で学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力を十分に有する。								
LO-4	介護過程を展開（情報収集と計画立案）するために必要な情報や知識を積極的に修得しようと意欲的に行動することができる。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている。 円滑なコミュニケーションのとり方の基本が身につけており、他者の意見を尊重しながら、グループの意見をまとめ、発表								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80		20				100
LO-1			30						30
LO-2			20						20
LO-3			30						30
LO-4					10				10
LO-5					10				10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント情報収集 ワークシートに記述する 介護過程の構成要素を振り返る 各自が基礎実習で、かかわった利用者についてどのようなニーズがあったか考える	
	【予習】介護過程の構成要素、ICFの視点を見とく。	60分
	【復習】基礎実習で自分がかかわった利用者の情報について振り返る。	120分
第2回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント情報収集 グループワーク 各自がかかわった利用者の状況、必要な情報は何か話し合いワークシートにまとめる。	
	【予習】学習範囲について、テキストを見直す。	60分
	【復習】グループで検討した意見を振り返る。	120分
第3回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント情報収集 グループでまとめ意見を発表する。	
	【予習】学習範囲をテキストを見て読んでおく。	60分
	【復習】他のグループの意見を聞いて振り返る。	120分
第4回	介護過程の展開 事例学習1 - ICFの視点で必要な情報は何か考えワークシートに記述する。	
	【予習】前回と同じテキストのページを読み確認する。生活支援技術のテキストを読む	60分
	【復習】ワークシートの記述内容をテキストを見て振り返る。	120分
第5回	介護過程の展開 事例学習1 - グループワーク グループで意見交換し、ICFの視点をまとめる	
	【予習】生活支援技術のテキストで必要なところを見て確認しておく	60分
	【復習】グループでまとめた意見を振り返っておく。	120分
第6回	介護過程の展開 事例学習1 - グループ発表とまとめ	
	【予習】テキストの確認 生活支援技術のテキスト確認	60分
	【復習】他のグループの発表を聞いて振り返り、情報収集についてICFの視点をまとめておく。	120分
第7回	介護過程の実践的展開 事例学習2 - グループワーク ICFの視点で意見交換する。	
	【予習】授業日まで、事例2の必要な情報収集をICFの視点のワークシートに記述しておく。	60分
	【復習】グループで意見交換した内容を振り返る。生活支援技術のテキストを読み確認しておく。	120分
第8回	介護過程の実践的展開 事例学習2について、グループのまとめを発表する	
	【予習】テキストを確認する。生活支援技術のテキスト確認する。発表する内容を確認しておく。	60分
	【復習】他のグループの意見を聞き振り返り、事例2における情報収集についてまとめておく。	120分
第9回	介護過程の実践的展開 事例学習1・2のまとめ 実際の情報収集の場面を体験し、気付いたことを発表する。	
	【予習】事例1と2におけるICFの視点で、グループワークしたワークシートを見直す。	60分
	【復習】実際の情報収集の場面から気付いたことをまとめておく。	120分
第10回	介護過程の実践的展開 介護計画実習に向けて、実際に用いる記録用紙(D1-3)の記述方法と留意点について理解する。	
	【予習】本学の平成27年度実習の手引きP37-39を読んでおく。	60分
	【復習】説明を受けたことの留意点、記述方法について手引きP51-53を読み振り返る。	120分

第11回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの事例について説明後、実習記録D1～3に記述する。	
	【予習】手引きP37～39、51～53を確認しておく。	60分
	【復習】手引きP37～39を参照しながら見直し、Mさんの事例D1～3を完成させておく	120分
第12回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの事例 情報収集したD1～3の内容について気がついたこと、迷ったところなどグループ話し合う。教員が提示したMさんのD1～3を見て理解できる。	
	【予習】手引きP37～39を確認する。	60分
	【復習】Tさんの事例からD1～3の記述について振り返る。	120分
第13回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの情報からアセスメント(解釈、意味づけ、統合)を実践し、課題の発見、分析を理解する	
	【予習】実習の手引きP37～41を見てくる。	60分
	【復習】テキストP97～108を事例をよく読む。	120分
第14回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの事例について、得られた情報から実習記録E-1表を記述する。	
	【予習】手引きP37～39、51～53を見直す。	60分
	【復習】事例4 Mさんの情報を確認してE-1表を完成させる	120分
第15回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの介護上の課題を考える。グループで、E-1表から意見をだし、E-2表を完成させる。	
	【予習】テキストP66～108、手引きP37～39、51～53を読み直す。	60分
	【復習】計画実習まで、手引きを見直し情報収集についてまとめておく。	120分

授業科目名	介護過程			科目コード	W124-12				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護過程		担当教員名	石橋 郁子 井上 理絵					
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護過程、介護過程		後継科目	介護過程					
関連科目	介護福祉論 ~ 実習指導								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護計画実習で作製した受け持ち利用者の情報収集から I C F の視点に基づいてアセスメントを理解します。介護過程を展開していく上で、生活課題と目標、介護計画の立案、実施、評価していく際の観点や留意点を学びます。利用者の自立支援の視点に立ち、利用者の状況、状態に応じた介護過程を展開していく能力を身につけます。								
学習目標	1. I C F の視点をとおしてアセスメントし、計画的に実践・評価することを理解する。 2. 利用者の状況に応じて、介護過程を展開できる能力を身につける。 3. 事例検討を通して、司会や参加者の役割などカンファレンスに必要な能力を身につける。								
キーワード	他職種連携、計画立案・実施・評価、再アセスメント、ケースカンファレンス								
テキスト・ 参考書等	石野育子編著 最新介護福祉士全書7「介護過程」メヂカルフレンド社 介護福祉教育研究会 「楽しく学ぶ介護過程」 久美出版 大川弥生著 『「よくする介護」を実践するための I C F の理								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護計画を立案し、計画を実施・評価する方法を十分に理解している。								
LO-2	介護過程の展開を本案作成の I C F モデルシートに的確に記録し、記述することができる。								
LO-3	利用者の生活課題を見出し、習得している知識や技術を I C F の視点を基にして、介護過程の展開に十分に生かすことができる。								
LO-4	介護過程を展開（アセスメント・計画立案・実施評価）するために必要な情報や知識を積極的に修得しようと予習・復習を確実に取り組んでいる。								
LO-5	事例検討会での司会や記録などの役割を体験することで、他者の立場で物事を考えることができ、協調・協働して物事を進めていくことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		20		10				100
LO-1	40								40
LO-2			10						10
LO-3	30								30
LO-4			10						10
LO-5					10				10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ICFの構成要素について確認する。ICFの視点から計画実習で受け持った利用者の情報を見直し、情報収集の必要性を理解する。ICFの視点を記述し、E-1を完成させる	
	【予習】テキストP50～見直す 介護計画実習で記述したD1～3の記録を見直す	60分
	【復習】本時の授業で振り返りをした情報収集について見直す。	120分
第2回	介護過程の実践的展開 介護過程におけるアセスメントを理解する (1) 自己の事例のアセスメントを展開する。E-1から課題を明確にしE-2を完成させる	
	【予習】テキストP60～80を読んでおく。	60分
	【復習】情報収集からアセスメントについてテキスト、ノートから振り返る。自己の事例でE-1を完成させる	120分
第3回	介護過程の実践的展開 介護過程におけるアセスメントを理解する(2) 複数の情報を判断していく過程が分かる。ICFの10の視点から介護上の課題を取り上げ、E-2から援助計画を考えF表を作成する。課題解決に向けた優先順位と重要性和緊急性について理解する。	
	【予習】テキストP97～126を読んでおく	60分
	【復習】情報を判断していく過程をテキスト、実習の手引き、ノートから振り返る。	120分
第4回	介護過程の実践的展開 介護過程におけるアセスメントが理解できる(3) 取り上げた課題の優先順位について分かり、自己の課題についてE-1・E-2・Fを見直し発表する準備ができる。	
	【予習】テキストP95～126を再度読み、自己事例を見直す。	60分
	【復習】本時の授業からテキスト、実習の手引きから振り返り自己事例を完成させ提出する	120分
第5回	介護過程の展開 グループワーク 自己の事例から課題として取り上げたものについて発表する。	
	【予習】情報収集・整理について復習してくる。	90分
	【復習】グループメンバーの意見を受け、自己事例のアセスメントを振り返る	90分
第6回	介護過程の展開 共通事例1をととして、事例の全体像を理解する。10の視点E-1を記述できる(1)	
	【予習】事例 の情報を読み全体像を考えておく。ICFの10の視点について復習してくる。	90分
	【復習】テキスト、実習の手引きからICFの10の視点を振り返る。	90分
第7回	介護過程の展開 グループワーク 各自で考えた共通事例1の10の視点を、意見交換し、介護上の課題を抽出する。グループで E-1 E-2を作成する	
	【予習】自分で考えた、事例の10の視点を見直す。	90分
	【復習】グループで検討した意見を振り返る	90分
第8回	介護過程の展開 グループワーク 介護上の課題2つを取り上げ、アセスメントE-2表から援助計画F表を検討していく	
	【予習】自分で考えた事例の10の視点を見直す。	90分
	【復習】グループで意見交換した10の視点E-1・E-2を完成させ提出する	90分
第9回	介護過程の実践的展開 介護計画を立案していく過程が理解できる。グループワーク 共通事例1について アセスメントから課題を引出し、援助計画を立案するプロセスについてグループで検討し、発表の準備ができる。	
	【予習】テキストP96～101を読んでおく。実習の手引きP41を読んでおく。	90分
	【復習】本時の授業内容をテキスト、実習の手引きで振り返る。	90分
第10回	介護過程の実践的展開 共通事例1 グループ発表 意見交換	
	【予習】テキストP132～140を読んでおく。実習の手引きP42を読んでおく。	90分
	【復習】介護計画を立案していく過程を振り返る。	90分

第11回	介護過程の実践的展開 共通事例2における事例の全体像についてグループで意見交換し、情報を整理してE - 1表を作成する。	
	【予習】共通事例2を読み、事例の全体像を考える	90分
	【復習】10の視点について見直しておく。実習の手引きP10 51～56を参考にする。	90分
第12回	介護過程の実践的展開 共通事例2のアセスメントをおこないE - 1からE - 2、F表を作成する。	
	【予習】実習の手引きP41を確認しておく。	90分
	【復習】アセスメントする過程を振り返る。	90分
第13回	介護過程の実践的展開 共通事例2をとおして 介護上の課題そして介護計画を立案していく過程を振り返り E - 1・E - 2・F表を見直し、発表の準備ができる。	
	【予習】実習の手引きP41～43を読み確認しておく。	90分
	【復習】テキストP132～147を参考にする。実習の手引きP42を読み確認する。	90分
第14回	介護過程の実践的展開 共通事例2について、発表し意見を交換する	
	【予習】実習の手引きP41～43を読み確認しておく。	90分
	【復習】グループワークで検討した意見について振り返る。	90分
第15回	介護過程の展開 介護過程の実施と評価、総合評価について理解し、記録用紙G表の記述ができる。	
	【予習】テキストP148～198を読んでおく。実習の手引きP43を読んでおく。	90分
	【復習】介護過程の展開についてテキスト、実習の手引きで確認しておく。	90分
第16回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第17回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第18回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第19回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第20回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第22回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第23回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第24回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第25回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第26回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第27回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第28回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第29回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第30回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	介護過程			科目コード	W124-14				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護過程		担当教員名	石橋 郁子 井上 理絵					
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	介護過程、介護過程 介護過程		後継科目	なし					
関連科目	実習指導								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護過程とケアマネジメントの関連性について学び、介護過程とチームアプローチの必要性について理解を深めます。介護過程実習の自己の事例でケーススタディを行い、グループワークで、意見交換を実践する。MDS方式、包括的自立支援プログラムなど、介護の現場で活用されるアセスメントシートについて知識を深めていきます。								
学習目標	利用者の状況に応じて、応用・活用できるよう能力を養います。 専門職として必要な知識・技術を身に付け、多職種との連携ができる能力を身に付けます。利用者を取り巻く生活環境を意識して、社会の動向に関心を寄せ、よりよい生活支援に取り組むことができる能力を身に付けます。								
キーワード	介護過程の展開、アセスメント、ICF、施設ケアプラン、事例検討								
テキスト・ 参考書等	石野育子編著 最新介護福祉士全書7「介護過程」メヂカルフレンド社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	実習での経験を踏まえて、介護過程の一連の展開に必要な知識や技術を十分に有している。								
LO-2									
LO-3	ICFの視点を基に、利用者の状況に応じた介護過程の展開を応用・活用することができる。								
LO-4									
LO-5	他者の意見を尊重しながら、グループの意見をまとめ、発表することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			50						50
LO-2									
LO-3			30						30
LO-4									
LO-5			20						20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護過程とチームアプローチ自己の介護過程実習を振り返る 情報収集D 1～3 アセスメントE - 1・E - 2を振り返る (1)	
	【予習】介護過程実習で作成した受け持ち利用者のD1.2.3E 1.2F G表を見直してくる	60分
	【復習】自分の事例を発表できるようにまとめる	120分
第2回	介護過程とチームアプローチ 介護過程実習を振り返る 自己の事例におけるアセスメントから介護計画F、Gまでを見直し発表できるようまとめる。(2)	
	【予習】自己の事例を見直す	60分
	【復習】自己の事例を振り返りシートに記入する	120分
第3回	介護過程とチームアプローチ 介護過程実習を振り返る ケーススタディの作成(担当教員から助言を受け自己の事例を既定の用紙に記述する)(1)	
	【予習】実習の手引きを確認する	60分
	【復習】担当教員に助言を受け自己の事例を振り返る	120分
第4回	介護過程とチームアプローチ 介護過程実習を振り返る ケーススタディの作成 (2)	
	【予習】実習の手引きを確認する	60分
	【復習】担当教員の助言を受け、自己の事例を既定の用紙のまとめる	120分
第5回	介護過程とチームアプローチ 介護過程実習を振り返る 事例を発表する グループワーク (1)	
	【予習】自己の事例について見直す	60分
	【復習】発表メンバーの事例を振り返りシートに記入する	120分
第6回	介護過程とチームアプローチ 介護過程実習を振り返る 事例を発表する グループワーク(2)	
	【予習】実習の手引きを確認する	60分
	【復習】発表メンバーの事例を振り返りシートに記入する	120分
第7回	介護過程とチームアプローチ 介護過程実習を振り返る 事例発表 グループワーク(3)	
	【予習】前回までのグループメンバーの発表を見直す	0分
	【復習】発表メンバーの意見を振り返りシートに記入する	0分
第8回	介護過程とチームアプローチ 介護過程について全体を振り返る 事例の発表 グループワーク(4)	
	【予習】テキストP 66～120を読んでおく	0分
	【復習】介護過程実習から自己の情報収集について振り返る グループワークの振り返りシートを見直す	0分
第9回	介護過程とチームアプローチ 介護過程について全体を振り返る アセスメント(情報の分析・意味付け・統合)から課題の把握 MDSを用いたアセスメントの展開	
	【予習】テキストP 120～149を読んでおく	0分
	【復習】介護過程実習の自己事例から課題の把握と介護計画の立案を振り返る グループワークでの振り返りシートを見直す	0分
第10回	介護過程とチームアプローチ 介護過程について全体を振り返る 情報収集からアセスメント三団体方式によるアセスメントの展開	
	【予習】テキストP 129～204を読んでおく	60分
	【復習】介護過程実習における自己の事例の介護計画立案、実施 評価を振り返る グループワークの振り返りシートを見直す。	120分

第11回	介護過程の実践的展開 特別講義	
	【予習】前回までのアセスメント方式を見直しておく	60分
	【復習】特別講義を受け、気づいたことを整理してレポートし、提出する	120分
第12回	介護過程の実践的展開 介護過程の展開 認知症の事例におけるケアプランの実際	
	【予習】ケアプランにおける展開についてテキストを見直す	60分
	【復習】事例における介護過程の展開を振り返る	120分
第13回	介護過程の実践的展開 介護施設におけるケアプランの実際（障害のある利用者の場合） 特別講義実施	
	【予習】介護保険で使用するアセスメントツールをテキストから見直す	60分
	【復習】介護過程とケアプランの違いを見直す	120分
第14回	介護過程の実践的展開 在宅におけるケアプランの実際（在宅で活用されるアセスメントツール）	
	【予習】介護保険における在宅サービスについて調べて置く	60分
	【復習】介護保険におけるケアプランと介護過程の展開についてテキストから復習しておく	120分
第15回	介護過程の展開 介護過程の展開において専門職として守るべき倫理、道徳、姿勢を考えまとめる『課題作成』	
	【予習】これまで学んだ介護過程の展開のまとめをする	60分
	【復習】専門職としてあるべき姿を見据える	120分

授業科目名	実習指導			科目コード	W127-10				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護総合演習			担当教員名	石橋 郁子				
開講時期	1年前期			授業の方法	演習				
必修・選択	必修			単位数	1単位				
前提科目(知識)				後継科目	基礎実習、実習指導				
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を講義やグループでの調査等から学びます。基礎実習に向けての課題や目標、考えが明確になり、実習記録の書き方などをグループワークや個別指導で習得します。基本的態度を理解し、利用者と接することができるようにロールプレイで実践します。								
学習目標	介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を理解できる。基礎実習に向けての課題や目標、考えが明確になり、実習記録の書き方などを習得する。基本的態度を理解し、利用者とは接することができる。								
キーワード	基礎実習、施設介護、訪問介護、生活支援、介護記録								
テキスト・ 参考書等	平成28年度 介護実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	基礎実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できる。利用者の生活と施設・訪問介護の特色を理解し、説明できる。								
LO-2	利用者・家族、職員に対する実習生として適切にかかわる基本姿勢が習得できる。各種記録の目的を理解し、期限内に提出できる。								
LO-3	課題の調査に積極的取り組み、自己の考えをまとめることができる。								
LO-4	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し積極的に進行・サポートできる。								
LO-5	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、相手の立場を理解した適切なマナーがとれる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		20		10	20			100
LO-1	50								50
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4					10				10
LO-5						20			20
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護実習の基本理解 介護実習の意義と目的 について説明します。 自宅近隣の実習施設調査について説明します。	
	【予習】介護実習についてイメージし、疑問点を考える。	20分
	【復習】実習の予定を確認し、実習施設について調査票を記入できるようにする。	25分
第2回	介護計画実習報告会	
	【予習】報告集を読み、質問、意見を発表できるようにまとめておく。	0分
	【復習】レポート提出	0分
第3回	実習施設についての理解(1) 高齢者介護施設の概要と生活について説明します。	
	【予習】在住地域の施設について調べる。	40分
	【復習】各種施設での生活の特徴を整理する。	20分
第4回	実習施設についての理解(2) 障害児・者の概要 障害者の生活を支援することについて説明します。	
	【予習】在住地域の施設について調べる。	30分
	【復習】調査を方向発表できるようにまとめる。	30分
第5回	実習施設についての理解(3) 在宅系サービスの概要 在宅生活を支援することについて説明します。	
	【予習】在住地域の施設について調べる。	40分
	【復習】実習施設の希望を考え、提出できるようにする。	20分
第6回	介護実習の方法(1) 到達目標についての理解ができるように、実習の詳細を説明します。	
	【予習】調査を方向発表できるようにまとめる。	30分
	【復習】実習に向けて具体的取り組みをイメージし、2年生に確認する。	30分
第7回	介護実習の方法(2) 到達目標についての理解ができるように、実習の課題を整理します。	
	【予習】実習の手引きを読む。	20分
	【復習】実習の手引きを読む。	25分
第8回	介護実習の方法(3) 到達目標を達成するための取り組み方を考え、発表します。	
	【予習】実習の手引きを読む。	20分
	【復習】不明な点を考え、質問できるように講義内容、手引きを確認する。	25分
第9回	介護実習における記録(1) 日々の活動記録の実際について説明します。	
	【予習】実習の手引きを読む。	20分
	【復習】課題を作成し提出する。	40分
第10回	介護実習における記録(2) 利用者との関わりの記録の実際について先輩の事例から説明します。	
	【予習】実習の手引きを読む。	20分
	【復習】課題を作成し提出する。	40分

第11回	介護実習に対する準備(1) 実習の心得。実習時に出会う問題について具体的に説明します。	
	【予習】実習の手びき(実習の心得)を読む。	20分
	【復習】実習の手びきを読む。	25分
第12回	介護実習に対する準備(2) 基本的な接遇について実践的に学びます。	
	【予習】一般的なマナーを調べる。	20分
	【復習】自分の行動を振り返り、マナーの実践を生活に取り入れる。	25分
第13回	オリエンテーション(1) 実習施設への事前訪問・諸注意	
	【予習】実習の手びき(実習の心得)、テキスト(カンファレンスについて)を読む。	20分
	【復習】施設に事前訪問の予約を取り、報告する	40分
第14回	特別講義 施設における介護と介護職員の役割と実習生に望むことについて、実習指導者を迎えて講義を受けます。	
	【予習】手引き確認し読む。	20分
	【復習】事前レポート作成	40分
第15回	実習スケジュール、評価について説明します。	
	【予習】実習の手びき(実習の心得)を読む。	20分
	【復習】実習の必要物品準備、試験に向けて復習する。	40分

授業科目名	実習指導			科目コード	W127-11				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護総合演習			担当教員名	井上 理絵				
開講時期	1年後期			授業の方法	演習				
必修・選択	選択			単位数	1単位				
前提科目(知識)	実習指導、介護過程、介護福祉論、生活支援技術、コミュニケーション論、コミュニケー			後継科目	実習指導、介護過程実習				
関連科目	介護過程、生活支援技術、介護計画実習、介護福祉論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	基礎実習を振り返り、獲得した知識や技術を整理し、実習課題の自己到達度を評価し、新たな学習課題を明確にします。また、グループワーク等により情報・体験を共有化を図り学びを深めます。介護計画実習に向けて、介護過程の展開を基に、介護計画立案に必要な情報収集に関する知識を習得します。								
学習目標	基礎実習を振り返り、自己の課題を明確にできる。介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を理解できる。介護計画実習に向けての目標を理解し、実習記録の書き方や利用者理解の方法が習得できる。								
キーワード	介護計画実習、ICFの視点、情報収集、レクリエーション、時差勤務								
テキスト・ 参考書等	「平成27年度 介護実習の手引き」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護計画実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できる。利用者の全体像をICFの視点から捉え、生活を説明できる。								
LO-2	実習生として利用者の尊厳に配慮することを理解し、適切にかかわる姿勢を習得する。各種記録の目的を理解し、正確に記録する技能を有する。								
LO-3	課題の調査に積極的取り組み、自己の考えをまとめることができる。								
LO-4	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し積極的に進行・サポートできる。								
LO-5	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、専門職としての資質を養うように努力できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40		30		10	20			100
LO-1	20								20
LO-2	20		10						30
LO-3			20						20
LO-4					10				10
LO-5						20			20
備考	その他Aについては、授業中の意見発表、グループワーク活動、参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	実習指導 授業の概要説明 介護計画実習までの流れ 基礎実習 事後学習(1) 訪問介護実習の振り返り	
	【予習】基礎実習訪問・施設 実習ファイルの確認をする。実習の手引き参照	30分
	【復習】基礎実習・訪問を終えて明らかになった課題を、指示された用紙に記入する。	60分
第2回	基礎実習 事後学習(2) 基礎実習・訪問 振り返り	
	【予習】訪問介護の目的について確認をする。	30分
	【復習】訪問介護実習の振り返りを通して、訪問介護の意義について指定の用紙に記入する。	60分
第3回	基礎実習 事後学習(3) 事前・事後レポートを読み返し、達成状況を客観的に整理する。そのことをとおして、残された課題を明らかにする。	
	【予習】B表の事例についてあらかじめ読んでくる。	30分
	【復習】B表の振り返りを用紙に記入する。	60分
第4回	基礎実習 事後学習(4) B表を振り返ります。	
	【予習】「実習の手引き」B表の要点を熟読してください。	30分
	【復習】事例課題の作成、提出。	60分
第5回	基礎実習 事後学習(5) C表 利用者との関わりの過程を振り返ります	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】授業で提示されたC表を完成する。	60分
第6回	基礎実習 事後学習(6) B表の振り返りをします。(まとめ・発表)	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】C表のポイントについて、再確認します。	60分
第7回	介護計画実習 事前学習(1) 実習のねらいと到達目標について説明します。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】介護計画実習の流れを確認します。	60分
第8回	介護計画実習 事前学習(2) 受け持ち利用者像について明確にします。	
	【予習】平成27年度介護計画実習報告集を読んでくる。興味・関心を持った事例を3例取り上げる。	30分
	【復習】介護計画実習での各自の受け持ちたい利用者像を用紙に記入する。	60分
第9回	介護計画実習 事前学習(3) 実習課題の明確化 日々の実習目標の作成	
	【予習】実習の手引き「今日の実習目標」要点を読んでくる。	30分
	【復習】授業中の課題を完成する。	60分
第10回	介護計画実習 事前学習(4) 生活支援技術の確認 受け持ち利用者像の最終確認をして、実習での具体的な行動を計画します。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】課題作成、提出。	60分

第11回	特別講義 介護計画実習にむけて、実習指導者から講義を受けます。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】事前レポート作成、提出。	60分
第12回	実習で想定される問題点に対する対応策を検討します。	
	【予習】事前レポート作成、提出	60分
	【復習】授業で提示された事例を振り返る。	60分
第13回	レクリエーション企画立案・報告書の書き方について説明	
	【予習】実習の手引きを読んでくる	30分
	【復習】レクリエーション企画書・報告書の確認	60分
第14回	介護計画実習で使用する記録用紙の配布。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】定期試験対策	60分
第15回	事前打ち合わせの オリエンテーション	
	【予習】定期試験対策	30分
	【復習】定期試験対策	60分

授業科目名	実習指導			科目コード	W127-12				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護総合演習		担当教員名	井上 理絵					
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	実習指導、介護過程、介護過程		後継科目	介護過程					
関連科目	実習指導、介護福祉論、社会保障、介護過程、介護過程								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護計画実習を振り返り、獲得した知識や技術を整理し、実習課題の自己到達度を評価し、介護過程実習に向けての課題を明確にします。また、グループワーク等により、各々の体験の共有化を図り、学びを深めます。								
学習目標	介護過程実習の目的や到達目標を理解し、実習への自己目標や心構えを確かなものにする。								
キーワード	介護過程、情報収集、アセスメント、介護計画立案・実施・評価 夜勤実習								
テキスト・ 参考書等	平成27年度富山短期大学 介護実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護過程実習の実習目的・目標、実習内容などを理解する。								
LO-2									
LO-3	介護過程実習における実習期間の自己の実習プログラムを計画する。								
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			50						50
LO-2									
LO-3			50						50
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護計画実習事後指導（1） 介護計画実習を振り返る 介護過程実習、総合実習の配属について説明を受け、希望する施設・事業所の希望を考える。	
	【予習】介護計画実習のファイルやメモを見て、自分で振り返りを行う。	90分
	【復習】実習希望施設の場所の確認、概要の確認を行う。	90分
第2回	介護計画実習事後指導（2） グループ別実習報告を行い、利用者との関わりからの気づきや学び、介護職員や関連職種との態度や姿勢から学んだこと、指導で指摘されたこと等を話し合い、自分の体験と照らし合わせての差異から考え方を深める。	
	【予習】グループ演習ワークシートを記入しておく。	90分
	【復習】他の学生の体験も自分の体験を通して学んだことと同様になるよう、討議で出た意見をまとめ、さらなる利用者理解や専門職としてのあり方についての理解を深める。	90分
第3回	介護計画実習事後指導（3） 実習の評価を知り、次の介護過程実習へつなげる。	
	【予習】介護計画実習の記録や自己評価表、手引きの評価部分を見て、自分自身の10日間の実習を客観的に振り返る。	90分
	【復習】実習先の評価と自己評価の違いの原因を考える。今後の目標に向けてどのような努力をしていかなければならないのか、自分の行動目標と向き合う。	90分
第4回	介護過程実習事前指導（1） 介護過程実習の目的、目標、課題を理解する。	
	【予習】介護実習手引きの過程実習の内容を読む。	90分
	【復習】介護過程実習の全体の進め方を確認する。	90分
第5回	介護過程実習事前指導（2） 介護過程実習における記録内容と様式を理解する E-1表、E-2表	
	【予習】前回計画実習のD表1～3を見直す。実習の手引き介護過程実習の目標を確認し、記録用紙E-1表、E-2表の記載の視点をよく読む。	90分
	【復習】資料に基づき、E-1表、E-2表の目的と書き方について理解する。	90分
第6回	介護過程実習事前指導（3） 介護過程実習における記録内容と様式を理解する F表、G表	
	【予習】実習の手引き介護過程実習の目標を確認し、記録用紙F表、G表の記載の視点をよく読む。	90分
	【復習】資料に基づき、F表、G表の目的と書き方について理解する。	90分
第7回	介護過程実習事前指導（4） 介護過程実習における自己の課題を明確にする。	
	【予習】実習の手引き介護過程実習の目的と到達目標を確認する	90分
	【復習】介護計画実習からの自己課題を明確にし、設定した自己目標を確認し、どのようにすれば達成できるか、具体的な行動目標を明らかにする。	90分
第8回	介護過程実習事前指導（5） 介護過程特別講義を聴講する。	
	【予習】介護過程実習の内容を見直す。	90分
	【復習】特別講義を受けて気づいたことをまとめレポートする	90分
第9回	介護過程実習事前指導（6） 事前レポートを作成する	
	【予習】第7回の実習指導で明確になった目標・課題を思い出し、シートに記入しておく。	90分
	【復習】事前レポートを完成させる。	90分
第10回	介護過程実習事前指導（7） 「受け持ちしたい利用者像」を作成する。	
	【予習】介護計画実習で受け持ちした利用者との関わりを振り返りや見出した課題から、介護過程実習で受け持ちしたい利用者を考える。	90分
	【復習】「受け持ちしたい利用者像」と自己課題との関連性を確認する。	90分

第11回	介護過程実習事前指導（8）経験録より生活支援技術の到達度と自己評価を振り分け、自己の実習プログラムを計画する。夜勤実習、通所介護・通所リハビリ体験実習をすることを理解する。	
	【予習】介護課程実習の内容を見直す。手引きを基に、4週間のシミュレーションを行う。	90分
	【復習】実習の手引きを参考に、4週間の介護過程実習の自己プログラムを見直す。	90分
第12回	介護過程実習事前指導（9）事前オリエンテーション実習記録の記述方法、注意事項について理解できる。	
	【予習】受け持ちたい利用者像と自己の課題を見直す。	90分
	【復習】介護過程実習の記録方法、注意事項について確認する	90分
第13回	介護過程実習事前指導（10）介護過程の展開についての理解を深める。	
	【予習】介護過程実習における介護過程記録用紙の記入の仕方等を振り返る。	90分
	【復習】介護過程の授業と関連して、具体的な記入方法を理解する。	90分
第14回	介護過程実習事前指導（11）介護過程の展開についての理解を深める。	
	【予習】D-1.2.3表、E-1.2表、F表、G表の記入方法や書き方の視点をしっかり理解する。	90分
	【復習】介護過程の授業と関連して、具体的な記入方法を理解する。	90分
第15回	介護過程実習事前指導（12）介護過程実習に向けての自己の考えを明らかにできる。	
	【予習】手引きやこれまでの資料から介護過程実習の意義と目的、自己目標を関連付けて考えをまとめる。	90分
	【復習】介護過程実習の自己課題・目標が達成できるよう、より考えを深める。	90分

授業科目名	実習指導			科目コード	W127-13				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護総合演習			担当教員名	石橋 郁子				
開講時期	2年後期			授業の方法	演習				
必修・選択	選択			単位数	1単位				
前提科目(知識)				後継科目	基礎実習、実習指導				
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を講義やグループでの調査等から学びます。基礎実習に向けての課題や目標、考えが明確になり、実習記録の書き方などをグループワークや個別指導で習得します。基本的態度を理解し、利用者と接することができるようにロールプレイで実践します。								
学習目標	介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を理解できる。基礎実習に向けての課題や目標、考えが明確になり、実習記録の書き方などを習得する。基本的態度を理解し、利用者とは接することができる。								
キーワード	基礎実習、施設介護、訪問介護、生活支援、介護記録								
テキスト・ 参考書等	平成28年度 介護実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	基礎実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できる。利用者の生活と施設・訪問介護の特色を理解し、説明できる。								
LO-2	利用者・家族、職員に対する実習生として適切にかかわる基本姿勢が習得できる。各種記録の目的を理解し、期限内に提出できる。								
LO-3	課題の調査に積極的取り組み、自己の考えをまとめることができる。								
LO-4	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し積極的に進行・サポートできる。								
LO-5	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、相手の立場を理解した適切なマナーがとれる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		20		10	20			100
LO-1	50								50
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4					10				10
LO-5						20			20
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護実習の基本理解 介護実習の意義と目的 について説明します。 自宅近隣の実習施設調査について説明します。	
	【予習】介護実習についてイメージし、疑問点を考える。	20分
	【復習】実習の予定を確認し、実習施設について調査票を記入できるようにする。	25分
第2回	介護計画実習報告会	
	【予習】報告集を読み、質問、意見を発表できるようにまとめておく。	0分
	【復習】レポート提出	0分
第3回	実習施設についての理解(1) 高齢者介護施設の概要と生活について説明します。	
	【予習】在住地域の施設について調べる。	40分
	【復習】各種施設での生活の特徴を整理する。	20分
第4回	実習施設についての理解(2) 障害児・者の概要 障害者の生活を支援することについて説明します。	
	【予習】在住地域の施設について調べる。	30分
	【復習】調査を方向発表できるようにまとめる。	30分
第5回	実習施設についての理解(3) 在宅系サービスの概要 在宅生活を支援することについて説明します。	
	【予習】在住地域の施設について調べる。	40分
	【復習】実習施設の希望を考え、提出できるようにする。	20分
第6回	介護実習の方法(1) 到達目標についての理解ができるように、実習の詳細を説明します。	
	【予習】調査を方向発表できるようにまとめる。	30分
	【復習】実習に向けて具体的取り組みをイメージし、2年生に確認する。	30分
第7回	介護実習の方法(2) 到達目標についての理解ができるように、実習の課題を整理します。	
	【予習】実習の手引きを読む。	20分
	【復習】実習の手引きを読む。	25分
第8回	介護実習の方法(3) 到達目標を達成するための取り組み方を考え、発表します。	
	【予習】実習の手引きを読む。	20分
	【復習】不明な点を考え、質問できるように講義内容、手引きを確認する。	25分
第9回	介護実習における記録(1) 日々の活動記録の実際について説明します。	
	【予習】実習の手引きを読む。	20分
	【復習】課題を作成し提出する。	40分
第10回	介護実習における記録(2) 利用者との関わりの記録の実際について先輩の事例から説明します。	
	【予習】実習の手引きを読む。	20分
	【復習】課題を作成し提出する。	40分

第11回	介護実習に対する準備(1) 実習の心得。実習時に出会う問題について具体的に説明します。	
	【予習】実習の手びき(実習の心得)を読む。	20分
	【復習】実習の手びきを読む。	25分
第12回	介護実習に対する準備(2) 基本的な接遇について実践的に学びます。	
	【予習】一般的なマナーを調べる。	20分
	【復習】自分の行動を振り返り、マナーの実践を生活に取り入れる。	25分
第13回	オリエンテーション(1) 実習施設への事前訪問・諸注意	
	【予習】実習の手びき(実習の心得)、テキスト(カンファレンスについて)を読む。	20分
	【復習】施設に事前訪問の予約を取り、報告する	40分
第14回	特別講義 施設における介護と介護職員の役割と実習生に望むことについて、実習指導者を迎えて講義を受けます。	
	【予習】手引き確認し読む。	20分
	【復習】事前レポート作成	40分
第15回	実習スケジュール、評価について説明します。	
	【予習】実習の手びき(実習の心得)を読む。	20分
	【復習】実習の必要物品準備、試験に向けて復習する。	40分

授業科目名	基礎実習			科目コード	W129-10				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護実習		担当教員名	石橋 郁子 西井 啓子 関 好博 井上 理絵					
開講時期	1年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	実習指導		後継科目	介護計画実習 実習指導					
関連科目	生活支援技術 医学一般								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	言語による意思疎通が可能な高齢者または障害者と関わり、施設における生活やその人らしい暮らし方が理解でき、学内で学習した基礎的な生活支援技術について理解を深めます。また、在宅で福祉サービスを受けている利用者の居宅を訪問介護員と一緒に同行訪問し、個別ケアを理解すると共に、利用者・家族とのコミュニケーションの実践を行います。								
学習目標	1. 利用者とかかわりを持つための基本がわかる。2. 高齢者・障がい者等の多様な生活を知る。3. 自立に向けた生活援助を見学・体験して、生活支援技術について理解を深める。								
キーワード	基礎実習、コミュニケーション、生活支援、施設実習、訪問介護実習								
テキスト・ 参考書等	富山短期大学 実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	利用者の理解 利用者都関わりを持つための基本がわかる。 多様な暮らし方がわかる。								
LO-2	生活支援技術 初歩的なコミュニケーションができる。 個々の生活支援方法の違いが理解できる。 利用者が暮らしやすいように、安全に配慮した工夫がわかる。								
LO-3	記録と計画 見学・実施した事柄を実習記録に記録することができる。 利用者とかかわりの事実が記録できる。								
LO-4	チームワーク 介護職員の業務内容を理解できる。 社会的役割 施設・事業所について理解できる。 家族とかかわりが理解できる。								
LO-5	実習課題 自己の課題を設定し、計画的に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1日目 1.自己紹介をする。 2.申し送りに参加する。 3.「今日の実習目標」を発表し、実習指導者または担当者と行動予定を確認する。 4.利用者の1日の生活の流れを知る。 5.生活環境についての工夫や安全対策等について知る。 6.ミニカンファレンスをする。 7.経験録を記入し、指導者の確認を得る。	
	【予習】B表記入	0分
	【復習】A表追記	0分
第2回	2日目 1.利用者との交流を図るため、コミュニケーション技法を用いて会話する。 2.生活支援技術の説明・見学する。3・6・7は同様。	
	【予習】B表記入	0分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。	0分
第3回	3日目 1.利用者との交流を図るため、コミュニケーション技法を用いて会話する。 2.生活支援技術の説明・見学・体験する。(ADLの比較的自立している利用者の食事・排泄・移動・環境の整備の介助の補助をする。3・6・7は同様。	
	【予習】B表記入	0分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。	0分
第4回	4日目 1.利用者に自分からかわかり、コミュニケーション技法を用いて意図的な会話を展開する。 2・3・6・7は同様。	
	【予習】自己課題を調査まとめておく。	0分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。	0分
第5回	5日目 1・2・3・6・7は同様。	
	【予習】B表記入	0分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。 C表を記入する。 経験録を記入確認する。	0分
第6回	6日目 1・2・3・6・7は同様。	
	【予習】B表記入	0分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。	0分
第7回	7日目 1・2・3・6・7は同様。 まとめおよび反省会	
	【予習】B表記入 反省会の準備をする。	0分
	【復習】A表・B表・C表(1枚)・経験録・事後レポート・自己評価表記入 提出用ファイルの整備 お礼状	0分
第8回	訪問介護実習1日目 1.自己紹介をする。 2.申し送りに参加する。 3.「今日の実習目標」を発表し、実習指導者または担当者と行動予定を確認する。 4.利用者の在宅生活の流れとサービス内容を知る。 5.生活環境についての工夫や安全対策等について知る。 6.ミニカンファレンスをする。 7.経験録を記入し、指導者の確認を得る。	
	【予習】 実習事業所(パンフレット、HPなど確認)・実習指導者確認。 交通手段・時間・服装確認。 訪問実習のファイル確認。	0分
	【復習】A表記入 毎日の記録・訪問の記録の記入	0分
第9回	訪問介護実習 2日目 1.同行訪問の対象利用者の状況やサービス内容と目的について理解する。 2.利用者の状況に応じたコミュニケーションができる。 3.サービス内容を見学し、補助的役割ができる。	
	【予習】地域の地図確認 居宅サービスについて調べる 自己課題の確認事項	0分
	【復習】毎日の記録・訪問の記録の記入	0分
第10回	訪問介護実習 3日目 1-3同様 4.実習の成果についてまとめ、意見を言うことができる。(反省会)	
	【予習】地域の地図確認 居宅サービスについて調べる 自己課題の確認事項 反省会の準備	0分
	【復習】A表・毎日の記録・訪問の記録・経験録・事後レポート・自己評価表記入 提出用ファイルの整備 お礼状	0分

授業科目名	介護計画実習			科目コード	W129-11				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護実習	担当教員名	井上 理絵 西井 啓子 関 好博 石橋 郁子						
開講時期	1年後期	授業の方法	実習						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	実習指導	後継科目	実習指導						
関連科目	基礎実習 生活支援技術 ・								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	利用者の背景を知り、個人の全体像を把握することができるよう、情報を収集していくことを目指します。また、利用者の個別的ニーズがわかり、反応を確かめながら介護を展開します。								
学習目標	1. 受け持ち利用者の全体像を把握し、ICFに基づいて記録できる。 2. 多職種との協働を経験し、介護職員の役割が理解できる。 3. 自立に向けた援助の在り方を考え、実践できる。 4. 受け持ち以外の利用者の状態を大まかにとらえることができる。 5. 利用者の生きがいを高める活動を企画・実践する事ができる。 6. 施設職員の役割が理解できる。 7. 設定した実習課題を実践し、評価する事ができる。								
キーワード	介護計画実習、受け持ち利用者、ICF、レクリエーション、時差勤務								
テキスト・ 参考書等	富山短期大学 実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	利用者の理解 受け持ち利用者の全体像を把握し、個別的なニーズが分かる。 配属された実習場所で生活をしているその他の利用者を大まかに捉える事ができる。								
LO-2	生活支援技術 個別的なニーズが分かり、反応を確認しながら援助ができる。 自立支援に向けた援助のあり方を考え、実施することができる。 利用者の生きがいを高める活動を企画・実践することができる。								
LO-3	記録と計画 利用者の全体像が分かるように、具体的に記録する。 実行可能な開度計画を立案し、簡潔に記録できる。								
LO-4	チームワーク 受け持ち利用者を中心に多職種との協働を経験できる。 多職種との協働の中で介護職員や個人の役割が理解できる。 社会的役割 地域における施設職員及び介護職員の役割が理解できる。 ボランティアの受け入								
LO-5	実習課題 設定した課題を実践し、評価することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1日目 1.自己紹介をする。 2.申し送りに参加する。 3.「今日の実習目標を発表し、実習指導者または担当者と行動予定を確認する。 4.利用者の1日の生活の流れを知る。 5.生活環境についての工夫や安全対策等について知る。 6.ミニカンファレンスをする。 7.経験録を記入し、指導者の確認を得る。	
	【予習】 実習施設(パンフレット、HPなど確認)・実習指導者確認。 交通手段・時間・服装確認。 実習先に電話でアポイントを取る。 事前レポート完成。 受け持ちしたい利用者像を記入。 A・B表記入	0分
	【復習】 A・B表記入	0分
第2回	2日目 1.受け持ち利用者を決定するため、コミュニケーション技法を用いて会話する。 2.生活支援技術の説明・見学する。3・6・7は同様。	
	【予習】 B表記入	0分
	【復習】 A表追記	0分
第3回	3日目 1.受け持ち利用者を決定する。 2.生活支援技術の説明・見学・体験する。(ADLの比較的自立している利用者の食事・排泄・移動・環境の整備の介助の補助をする。3・6・7は同様。	
	【予習】 B表記入	0分
	【復習】 自己課題を調査まとめておく。	0分
第4回	4日目 1.利用者に自分からかわかり、本人の思いを引き出すように意図的な会話を展開して情報収集する。 2・3・6・7は同様。	
	【予習】 B表記入	0分
	【復習】 自己課題を調査まとめておく。 D表記入 レクリエーションの企画書作成。	0分
第5回	5日目 1・2・3・6・7は同様。 8.受け持ち利用者の情報・生活支援方法の根拠を考え、指導者・担当教員と相談する。 9.レクリエーションの相談・確認を行う。	
	【予習】 B表記入	0分
	【復習】 自己課題を調査まとめておく。 C・D表を記入する。 経験録を記入確認する。 レクリエーションの準備。	0分
第6回	6日目 1・2・3・6・7・8・9は同様。	
	【予習】 B表記入 時差勤務の準備をする。	0分
	【復習】 自己課題を調査まとめておく。 D表を記入する。	0分
第7回	7日目 1・2・3・6・7・8・9は同様。	
	【予習】 B表記入 時差勤務の準備をする。	0分
	【復習】 自己課題をまとめておく。	0分
第8回	8日目 1・2・3・6・7・8・9は同様。	
	【予習】 B・D表記入 レクリエーションの準備をする。	0分
	【復習】 D表の下書き完成 自己課題を調査まとめておく。	0分
第9回	9日目 1・2・3・6・7・8・9は同様。	
	【予習】 B・D表記入	0分
	【復習】 カンファレンスの準備 自己課題をまとめておく。	0分
第10回	10日目 1・2・3・6・7・8・9は同様。 まとめおよび反省会	
	【予習】 B表記入 反省会の準備をする。	0分
	【復習】 A表・B表・C表(2枚)・D表・レクリエーション企画書・報告書・経験録・事後レポート・自己評価表記入 提出用ファイルの整備 お礼状	0分

授業科目名	介護過程実習			科目コード	W129-12				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護実習		担当教員名	井上 理絵 西井 啓子 関 好博 石橋 郁子					
開講時期	2年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	4単位					
前提科目(知識)	実習指導 介護計画実習		後継科目	総合実習 実習指導					
関連科目	介護過程 、 、 、 基礎実習 実習指導 、								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	個別ケアを行うために個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするための「受け持ち利用者」の介護計画の作成、実施後の評価やこれを踏まえた計画の修正という介護過程を展開し、他科目で学習した知識や技術を総合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を習得する。								
学習目標	「受け持ち利用者」のアセスメント・計画・立案・実践・評価・修正といった介護過程のプロセスを全面的に理解する。自立支援に向けた援助のあり方を考え、実践することができる。								
キーワード	介護計画立案・実施・評価 受け持ち利用者 生活支援技術 夜勤実習 通所介護・通所リハビリ実習								
テキスト・ 参考書等	平成26年度 介護実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	受け持ち利用者の全体像を把握し、個別的なニーズが分かる。さまざまな社会資源を知り、活用の仕方が理解できる。								
LO-2	個別的なニーズが分かり、反応を確認しながら援助ができる。自立支援に向けた援助のあり方を考え、実施することができる。生活支援技術の習得には、積み重ねが必要であることを理解できる。								
LO-3	ニーズを踏まえた実行可能な介護計画を立案し、実施、評価、修正ができる。介護過程や実施した事柄を具体的に簡潔に記録することができる。								
LO-4	受け持ち利用者の援助を中心に、他の職種・職員との協働を体験する。専門性のあり方について理解できる。								
LO-5	居宅サービスを体験し、施設と地域とのつながりが理解できる。個別性を尊重した自立支援について理解を深めることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	受け持ち利用者の選定を行う。(配属棟の利用者の概要を知る。受け持ちしたい利用者像と照らし合わせる。指導者より複数の利用者を紹介してもらう。さまざまな場面をおとして、利用者に関わる) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とは交流をはかる。指導のもと、ADLの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンファ	
	【予習】1日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。持ち物の確認を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。	0分
第2回	受け持ち利用者の選定を行う。(配属棟の利用者の概要を知る。受け持ちしたい利用者像と照らし合わせる。指導者より複数の利用者を紹介してもらう。さまざまな場面をおとして、利用者に関わる) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とは交流をはかる。指導のもと、ADLの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンファ	
	【予習】2日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。受け持ち利用者を決定するための情報を整理する。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。	0分
第3回	受け持ち利用者の決定。(候補者を2、3人あげ、指導者に相談する。受け持ち利用者を決定する。受け持ち利用者に説明し、同意を得る) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とは交流をはかる。指導のもと、ADLの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンファ アレンスをやる。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】3日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。D1.2.3表を手引きで抑えなおし、情報収集の視点を明確にする。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。	0分
第4回	受け持ち利用者の情報収集(個人ファイル、利用者、指導者、職員、他職種の方から情報を収集し、D1.2.3を手引きを参照しながら鉛筆で記入する。指導者に提出し、内容の確認を してもらう。) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とは交流をはかる。指導のもと、ADLの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンファ	
	【予習】4日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。D1.2.3表を手引きで抑えなおし、情報収集の視点を明確にする。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。	0分
第5回	受け持ち利用者の情報収集(個人ファイル、利用者、指導者、職員、他職種の方から情報を収集し、D1.2.3を手引きを参照しながら鉛筆で記入する。指導者に提出し、内容の確認を してもらう。) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とは交流をはかる。指導のもと、ADLの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンファ	
	【予習】5日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。D1.2.3表を手引きで抑えなおし、情報収集の視点を明確にして記入していく。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受け持ち利用者の情報を整理して記録をする	0分
第6回	受け持ち利用者の情報収集・確認(再度、不足している情報を多方面から収集する。追加・訂正したものを指導者に提出し、内容の確認をしてもらう。) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とは交流を図る。実習指導者とのミニカンファレンスをやる。記録と報告をする。経験し た項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】6日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。D1.2.3表を手引きで抑えなおし、情報を記入し、仕上げる。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受け持ち利用者の情報を整理して記録をする	0分
第7回	受け持ち利用者の情報収集完成(実習の手引きの記入上の留意点を再度確認し、全体像を捉えていく。) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とは交流を図る。実習指導者とのミニカンファレンスをやる。記録と報告をする。経験し た項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】7日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。完成したD1.2.3表を基に、10の介護の視点を文章化していく。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受け持ち利用者の全体像から課題を介護上の 課題を明確にするために、介護の10の視点から情報の意味づけ、統合を行う。	0分
第8回	アセスメント・計画立案(介護上の課題の方向性について、実習指導者または担当職員と意見交換を行う。ニーズについて、アセスメントし、E-1.2表を記入する。具体的援助内容を 立案し、F表に記入後、指導者の確認を得る。) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とは交流を図る。実習指導者とのミニカンファレンスをやる。記録と報告をする。経験し	
	【予習】8日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。E-1.2表を記入する。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受け持ち利用者の全体像から課題を明確にし 、E-1.2表、F表を記入していく。	0分
第9回	アセスメント・計画立案(介護上の課題の方向性について、実習指導者または担当職員と意見交換を行う。ニーズについて、アセスメントし、E-1.2表を記入する。具体的援助内容を 立案し、F表に記入後、指導者の確認を得る。) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とは交流を図る。実習指導者とのミニカンファレンスをやる。記録と報告をする。経験し	
	【予習】9日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。E-1.2表、F表を記入する。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受け持ち利用者の全体像から課題を明確にし 、E-1.2表、F表を記入していく。	0分
第10回	中間カンファレンス(D-1.2.3表、E-1.2表、F表を基に、生活上の課題及び援助の方向性、具体的援助内容について説明し、助言を得る) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とは交流を図る。実習指導者とのミニカンファレンスをやる。記録と報告をする。経験し た項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】10日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。中間カンファレンスの準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。中間カンファレンスの振り返りをし、記録 を整理する。	0分

第11回	介護計画の立案・実施（立案した計画について、利用者に説明し同意を得る。立案した計画は、職員に口頭または文書で報告し、協力を依頼する。介護計画の具体的援助内容はB表の行動予定に組み込む。実施に際しては、利用者の意思を尊重し、反応を確かめながら実施する。実施した結果は、必ず実習指導者または担当職員に報告する。5W1Hに留意し、具体的な援助目標または援助内容ごとに記入する。）	
	【予習】11日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施を振り返り、記録を整理する。G表を記入する。	0分
第12回	介護計画の立案・実施（立案した計画について、利用者に説明し同意を得る。立案した計画は、職員に口頭または文書で報告し、協力を依頼する。介護計画の具体的援助内容はB表の行動予定に組み込む。実施に際しては、利用者の意思を尊重し、反応を確かめながら実施する。実施した結果は、必ず実習指導者または担当職員に報告する。5W1Hに留意し、具体的な援助目標または援助内容ごとに記入する。）	
	【予習】12日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施を振り返り、記録を整理する。G表を記入する。	0分
第13回	介護計画の立案・実施（立案した計画について、利用者に説明し同意を得る。立案した計画は、職員に口頭または文書で報告し、協力を依頼する。介護計画の具体的援助内容はB表の行動予定に組み込む。実施に際しては、利用者の意思を尊重し、反応を確かめながら実施する。実施した結果は、必ず実習指導者または担当職員に報告する。5W1Hに留意し、具体的な援助目標または援助内容ごとに記入する。）	
	【予習】13.14日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。夜勤実習の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。夜勤実習を振り返り、記録を整理する。	0分
第14回	介護計画の立案・実施（立案した計画について、利用者に説明し同意を得る。立案した計画は、職員に口頭または文書で報告し、協力を依頼する。介護計画の具体的援助内容はB表の行動予定に組み込む。実施に際しては、利用者の意思を尊重し、反応を確かめながら実施する。実施した結果は、必ず実習指導者または担当職員に報告する。5W1Hに留意し、具体的な援助目標または援助内容ごとに記入する。）	
	【予習】13.14日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。夜勤実習の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。夜勤実習を振り返り、記録を整理する。	0分
第15回	介護計画の評価・修正（実施した結果を考察する。再度アセスメントをする。） 生活支援技術の習得（指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者と交流を図る。ターミナルケアの実践に関する取り組みの説明を聞く。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。）	
	【予習】15日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施を振り返り、評価・修正の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施、評価、修正の流れを振り返り、記録を整理する。G表に、記入する。	0分
第16回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第17回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第18回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第19回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第20回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	総合実習			科目コード	W129-13				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護実習		担当教員名	石橋 郁子 西井 啓子 関 好博 井上 理絵					
開講時期	2年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	実習指導		後継科目	実習指導					
関連科目	実習指導 、 基礎実習 計画実習 過程実習								
資格等 取得との関連	介護福祉士資格取得								
授業の概要	実習施設、事業所において実習指導者の指示、助言を受け、自己の課題を目標に自主的な姿勢で実習を展開する								
学習目標	1 さまざまな利用者の暮らし等を知り、多様な介護サービスのあり方を理解する 2 主体的に実習課題を設定し、介護福祉士としての基本的な能力を総合的に身につける								
キーワード	利用者理解 主体性 自己プログラム チームワーク 介護観								
テキスト・ 参考書等	富山短期大学 介護実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	利用者理解 さまざまな利用者の全体像を総合的に理解する。個別性を踏まえたうえでのケアの在り方を理解する								
LO-2	記録と計画 利用者の全体像が分かるように具体的に記述する 見学・体験した事柄を実習記録に記述することができる								
LO-3	生活支援技術 自立に向けた技術・意欲を引き出すコミュニケーションを工夫し、技術の到達レベルを確認できる								
LO-4	チームワーク チームの一員として介護の実践に携わり、介護福祉士の役割について総合的に理解できる								
LO-5	実習課題自己の課題の達成に向け計画的に取り組み、介護観について理解を深める								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	事前オリエンテーション 施設見学 事前レポートの提示	
	【予習】事前レポートの確認 オリエンテーションの記録内容の確認 質問内容	45分
	【復習】オリエンテーションを受けてきた内容を確認し記録する	45分
第2回	施設の一日の流れを知る 利用者の生活環境と一日の過ごし方を理解する 利用者との意図的なかかわりを実践する	
	【予習】実習の計画表を立て確認する	45分
	【復習】一日の実習を振り返り、見学・体験したことを記録に記載していく 翌日の自己の目標を考える	60分
第3回	実習指導者の説明を受け、基本的な生活支援技術を見学・体験していく ミニカンファレンスで気づいたことを発表し助言を受ける	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	45分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	60分
第4回	実習指導者の説明を受け基本的な生活支援技術の見学・体験をする ミニカンファレンスで気づいたことを発表し、助言を受ける	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	45分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	60分
第5回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	45分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	60分
第6回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	45分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	60分
第7回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	45分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	60分
第8回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	45分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	60分
第9回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	45分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	60分
第10回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	45分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	60分

授業科目名	医療的ケア			科目コード	W131-10				
科目区分	専門科目 - 医療的ケア			担当教員名	西井 啓子				
開講時期	2年前期			授業の方法	講義				
必修・選択	選択			単位数	4単位				
前提科目(知識)	「医学一般 . . . 」 「介護福祉論 . . . 」を履修していること			後継科目	医療的ケア				
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士								
授業の概要	医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識と実施手順を理解する。								
学習目標	1. 関連する法制度や倫理、関連職種の役割、救急蘇生法、感染予防及び健康状態の把握など、医療的ケアを安全・適切に実施する上での基礎を学ぶ。 2. 喀痰吸引に必要な人体の構造と機能、小児の吸引、救急状態への対応など、喀痰吸引を実施するために必要な基礎知識と手順を理解する。 3. 経管栄養に必要な人体の構造と機能、小児の栄養、救急状態への対応など、経管栄養を実施するために必要な基礎知識								
キーワード	介護業務 医療的ケア 痰の吸引 経管栄養 救急蘇生法								
テキスト・ 参考書等	川井太加子編「医療的ケア」メディカルフレンド社、小坂橋喜久代他編「こころとからだのしくみ」メディカルフレンド社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医行為に関連する法律や医療倫理、たんの吸引や経管栄養の実際の手順や留意点、救急蘇生法など、医療的ケアを安全・適切に実施するための基本的知識を有している。								
LO-2									
LO-3	医療的ケアの対象者とその範囲を理解し、提示された事例で適切に判断することができる。								
LO-4	医療的ケアを学ぶ意義を理解し、積極的に授業に臨む姿勢を保持している。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	20		20		10			100
LO-1	50	10		20					80
LO-2									
LO-3		10							10
LO-4						10			10
LO-5									
備考	作品とは、授業用のノートである。吸引の項目で1回、栄養の項目で1回提出をする。提出期日については、1週間前に指示をする。その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	第1部 医療的ケア実施の基礎 第1章なぜ医療的ケアを学ぶのか 医療的ケアとは何か、やむを得ない措置として行われてきた経緯、介護の社会化と社会的入院、医療の進歩 テキストP2～7	
	【予習】介護福祉論 ・ で学習した介護の概念を復習してくる。	30分
	【復習】介護の社会化、社会的入院について復習する	30分
第2回	医療的ケア実施の基礎 第1章 医療的ケアを学ぶ意義 医師の指示の下での医療的ケア 社会福祉士及び介護福祉士法、医療的ケア実施にあたっての基本的な心構え、看護師と介護福祉士の立場の違い P4～7 第2章人間と社会「個人の尊厳と自立」P8～9	
	【予習】介護福祉論 ・ の授業を振り返り、尊厳と自立の概念を復習してくる。	30分
	【復習】社会福祉士及び介護福祉士の改正について整理する。小テストを振り返る。	30分
第3回	第2章 人間と社会 人間の尊厳と自立	
	【予習】自分の医療保険の種類を確認する。該当箇所を音読し、分からない用語をノートに書く。	30分
	【復習】日本介護福祉士会倫理綱領について、介護福祉士法の義務規定について整理する。	30分
第4回	第2章 医療の倫理 医療的ケアにおける倫理、説明と専門職としての守秘義務、利用者や家族の気持ちの理解 P10～17	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、わからない点を確認しておく。	60分
	【復習】改正社会福祉士及び介護福祉士法、日本介護福祉士会倫理綱領 医行為の解釈通知	90分
第5回	第3章 保健医療制度とチーム医療 保健医療に関する制度、医行為に関する法律 P18～22	
	【予習】該当箇所を音読し、確認してくる。	60分
	【復習】チーム医療の概念を整理する。	30分
第6回	第3章 医療的ケアに関連するその他の制度 P21、22、23、24	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】ヒヤリハットとアクシデントを整理する。感染症に関する知識を整理する。	30分
第7回	第4章 安全な療養生活 医療的ケアの安全な実施の重要性、医療的ケアを安全に行うために、ヒヤリハット、アクシデント	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】ヒヤリハットとアクシデントを整理する。感染症に関する知識を整理する。	30分
第8回	第4章 医療的ケアを安全に行うために ヒヤリハットとアクシデント	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜書きする。	30分
第9回	第5章 感染予防と清潔保持 滅菌と消毒 滅菌の方法、消毒液の種類と特徴 P46～49	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜書きする。	90分
第10回	感染と感染症	
	【予習】第5回～8回までを読み返し、ポイントを確認してくる。	30分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜書きする。	30分

第11回	感染と感染症	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	30分
第12回	第6章 健康状態の把握 P54～61	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	30分
第13回	健康状態の把握	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、わからない点を確認してくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	30分
第14回	たんの吸引概論 呼吸のしくみと働き P66～73	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、わからない点を確認してくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	30分
第15回	たんの吸引概論 喀痰吸引とは P73～79	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	30分
第16回	たんの吸引概論 人工呼吸器と吸引 その2 P87～93	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	30分
第17回	たんの吸引概論 人工呼吸療法	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	30分
第18回	侵襲的人工呼吸療法	
	【予習】循環器系・呼吸器系のしくみとはたらき、バイタルサインについて確認をしてくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	30分
第19回	呼吸器系の感染と予防 P103～105	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	30分
第20回	喀痰吸引により生じる危険 事後の安全確認 P106～110	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	30分

第21回	急変・事故発生時の対応と事前対策 P111～115	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜書きする。	30分
第22回	経管栄養概論 消化器系のしくみと働き 消化器系の主な症状 P159～165	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜書きする。	30分
第23回	経管栄養とは P168～172	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜書きする。	30分
第24回	経管栄養で用いる器具器材とそのしくみ、清潔の保持 P172～178	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜書きする。	30分
第25回	注入する内容に関する知識 P178～183	
	【予習】	30分
	【復習】	30分
第26回	経管栄養実施時の留意点 P183～188	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜書きする。	30分
第27回	経管栄養に必要なケア P193～195	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜書きする。	30分
第28回	利用者家族の気持ちと対応、説明と同意 P196～200	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、わからないところを出してくる。	30分
	【復習】本時の内容を整理する。	30分
第29回	経管栄養に関する感染と予防、生じる危険、注入後の安全確認 P201～207	
	【予習】	30分
	【復習】	30分
第30回	急変・事故発生時の対応と事前対策 P208～211	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜書きする。	30分

第31回	子どもへの吸引 P92～94	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	30分
第32回	子どもへの栄養 P189～191	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	30分
第33回	救急蘇生法 必要物品の準備、救急蘇生法の実際	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	30分
第34回	まとめ	
	【予習】学習したこと全体を復習し、疑問点を出す。	30分
	【復習】期末試験に備えまとめる。	30分

授業科目名	医療的ケア			科目コード	W131-11				
科目区分	専門科目 - 医療的ケア		担当教員名	西井 啓子 石橋 郁子					
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	医療的ケア		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士								
授業の概要	医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。								
学習目標	1. たんの吸引をシュミレータを用いて、効果的に安全に実施できる。 2. 経管栄養をシュミレータを用いて、効果的に安全に実施できる。 3. 救急蘇生法をシュミレータを用いて、効果的に安全に実施できる。								
キーワード	介護業務 医療的ケア 痰の吸引 経管栄養 救急蘇生法								
テキスト・ 参考書等	川井太加子編「医療的ケア」メジカルフレンド社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医療的ケアを安全に効果的に実施するうえで必要な知識を有している。								
LO-2	医療的ケアを安全・適切に実施するための技能を有しており、5回以上実施手順に基づき全行程をクリアすることができる。								
LO-3									
LO-4	医療的ケアを学ぶ意義を理解し、積極的に授業に臨む姿勢を保持している。								
LO-5	グループメンバー同士で協力し合い、円滑に進むよう行動する。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	30				50	20			100
LO-1	30								30
LO-2					50				50
LO-3									
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	医療的ケア 授業概略 オリエンテーション 吸引・経管栄養手技の概要	
	【予習】医療的ケア を復習してくる。	90分
	【復習】本日も学習したことを振り返り、分からなかった点をまとめておく。	90分
第2回	吸引・経管栄養実施手順 必要物品の準備、留意点 デモスト	
	【予習】医療的ケア を復習してくる。	60分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜書きする。	90分
第3回	吸引・経管栄養 デモスト 2回目	
	【予習】実施手順に従い練習をしてくる。	90分
	【復習】自己評価票にもとづき振り返る。	90分
第4回	たんの吸引と経管栄養に分かれ、一人ずつチェックリスト票に従い実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習をしてくる。	60分
	【復習】自己評価票に基づき、振り返る。	90分
第5回	たんの吸引と経管栄養に分かれ、一人ずつチェックリスト票に従い実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習をしてくる。	90分
	【復習】自己評価票に基づき、振り返る。	90分
第6回	たんの吸引と経管栄養に分かれ、一人ずつチェックリスト票に従い実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習をしてくる。	90分
	【復習】自己評価票にもとづき振り返る。	90分
第7回	たんの吸引・経管栄養 デモスト 1回目	
	【予習】実施手順に従い練習をしてくる。	90分
	【復習】自己評価票に基づき、振り返る。	90分
第8回	たんの吸引と経管栄養 デモスト	
	【予習】実施手順に従い練習をしてくる。	90分
	【復習】自己評価票に基づき、振り返る。	90分
第9回	たんの吸引と経管栄養に分かれ、一人ずつチェックリスト票に従い実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習をしてくる。	90分
	【復習】自己評価票にもとづき振り代える。	90分
第10回	たんの吸引と経管栄養に分かれ、一人ずつチェックリスト票に従い実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習をしてくる。	90分
	【復習】自己評価票に基づき、振り返る。	90分

第11回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	福祉ビジネス			科目コード	W151-10				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 福祉ビジネス	担当教員名	吉牟田 裕						
開講時期	1年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目	福祉ビジネス						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要	福祉ビジネスとは「個人または組織が、人々の抱える福祉的課題を軽減または解決するために、財・サービスを提供する活動」のことである。本科目は、日本の福祉ビジネスの全体像を把握したうえで、特に福祉ビジネスで起業することの意義や方法などを学ぶ。								
学習目標	本科目では、福祉ビジネスと他のビジネスとの比較を通じて、福祉ビジネスの特徴を学修するほか、福祉ビジネスの起業に焦点をあて、資金調達の方法、福祉ニーズの捉え方、ビジネスモデルの構築方法などについて事例研究を交えながら学修する。								
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	福祉ビジネスで起業することの意義の理解								
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80		20						100
LO-1	80		20						100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	イントロダクション 福祉ビジネスとは何か	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	180分
第2回	日本の福祉の歩み	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分
第3回	福祉ビジネスとは 定義と流れ	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分
第4回	福祉ビジネスとは 他のビジネスとの比較	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分
第5回	福祉ビジネスの提供物 サービス	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分
第6回	福祉ビジネスの提供物 財	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分
第7回	福祉ビジネスの起業事例 児童	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分
第8回	福祉ビジネスの起業事例 高齢者	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】これまでの講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分

授業科目名	福祉ビジネス			科目コード	W151-11				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 福祉ビジネス	担当教員名	小平 達夫						
開講時期	1年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	福祉ビジネス	後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要	社会福祉学の基礎理論とともに、経営管理や労務管理、リスクマネジメント領域の理論を学ぶことで、実際の福祉の現場で活躍できる実践的な知識や素養を身につける。同時に福祉領域における良質なサービスを提供できる組織と管理について説明することができる。								
学習目標	社会福祉サービスの特質、社会的ニーズを説明する。 社会福祉サービスを提供する組織・施設の経営管理について言及する。 福祉サービスを担う人材形成のあり方について説明する。								
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	福祉の現場で活躍できる実践的な知識と素養、福祉領域の組織とその管理の知識を身につけている								
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80		20						100
LO-1	80		20						100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	社会福祉領域と福祉サービス	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	180分
第2回	社会福祉サービスのとらえ方	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分
第3回	法人 総論	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分
第4回	法人 社会福祉法人	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分
第5回	法人 非営利組織	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分
第6回	サービス管理 (サービスマネジメント)	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分
第7回	サービス管理 (サービスの評価)	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分
第8回	サービス管理 (リスクマネジメント)	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】これまでの講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分

授業科目名	情報処理演習			科目コード	W151-20				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 福祉ビジネス	担当教員名	吉牟田 裕						
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	生活と情報	後継科目							
関連科目	医療・福祉とICT								
資格等 取得との関連									
授業の概要	情報システムについて学ぶとともに、情報伝達や情報活用に関する技能を習得します。具体的には、ワープロや表計算、プレゼンテーションと、情報社会を生きるためのセキュリティの知識とモラルについても身につけることを目指します。								
学習目標	Windows、インターネット、オフィスツールの応用操作方法を習得するとともに、情報を取り扱ううえで必要なセキュリティと情報モラルを身につけます。								
キーワード	パソコン、ワープロ、表計算、プレゼンテーション、インターネット								
テキスト・ 参考書等	未定								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	パソコン操作とセキュリティに関する応用知識を身につける。								
LO-2	パソコンにより、効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20		60	20				100
LO-1		20							20
LO-2				60	20				80
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	イントロダクション 日商PC3級の問題(文書作成・データ活用)の問題を解いてみる	
	【予習】	0分
	【復習】わからなかったところを調べてみる・難しかったところを復習する	45分
第2回	ファイルとフォルダの操作(1)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】ファイルとフォルダの操作に習熟する	25分
第3回	ファイルとフォルダの操作(2)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】ファイルとフォルダの操作に習熟する	25分
第4回	ワープロの基礎	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第5回	文書の作成の基本	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】文書の作成を完了する	25分
第6回	社外文書の作成	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】ワープロの課題を完成させる	25分
第7回	インターネットの活用	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第8回	表計算の基礎	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第9回	表の作成	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】練習問題の回答を作成する	25分
第10回	グラフ・図形の作成	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】表計算の課題を完成させる	25分

第11回	プレゼンテーションの基礎	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第12回	プレゼンテーションの作成	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】基本的なプレゼンテーションを作成する	25分
第13回	図表およびアニメーションを利用したプレゼンテーション	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】プレゼンテーション課題を完成させる	25分
第14回	情報のセキュリティ 被害者にならないために	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第15回	情報モラル 加害者にならないために	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】情報セキュリティ・モラルについて、レポートを作成する	25分

授業科目名	医療・福祉とICT			科目コード	W151-30				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 福祉ビジネス	担当教員名	吉牟田 裕						
開講時期	2年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目	生活と情報								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目(選択)								
授業の概要	生活を支えるために利用者が用いる情報システムや、一人暮らしの高齢者の生活を見守る情報ネットワークシステム、介護施設において、ケアプランの作成・介護保険の請求・介護記録の蓄積・分析に用いられる情報システムに注目し、福祉と情報の関わりについて学ぶ。								
学習目標	福祉のさまざまな場面で利用される情報システムの構成や設計理念を理解し、介護現場での情報機器を活用方法を身につけることを目的とします。								
キーワード	情報システム、ネットワーク、生活支援、見守り、介護記録								
テキスト・ 参考書等	プリントを配布します。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	福祉のさまざまな場面で利用される情報システムの構成や設計理念を理解する。								
LO-2	介護現場での情報機器の活用方法を身につける。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		30						100
LO-1	70								70
LO-2			30						30
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス (授業内容の説明、成績評価など) 情報システムと福祉	
	【予習】本シラバスを熟読する	20分
	【復習】情報システムと福祉の概要について理解する	25分
第2回	情報システムの発展と福祉 上山清二著「Webで学ぶ情報処理概論」より [リンク] コンピュータの構成	
	【予習】	0分
	【復習】これまでの情報システムとの発達と、福祉への応用を理解する。	45分
第3回	生活を支援する情報システム(1)「読み上げる」	
	【予習】	0分
	【復習】いろいろなアプリケーションの読み上げを使って評価する	45分
第4回	生活を支援する情報システム(2) コミュニケーション支援	
	【予習】	0分
	【復習】コミュニケーション支援システムを使って生活してみる	45分
第5回	生活を支援する情報システム(3) パソコンのユーザー支援	
	【予習】	0分
	【復習】ユーザー支援を設定したパソコンを使用し、支援を評価する	45分
第6回	生活を支援する情報システム(4) スマートフォン・タブレットのユーザー支援	
	【予習】	0分
	【復習】ユーザー支援を設定したスマートフォン・タブレットを使用し、支援を評価する	45分
第7回	生活を見守る情報システム(1) 生活の中で自然に安否発信 ICTを活用した高齢者見守りと生活支援型コミュニティづくり岩手県立大学 社会福祉学部 小川晃子	
	【予習】	0分
	【復習】日常生活の動作で安否発信するシステムを理解する	45分
第8回	生活を見守る情報システム(2) センサーを使う	
	【予習】	0分
	【復習】センサーによる見守りを理解する	45分
第9回	生活を見守る情報システム(3) 監視と見守り	
	【予習】	0分
	【復習】見守られる立場から、見守りと監視について考察する	45分
第10回	生活を見守る情報システム(4) 情報の組み合わせ	
	【予習】	0分
	【復習】インフォーマルな情報とフォーマルな情報の組み合わせの「見守り」について理解する	45分

第11回	福祉施設の情報システム(1) 介護保険は情報システムを前提として始まった 介護ソフト(サンプル)ダウンロード	
	【予習】	0分
	【復習】 介護保険制度の中の情報システムの役割について理解する	45分
第12回	福祉施設の情報システム(2) ケアプラン作成	
	【予習】	0分
	【復習】 ケアプランの作成における情報システムの役割について理解する	45分
第13回	福祉施設の情報システム(3) 介護事務と情報システム 介護記録と情報システム RacNote 学内の仮サーバ一般ユーザ	
	【予習】	0分
	【復習】 介護事務における情報システムの役割について理解する	45分
第14回	福祉施設の情報システム(4) 介護記録と情報システム	
	【予習】	0分
	【復習】 介護記録を情報システムで支援する際の問題について考察する	45分
第15回	まとめ	
	【予習】 これまでの学習で、わからない点や疑問点はないかチェックする	45分
	【復習】	0分

授業科目名	医療事務概論			科目コード	W153-10				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 医療・介護事務	担当教員名	小平 達夫						
開講時期	1年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目	介護事務概論 医療秘書実務 診療報酬請求事務						
関連科目	福祉ビジネス ・ 、インターンシップ								
資格等 取得との関連	メディカルクラーク、ケアクラーク								
授業の概要	我が国及び世界における医療の歩みを理解し、医療の目的及び健康状態の維持・増進について理解を深める。そして、医療組織の中で働く意義、役割を理解し、医療者に必要とされる責務と倫理、医療に関する法規、規則、感染症等のガイドラインの基礎知識を習得する								
学習目標	日本国憲法と社会保障の関連性を理解する。 医療の歴史を理解し、健康と医療の関連について理解する。 医療事務に必要な基礎的知識を習得する。								
キーワード	健康 医療保険制度 医療的機関 外来業務 接遇								
テキスト・ 参考書等	医療事務[第2版] 医療秘書教育全国協議会編 長面川さより・丹野清美・齋藤麻衣子共著 建帛社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医療保険制度、高齢者医療制度、公費負担医療制度、介護保険制度、医事法規一般、医事業務、医学一般、薬学一般に関する基礎的な知識を有する。								
LO-2	患者接遇の基本が身についている。(窓口対応、電話対応)								
LO-3	医療チームの一員として、自分の健康感を持ち、健康な体作りや環境について意見述べることができる。								
LO-4	興味関心を持って授業に臨み、積極的に参加する。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	20			30	10			100
LO-1	40	20							60
LO-2					20				20
LO-3					10				10
LO-4						10			10
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、健康とは上橋菜穂子と津田篤太郎の対談から学ぶ 各自の健康観を考える	
	【予習】WHOの健康の定義を調べる	30分
	【復習】健康の概念を整理する。	30分
第2回	医療の歴史(1) 民間療法に関する文献学習を通して、東洋医学の一端に触れる。GW	
	【予習】民間療法について家族から情報を収集する。	30分
	【復習】民間療法をまとめる。	30分
第3回	医療の歴史(2) 民間療法に関する文献学習したことを発表する。	
	【予習】発表内容をまとめる。	30分
	【復習】民間療法をまとめる。	30分
第4回	医療の歴史(3) 東洋医学と西洋医学	
	【予習】西洋医学の特徴について調べる	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第5回	医療保険制度 (医療保険の概要、保険の給付、健康保険、国民健康保険ほか)	
	【予習】各自の健康保険の種類を調べてくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第6回	保険医療機関と窓口業務 (医事担当者の心得 外来・入院業務 窓口会計業務)	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第7回	医療保険制度 (船員保険、各種共済組合法、退職者医療制度)、後期高齢者医療制度	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第8回	医療保険制度 (後期高齢者医療制度)	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第9回	労働者災害補償保険・自動車損害賠償保険法	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第10回	医事法規一般 (医療保障制度の基礎用語、医療法)	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分

第11回	医事法規一般（医療保険各法）	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第12回	医事法規一般（療養担当規則）	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第13回	診療報酬請求業務	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第14回	診療録（医科医療用語・略語、カルテ読解に必要な事項）	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第15回	まとめ	
	【予習】今までに学習したことを振り返る。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分

授業科目名	医療秘書実務			科目コード	W153-11				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 医療・介護事務	担当教員名	小平 達夫						
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	現代社会と福祉、医療事務概論とインターンシップを履修していることが望ましい。	後継科目	診療報酬						
関連科目	医療事務概論、介護事務概論								
資格等 取得との関連	ケアクラーク、メディカルクラーク								
授業の概要	一般的な秘書としての知識・技能について学習した上で、医療秘書に求められる知識・技能について学習する。特に、患者とのさまざまな場面における応対を中心に演習を行う。診察や検査にかかわる医療情報の処理業務や電話の応対、受付や診察案内等の来客対応、医療職場での多職種との連携等の幅広い業務を行うための知識技術を習得する。								
学習目標	秘書に求められる初歩的な知識・技能を身につける。(秘書検定3級レベル) 医療秘書に必要な知識・技能を身につけている。(医療秘書技能検定3級レベル)								
キーワード	秘書、医療、接遇								
テキスト・ 参考書等	配布資料								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医療秘書に必要とされる資質に関する知識を説明できる。また、医療秘書の機能と役割、職務上の心得と仕事の進め方について説明できる。そして、患者の対応の基本知識を説明できる。								
LO-2	接遇の実際を身につけている。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	10			30	10			100
LO-1	50	10				10			70
LO-2					30				30
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	医療機関の現状と、医療秘書の仕事と医療事務の仕事	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	必要とされる資質（秘書の心構え、要求される資質）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	職務知識（秘書の機能と役割、職務上の心得と仕事の進め方）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	マナー・接遇1 職場での話し方（聞き方）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	マナー・接遇2 電話応対	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	マナー・接遇3 接遇	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	マナー・接遇4 交際	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	会議と秘書の業務	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	文書の作成と文書の取扱い、資料整理	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	患者の接遇対応の基本	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	院内での言葉の使い方と話し方	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	院内における電話の受け方・かけ方	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	受付・会計・薬局などの窓口対応 1	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	受付・会計・薬局などの窓口対応 2	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	まとめ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	医療と介護の報酬請求			科目コード	W153-14				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 医療・介護事務	担当教員名	西井 啓子 加藤 真奈美 松島 紘子						
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	医学一般 . . . 、医療事務概論	後継科目							
関連科目	診療報酬 、介護事務概論								
資格等 取得との関連	メディカルクラーク、ケアクラーク								
授業の概要	診療報酬請求の仕組みと算定方法を基礎から学習し、カルテの読み方・診療報酬明細書(レセプト)の書き方、制度の理解とその運用について習得を図る。								
学習目標	基本診療料と特掲診療料からなる診療報酬点数表を説明できるようにする。 カルテの記載事項を把握できるようにする。 カルテから診療報酬明細書(レセプト)が作成できるようにする。								
キーワード	医療保険、診療、検査、薬、診療報酬								
テキスト・ 参考書等	配布資料								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医療事務に必要な知識を有する								
LO-2	窓口対応に必要な接遇や診療報酬請求に必要な技術を有する								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	30				20			100
LO-1	50					20			70
LO-2		30							30
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイドンス、診療報酬とは、診療報酬の決め方、診療報酬点数表・初診料の算定	
	【予習】医療事務概論テキストの該当項目を読んでくる。	90分
	【復習】初診料に関する事例問題を解く。	90分
第2回	診療報酬請求事務 明細書点検 外来の事例	
	【予習】医療事務概論テキストの該当項目を読んでくる。	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分
第3回	診療報酬請求事務 明細書点検 外来の事例	
	【予習】医療事務概論テキストの該当項目を読んでくる。	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分
第4回	診療報酬請求事務 明細書点検 外来の事例	
	【予習】医療事務概論テキストの該当項目を読んでくる。	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分
第5回	診療報酬請求事務 明細書点検 入院の事例	
	【予習】医療事務概論テキストの該当項目を読んでくる。	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分
第6回	診療報酬請求事務 明細書点検 入院の事例	
	【予習】医療事務概論テキストの該当項目を読んでくる。	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分
第7回	診療報酬請求事務 明細書点検 総合問題	
	【予習】医療事務概論テキストの該当項目を読んでくる。	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分
第8回	診療報酬請求事務 明細書点検 総合問題	
	【予習】医療事務概論テキストの該当項目を読んでくる。	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分
第9回	診療報酬請求事務 明細書点検 総合問題	
	【予習】医療事務概論テキストの該当項目を読んでくる	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分
第10回	窓口対応 事例	
	【予習】医療事務概論テキストの該当項目を読んでくる。	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分

第11回	窓口対応 事例	
	【予習】医療事務概論テキストの該当項目を読んでくる。	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分
第12回	保健医療制度に関する知識問題	
	【予習】医療事務概論テキストの該当項目を読んでくる。	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分
第13回	保険医療制度に関する知識問題	
	【予習】医療事務概論テキストの該当項目を読んでくる。	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分
第14回	診療報酬請求事務 明細書点検 総合問題	
	【予習】医療事務概論テキストの該当項目を読んでくる。	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分
第15回	診療報酬請求事務 明細書点検 総合問題	
	【予習】14回までの学習内容を振り返り、わからないところを書き出してくる。	90分
	【復習】まとめをする。	90分

授業科目名	介護事務概論			科目コード	W153-20				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 医療・介護事務	担当教員名	小平 達夫 松島 絃子						
開講時期	1年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	現代社会と福祉を履修していること	後継科目	診療報酬 ・ 診療報酬						
関連科目	医療秘書実務								
資格等 取得との関連	メディカルクワーク、ケアクワーク								
授業の概要	介護福祉に関する組織の中で働く意義、役割を理解し、介護福祉に従事する責務と倫理、介護保険法、老人福祉法に関する法規、規則についての基礎知識を習得する。介護保険制度のしくみやサービス利用、介護給付費の請求に関する知識および技術を習得する。								
学習目標	介護保険制度における介護サービス利用の流れとサービスの種類について説明できる。介護報酬の基本構造およびサービス費用の算定方法を説明できる。介護給付費明細書への記載事項と記載上の留意点を説明できる。ケアワーク資格取得に必要な社会福祉や老人福祉、社会福祉援助技術、薬学一般に関する知識を身につける。								
キーワード	介護保険制度、介護事務、介護報酬								
テキスト・ 参考書等	配布資料								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	ケアワーク資格取得に必要な社会福祉や老人福祉、社会福祉援助技術、薬学一般に関する知識を身につける。また、介護保険制度のしくみ、介護サービスの種類、介護報酬の基本知識を身につけている。								
LO-2	介護報酬の算定方法を説明できる。介護給付費明細書への記載事項と記載上の留意点を説明できる								
LO-3									
LO-4	ケアワーク試験に対して意欲的に取り組むことができる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	30	10			10			100
LO-1	30	20							50
LO-2	20	10							30
LO-3									
LO-4			10						10
LO-5						10			10
備考	その他10点は、受講態度、出席状況から総合的に判断する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、ケアクラーク資格取得に必要な学習内容の概略を知る。人間関係、高齢者・障害者の心理、社会福祉、老人福祉、地域福祉、社会福祉援助技術他筆記試験に必要な知識を理解する。	
	【予習】	0分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	60分
第2回	介護概論、介護技術、医学一般などケアクラーク筆記試験に必要な知識を理解する。	
	【予習】1年次で学習した生活と社会を振り返る。テキスト、ノートを見直してくる。	30分
	【復習】小テストを振り返り、内容を確認する。	30分
第3回	介護報酬請求業務の居宅サービスについて理解する。	
	【予習】介護保険における居宅サービス内容を調べてくる。	60分
	【復習】本時の授業内容を振り返る。宿題をする。	60分
第4回	介護報酬請求事務について理解する。居宅サービス	
	【予習】居宅介護サービスについて理解する。	30分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。宿題をする。	90分
第5回	介護報酬請求事務施設サービスについて理解する。	
	【予習】介護施設サービスについて調べてくる。	30分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。宿題をする。	90分
第6回	薬学一般（医薬品の種類と薬効分類、各器官系に作用する薬物）	
	【予習】自分の家にある常備薬について、シートに記入する。	30分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。ノートを整理する。	30分
第7回	介護報酬請求事務施設サービスについて理解する。	
	【予習】介護施設サービス地域密着型について調べてくる。	60分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。ノートを整理する。宿題をする。	90分
第8回	介護保険制度（介護支援専門員、要介護認定）	
	【予習】介護支援専門員の英語訳を調べる。	30分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。ノートを整理する。	30分

授業科目名	インターンシップ			科目コード	W153-30				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 医療・介護事務	担当教員名	関 好博 吉牟田 裕 立島 真 西井 啓子 石橋 郁子						
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	医療事務概論	後継科目	介護事務概論、診療報酬						
関連科目									
資格等 取得との関連	メディカルクラーク、ケアクラーク								
授業の概要	医療機関（病院又は診療所）や介護保険関連施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設などで医療事務、介護事務の見学及び体験を行う。								
学習目標	医療・介護福祉の現場において医療事務や介護事務などの仕事を見学し、その業務の一部を体験することによって、医療事務・介護事務の役割を理解するとともに、その仕事に必要な知識・技能・態度を身につけることをねらいとする。また、現場での学びを通して卒業後の進路選択や専門職としてのあり方について考察し、2年次に学習する「介護事務概論」やメディカルクラーク、ケアクラークの資格取得への動機づけとする。								
キーワード	医療機関、介護保険、サービス、請求事務								
テキスト・ 参考書等	インターンシップ手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医療事務や介護事務の流れや受付業務、保険請求事務のしくみなどを理解する。								
LO-2	診療記録の作成や受付業務などの窓口対応に必要な技能を理解している。								
LO-3	医療・介護の事務組織の役割について考察することができる。								
LO-4	実習目的を自覚して意欲的に行動できる。計画的に取り組むことができる。マナーをきちんと守り、明るく、身だしなみを整えて行動することができる								
LO-5	医療機関や介護保険施設・事業所の多職種との連携・協働のあり方を理解できる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50		50				100
LO-1			20		20				40
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4					30				30
LO-5			10						10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	医療事務の流れや受付業務、医療請求事務のしくみなどを理解できる。 ・窓口業務の実際（外来業務、入院業務、会計業務の実際） ・診療録の作成や取扱い	
	【予習】医療事務概論のテキストの該当項目を読んでくる。	60分
	【復習】見学体験したことを振り返る	60分
第2回	医療事務の流れや受付業務、医療請求事務のしくみなどを理解できる。 ・窓口業務の実際（外来業務、入院業務、会計業務の実際） ・診療録の作成や取扱い	
	【予習】医療事務概論テキストの該当箇所を読んでくる。	60分
	【復習】見学体験したことを振り返る。	60分
第3回	介護保険事務の流れや受付業務、介護請求事務のしくみを理解できる。	
	【予習】介護保険制度のサービス内容を調べてくる。	60分
	【復習】見学体験したことを振り返る。	60分
第4回	福祉ビジネス分野の多様なサービスを理解する 福祉用具、販売事業 サービス付高齢者住宅	
	【予習】介護保険制度における福祉用具貸与・購入について調べてくる。	60分
	【復習】見学体験したことを振り返る。	60分
第5回	(1) インターンシップで観察・体験したことをワークシートにまとめる。 (2) 観察・体験したことを発表・意見交換することで、学びを共有する。	
	【予習】4日間の見学体験したことを振り返る。	60分
	【復習】インターンシップ全体を通して、学んだことをまとめる。	60分

授業科目名	富山型福祉特別講義			科目コード	W153-40				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 医療・介護事務		担当教員名	小平 達夫					
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要	学内の教員や学園内の教員の他外部の非常勤講師を交えたオムニバス形式でおこないます。								
学習目標	社会福祉業界を幅広く捉え、社会福祉業界を俯瞰して見れる視野を身に付けると共に今後のキャリア形成時の参考とする。								
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	富山県から発信されている特色ある取組及び全国で先進的に取組んでいる具体的な取組事例に触れ、日本における介護福祉、ソーシャルワーク、福祉ビジネスを理解する。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	受講カードにその日の授業内容を正しくふり返ることができている。与えられた課題に対し、前向きに取組んでいる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40		110			15	15	15	195
LO-1	40		30						70
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20			15	15	15	65
LO-5			20						20
備考	担当教員から課題レポートを課すことを基本とする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーションならびに、富山県で特色ある取組事例の理解を深める。	
	【予習】	60分
	【復習】	30分
第2回	オリエンテーションならびに、富山県で特色ある取組事例の理解を深め、創造性を高める。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	オリエンテーションならびに、富山県で特色ある取組事例の理解を深め、創造力を高める。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	富山県からスタートした「富山型デイサービス」について学び創造力を高める。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	富山県からスタートした「富山型デイサービス」について学び創造力を高める。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	富山県からスタートした「富山型デイサービス」について学び創造力を高める。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	NPO法人が社会に果たす役割と可能性	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	NPO法人の活動を通じて展開される協働	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	企業のCSRとNPO法人との連携	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	一般企業が取り組む介護事業とその発展性	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	一般企業が取り組む介護事業とその発展性	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	一般企業が取り組む介護事業とその発展性	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	災害ボランティア活動への取組と思い	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	PCと情報を駆使しての市民活動支援	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	市民活動をサポートセンターとやまによる活動の意義	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	社会保障論			科目コード	W171-10				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク	担当教員名	関 好博						
開講時期	2年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目	児童家庭福祉論、地域福祉論						
関連科目	介護福祉論、ならびに高齢者福祉論、								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	わが国の社会保障制度の全体像を学ぶとともに、それがどのように機能し、私たちの暮らしをどう支えているかを理解する。 1 社会保障制度の役割と意義、仕組み 2 介護保険制度、障害者総合支援法など専門領域に関する制度 3 介護実践に関する諸制度								
学習目標	社会保障制度を構成する社会保険、社会福祉、あるいは社会手当など広く理解を深め、公衆衛生も含めそれぞれの現状と課題までの理解を目指す。								
キーワード	社会保障制度、介護保険、障害者の自立支援、消費者保護法、バリアフリー法								
テキスト・ 参考書等	高橋幸幸他編：新・介護福祉士養成講座2「社会と制度の理解 第3版」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	社会保障制度ならびに介護実践にかかわる諸制度の知識と理解を有する。								
LO-2									
LO-3	社会保障制度に関して介護福祉士に求められる判断力を有する。								
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	50								50
LO-2									
LO-3	50								50
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	社会保障制度（社会保障の基本的な考え方、日本の社会保障制度の発達）	
	【予習】テキスト第2章の第1節と第2節をよく読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】社会保障制度にはどのようなものがあるのか、まとめておく。日本国憲法における社会保障に関する条文に目を通す。	90分
第2回	社会保障制度（日本の社会保障制度の仕組み その1）	
	【予習】テキスト第2章の第3節 から をよく読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】テキスト第2章の第3節 から をよく読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
第3回	社会保障制度（日本の社会保障制度の仕組み その2）	
	【予習】テキスト第2章の第3節 から をよく読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】年金保険、各種社会扶助についてまとめておく。	90分
第4回	社会保障制度（現代社会と社会保障制度）	
	【予習】厚生労働省の医療保険のページをよく読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】社会保障制度に大きな影響を与える人口問題と財政問題についてまとめておく。	90分
第5回	介護保険制度（介護保険制度創設の背景と目的）	
	【予習】テキスト第3章の第1節をよく読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】自分の住む自治体のホームページや広報誌から、まちの介護保険の取り組みを調べてみる。	90分
第6回	介護保険制度（介護保険制度の仕組み その1）	
	【予習】テキスト第3章の第2節 から をよく読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】介護保険の仕組みの全体像や財源・財政、保険者と被保険者、保険料、保険給付の対象者などについてまとめておく。	90分
第7回	介護保険制度（介護保険制度の仕組み その2）	
	【予習】テキスト第3章の第2節 から をよく読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】介護サービス利用までの流れ、介護保険給付の種類と内容、地域支援事業、介護事業の運営展開についてまとめておく。	90分
第8回	介護保険制度（介護保険制度にかかわる組織とその役割）	
	【予習】テキスト第3章の第3節をよく読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】介護保険における国や都道府県、市町村の役割をまとめておく。また、年金保険者、医療保険者、社会保険診療支払基金、国民健康保険団体連合会の役割も整理しておく。	90分
第9回	小テスト 前回までの振り返り 介護保険制度（介護保険制度における専門職の役割、介護保険制度の動向）	
	【予習】 小テスト 前回までの範囲 テキスト第3章の第4節、第5節をよく読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】介護福祉士や介護支援専門員などの役割をまとめる。介護保険制度の見直しと今後について整理しておく。	90分
第10回	障害者総合支援に関する制度（障害者の自立、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）	
	【予習】テキスト第4章の第1節、第2節 をよく読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】障害者にとっての自立やICFについて整理しておく。障害者総合支援法のねらいについてまとめておく。	90分

第11回	障害者総合総合支援に関する制度（障害福祉サービス）	
	【予習】テキスト第4章の第2節 から をよく読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】障害福祉サービスの種類と内容、利用の流れ、利用者負担、事業者・施設、組織・団体、専門職の役割についてまとめておく。	90分
第12回	障害者総合支援制度（制度にかかわる組織とその役割、これからの障害福祉施策の方向性）	
	【予習】障害者総合支援制度（制度にかかわる組織とその役割、これからの障害福祉施策の方向性）	90分
	【復習】制度を運用していく上での各組織の役割と活用の仕方をまとめておく。	90分
第13回	介護実践にかかわる諸制度（人々の権利を擁護する諸制度）	
	【予習】テキスト第5章の第1節をよく読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】介護職に求められる権利擁護の制度の種類や内容を整理しておく。	90分
第14回	介護実践にかかわる諸制度（保健医療にかかわる諸施策、医療にかかわる法と諸施策）	
	【予習】テキスト第5章の第2節と第3節をよく読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】疾病対策や健康づくりの政策、医療機関や医療従事者についてまとめておく。	90分
第15回	介護実践にかかわる諸制度（生活を支える諸制度のあらまし、高齢者・障害者の住生活を支援する諸制度）	
	【予習】テキスト第5章の第4節と第5節をよく読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】生活保護、社会手当、福祉融資制度についてまとめておく。	90分

授業科目名	児童家庭福祉論			科目コード	W171-21				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク		担当教員名	宮田 徹					
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	社会保障		後継科目	なし					
関連科目	地域福祉論、介護福祉論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目(選択)、富山国際大学子ども育成学部へ編入学をし、社会福祉士受験資格を得ようとするものは必ず履修すること。								
授業の概要	児童と家庭を取り巻く環境をめぐる視点から、その現状や課題、支援のあり方について講義する。児童家庭福祉の理念とその発展過程をふまえ、各分野(健全育成、障害児、保育・子育て、児童虐待・養護・非行、ひとり親家庭など)について、教科書・資料・六法を用いて確認していく。								
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の児童とその環境(家庭と地域・社会)の状況について理解する。 ・児童の権利と家庭福祉の理念、児童・家庭福祉の発展過程について理解する。 ・児童・家庭福祉に関する諸制度・活動などについて理解する。 								
キーワード	児童家庭福祉、健全育成、障害児、子育て支援、児童虐待								
テキスト・ 参考書等	テキスト：櫻井奈津子編『保育と児童家庭福祉』(みらい)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 児童家庭福祉の理念や制度について基本的事項を理解し、主な施策分野毎の現状と課題を説明することができる。								
LO-2	【技能】								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 児童家庭福祉の動向や展望を踏まえ、問題解決のための方策について、考察を深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 児童のウェルビーイング(幸せ)や権利保障に高い関心を持ち、自らもその実現に向けて努力しようとする。								
LO-5	【社会性・人間性】 価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら、自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために、他者と協働することができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80					20			100
LO-1	60								60
LO-2									
LO-3	20								20
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他Aは平常点(授業参加態度及び毎回の出席カードによる質問・意見・感想の評価)定期試験については、実施後模範解答を示し、誤答の多い設問について解説する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針の説明 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する 児童家庭福祉の基本構造について学ぶ	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する / テキスト序章を読み、児童家庭福祉の視点について確認する	30分
	【復習】授業の全体像について確認する / 児童家庭福祉の基本構造や視点について、授業内容を確認し、理解を深める	60分
第2回	「児童と家庭・社会」(1)：児童と家庭を取り巻く現状 児童・家庭を取り巻く環境の変化 少子高齢化と「子育て」「子育て」	
	【予習】児童と家庭を取り巻く現状の概要をテキスト第1章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童と家庭を取り巻く現状について、授業内容を確認し、理解を深める / 第1章<まとめてみよう>	90分
第3回	「児童と家庭・社会」(2)：子育てのいま・未来 子育てのいま・未来	
	【予習】児童と家庭を取り巻く現状の概要をテキスト第1章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童と家庭を取り巻く現状について、授業内容を確認し、理解を深める / 第1章<まとめてみよう>	90分
第4回	「児童家庭福祉の意義と歴史」(1)：児童家庭福祉の理念 児童家庭福祉の理念 子どもの権利保障(児童の権利に関する条約・児童の最善の利益)	
	【予習】児童家庭福祉の理念の中核である「子どもの権利保障」の概要をテキスト第2章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子どもの権利保障について、授業内容を確認し、理解を深める / 第2章<まとめてみよう>	90分
第5回	「児童家庭福祉の意義と歴史」(2)：児童家庭福祉の歴史 欧米の児童家庭福祉 日本の児童家庭福祉	
	【予習】児童家庭福祉の歴史の概要をテキスト第3章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童家庭福祉の歴史について、授業内容を確認し、理解を深める / 第3章<まとめてみよう>	90分
第6回	「児童家庭福祉の制度と実施体制」(1)：児童家庭福祉の制度と法体系 児童福祉法 / 児童家庭福祉に関する法律	
	【予習】児童福祉法と児童家庭福祉関係法律の概要をテキスト第4章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童福祉法及び関係法律と制度について、授業内容を確認し、理解を深める / 第4章<まとめてみよう>	90分
第7回	「児童家庭福祉の制度と実施体制」(2)：児童家庭福祉行政と実施機関 児童家庭福祉の行政 / 児童家庭福祉の実施機関と施設	
	【予習】児童家庭福祉行政と実施機関の概要をテキスト第5章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】児童家庭福祉行政と実施機関について、授業内容を確認し、理解を深める / 第5章<まとめてみよう>	90分
第8回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」(1)：子育て支援サービスと児童の健全育成 子育て支援サービス / 健全育成施策	
	【予習】子育て支援サービスと健全育成施策の概要をテキスト第6章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】子育て支援サービスと健全育成施策の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第6章<まとめてみよう>	90分
第9回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」(2)：母子保健サービス 母子保健の理念 / 母子保健サービスの実施と体系 / 母子保健の取り組み	
	【予習】母子保健サービスの概要をテキスト第7章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】母子保健サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第7章<まとめてみよう>	90分
第10回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」(3)：保育サービス 保育所と待機児童 保育サービス	
	【予習】保育サービスの概要をテキスト第8章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】保育サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第8章<まとめてみよう>	90分

第11回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」(4)：児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス） 児童虐待 DV（ドメスティック・バイオレンス）	
	【予習】児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス）の概要をテキスト第9章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス）の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第9章 <まとめてみよう>	90分
第12回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」(5)：社会的養護 社会的養護とは 代替的養護 社会的養護の状況と今後	
	【予習】社会的養護の概要をテキスト第10章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】社会的養護の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第10章 <まとめてみよう>	90分
第13回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」(6)：ひとり親家庭への福祉 ひとり親家庭の現状と生活状況 ひとり親家庭福祉サービスの概要	
	【予習】ひとり親家庭への福祉の概要をテキスト第11章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】ひとり親家庭への福祉の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第11章 <まとめてみよう>	90分
第14回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」(7)：障害のある子どもの福祉 「障害」観 障害児の定義と現状 障害児への福祉施策	
	【予習】障害のある子どもの福祉の概要をテキスト第12章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第13章 <まとめてみよう>	90分
第15回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」(8)：情緒障害・少年非行問題 情緒障害 少年非行	
	【予習】情緒障害・少年非行問題の概要をテキスト第13章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第13章 <まとめてみよう>	90分

授業科目名	地域福祉論			科目コード	W171-31				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク	担当教員名	関 好博						
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	社会保障	後継科目	なし						
関連科目	介護福祉論 ~ 、認知症ケア論 ・ 、障害者ケア論 ・ 、リハビリテーション論、児童福祉論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目(選択)、社会福祉主事(任用資格)指定科目(選択)								
授業の概要	1.地域福祉の歴史、地域福祉の考え方を理解できるようになること。2.現状における地域課題や個別課題、それに対応する支援策を理解できるようになること								
学習目標	履修される学生の生まれ育った地域を常に意識でき、今の自分に何ができるかを考えられるようになること。								
キーワード	地域福祉、地区社会福祉協議会、地区社会福祉協議会活動								
テキスト・ 参考書等	地域福祉論 地域福祉の理論と方法 著書 社会福祉学習双書 発行 全国社会福祉協議会								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	地域福祉の基本的な考え方及び原則を理解できること。								
LO-2	課題に対して、具体的な支援をイメージすることができること。								
LO-3	生活課題、地域課題をしっかりと汲み取ることができること。								
LO-4	福祉に限らず、生活に関わる情報を収集し、課題解決策へつなげるための資質向上を常に図ることができること。								
LO-5	専門職としてではなく、一人の人間として、近隣住民との関わりの中で、自分に何ができるかを考えられるようになること。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75		25						100
LO-1	15		5						20
LO-2	15		5						20
LO-3	15		5						20
LO-4	15		5						20
LO-5	15		5						20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	本講義の進め方の確認、地域福祉の考え方について	
	【予習】教科書の読み込み	30分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	60分
第2回	地域福祉の歴史	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	60分
第3回	現代における生活課題の傾向について	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】具体的な生活課題を考える（レポート提出）	0分
第4回	生活課題に対する支援策の紹介	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	60分
第5回	地域福祉に関わる人材の紹介（DVD紹介含む）	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】DVDに関する感想をまとめる	0分
第6回	地域福祉に関わる組織の紹介（DVD紹介含む）	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】DVDに関する感想をまとめる	0分
第7回	地域福祉事例検討	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	0分
第8回	地域福祉に関わる専門職の紹介（DVD紹介含む）	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】DVDに関する感想をまとめる	0分
第9回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	地域福祉論			科目コード	W171-32				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク	担当教員名	森脇 俊二						
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	社会保障	後継科目	なし						
関連科目	介護福祉論 ～ 、認知症ケア論 ・ 、障害者ケア論 ・ 、リハビリテーション論、児童福祉論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目(選択)、社会福祉主事(任用資格)指定科目(選択)								
授業の概要	1. 地域福祉の歴史、地域福祉の考え方を理解できるようになること。2. 現状における地域課題や個別課題、それに対応する支援策を理解できるようになること								
学習目標	履修される学生の生まれ育った地域を常に意識でき、今の自分に何ができるかを考えられるようになること。								
キーワード	地域福祉、地区社会福祉協議会、地区社会福祉協議会活動								
テキスト・ 参考書等	地域福祉論 地域福祉の理論と方法 著書 社会福祉学習双書 発行 全国社会福祉協議会								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	地域福祉の基本的な考え方及び原則を理解できること。								
LO-2	課題に対して、具体的な支援をイメージすることができること。								
LO-3	生活課題、地域課題をしっかりと汲み取ることができること。								
LO-4	福祉に限らず、生活に関わる情報を収集し、課題解決策へつなげるための資質向上を常に図ることができること。								
LO-5	専門職としてではなく、一人の人間として、近隣住民との関わりの中で、自分に何ができるかを考えられるようになること。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75		25						100
LO-1	15		5						20
LO-2	15		5						20
LO-3	15		5						20
LO-4	15		5						20
LO-5	15		5						20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	本講義の進め方の確認、地域福祉の考え方について	
	【予習】教科書の読み込み	30分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	60分
第2回	地域福祉の歴史	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	60分
第3回	現代における生活課題の傾向について	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】具体的な生活課題を考える（レポート提出）	0分
第4回	生活課題に対する支援策の紹介	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	60分
第5回	地域福祉に関わる人材の紹介（DVD紹介含む）	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】DVDに関する感想をまとめる	0分
第6回	地域福祉に関わる組織の紹介（DVD紹介含む）	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】DVDに関する感想をまとめる	0分
第7回	地域福祉事例検討	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	0分
第8回	地域福祉に関わる専門職の紹介（DVD紹介含む）	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】DVDに関する感想をまとめる	0分
第9回	地域福祉の先進事例紹介（DVD紹介含む）	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】DVDに関する感想をまとめる	0分
第10回	地域福祉サービスの紹介	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	0分

第11回	地域福祉の先進事例紹介（DVD紹介含む）	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】DVDに関する感想をまとめる	0分
第12回	地域福祉計画の紹介	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	0分
第13回	地域福祉の先進事例紹介（DVD紹介含む）	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	0分
第14回	地域福祉の先進事例紹介（DVD紹介含む）	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	0分
第15回	地域福祉の先進事例紹介（DVD紹介含む）	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】自分の出身地の社会福祉協議会の取り組みを調べる	180分

授業科目名	キャリアデザイン演習			科目コード	W181-10				
科目区分	専門科目 - キャリア	担当教員名	小平 達夫						
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	職業人として知識・技術・熱意の3条件が必要です。知識については、社会経験で培われた実践的	後継科目	なし						
関連科目									
資格等 取得との関連	卒業要件に係る資格取得全て								
授業の概要	自分は何をしたいのか、どのような仕事をしたいのか、将来なりたい自分に向けてキャリアプランを描きます。また、仕事をするうえで基本となるマナーを身につけ、社会力を養います。就職支援センターと連携をとりながら、就職特別講座、就職実践講座を組み入れ、面接の個別指導をおこないます。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の将来設計(ライフプラン)を考え、明らかにする。 2. 自分自身を分析し、特別講座をとおして、自分に適した仕事・職場を見つける。 3. 社会人としてのマナーを身につける。 4. ビジネス文書について理解を深める。 								
キーワード	キャリアプラン、接遇、ビジネス文書、人間関係								
テキスト・ 参考書等	2018 就職ガイドブック、適宜参考資料を配布								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	社会人としての実践力を身につけるための一般的常識、ルール・マナーに関する知識を十分に習得している。								
LO-2	持ち前の特技や自己PRをしっかりと表現することができる。								
LO-3	よりよい人間関係を築くために、思慮深く、行動できること。								
LO-4	職業人として、専門職に必要な倫理観に関心を持ち、仕事への意欲や情熱を高めようと自己啓発能力を身につけている。								
LO-5	人と人とが気持ちよく過ごしていくためのルールや作法を身につけ、心豊かな人間関係を築くことができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		30		20				100
LO-1	50								50
LO-2			10		10				20
LO-3			10						10
LO-4			10						10
LO-5					10				10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション キャリアデザインとは、 キャリアプラン	
	【予習】 将来なりたい自分、ライフステージにおける将来の夢や希望をまとめ、自らのキャリアデザインを考える	20分
	【復習】 自分の長所、短所を指定されたシートに記入してくる。	25分
第2回	自己PR（自分の長所・短所）を考える。	
	【予習】 予め自分の長所・短所をまとめておく。	20分
	【復習】 授業内容を振り返る	25分
第3回	自己PRを実施する。	
	【予習】 自分の長所・短所をもとに、自己PRを行う	20分
	【復習】 授業内容を振り返る	25分
第4回	特別講座 先輩と語る会（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、病院、グループホーム、デイサービスなどに就職した卒業生から体験談を聞く）	
	【予習】 先輩への質問事項を考えてくる	20分
	【復習】 授業内容を振り返る	25分
第5回	接遇の基本 聞き方・話し方	
	【予習】 接遇の言葉の意味を調べてくる。「2018就職ガイダンス」の該当箇所を読んでくる。小テストを実施する。	20分
	【復習】 接遇の基本 聞き方・話し方の小テストを実施する。	25分
第6回	面接指導 グループ面接	
	【予習】 自己の長所や特技・資格についてPRできるよう準備する	20分
	【復習】 履歴書の自己PRの欄をしっかりとめ、提出できるよう準備する	25分
第7回	面接指導 グループ面接の振り返り	
	【予習】 面接でのチェックポイントを押さえ、声を出して練習する	20分
	【復習】 面接指導者からのコメントをもとに、振り返り練習する	25分
第8回	特別講座 学科長講話 介護福祉の仕事	
	【予習】 介護福祉論 介護を取り巻く現状を読んでくる。	20分
	【復習】 講義内容を振り返る	25分
第9回	特別講座 施設長講話 職場が求める人材	
	【予習】 施設が求める人材について聞きたいことを考える	20分
	【復習】 講義の内容を振り返り、専門職としてのあり方をまとめる	25分
第10回	履歴書の書き方	
	【予習】 添削された履歴書を読み返す	20分
	【復習】 履歴書を完成する	25分

第11回	実践講座 作文の書き方を押さえたうえで、提示された課題で作文を書く。(作文記入時間60分)	
	【予習】就職ガイダンスを読み、作文・小論文の課題について確認をする	20分
	【復習】作文の書き方のポイントを確認する	25分
第12回	接遇の基本 聞き方・話し方(職場説明会に臨むにあたって)	
	【予習】今までの授業を振り返り、聞き方・話し方のポイントをまとめる。	20分
	【復習】授業内容を振り返り、職場説明会で聞きたいことをまとめる	25分
第13回	ビジネス実務文書のポイントを学ぶ	
	【予習】2017就職ガイダンスを読んてくる	20分
	【復習】本日の授業内容を振り返る	25分
第14回	電話の対応	
	【予習】2018就職ガイダンスを読んてくる	20分
	【復習】電話の対応の基本を振り返る	25分
第15回	まとめ	
	【予習】試験対策として、学習内容を確認しまとめる	20分
	【復習】定期試験に向けて、重要ポイントをチェックしミニテストの内容も併せて確認し準備する	25分

授業科目名	介護福祉総合演習			科目コード	W181-30				
科目区分	専門科目 - キャリア	担当教員名	石橋 郁子 西井 啓子 立島 真 関 好博 吉牟田 裕						
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	介護福祉士指定科目の全て	後継科目	介護福祉総合演習						
関連科目	介護福祉士指定科目の全て								
資格等 取得との関連	介護福祉士								
授業の概要	「人間と社会」「こころとからだのしくみ」「介護」の3領域を専門分野の専任教員が講義や試験を通して学びを深めていきます。模擬試験(基礎編・実力編)を段階的に行い、修得度を確認し、個別の指導を受け学習します。								
学習目標	介護福祉士に必要な3領域(人間と社会・こころとからだのしくみ・介護)の専門知識を習得し、卒業時共通試験に合格できる。								
キーワード	卒業時共通試験、人間と社会の領域、こころとからだのしくみ領域、介護領域、基本知識								
テキスト・ 参考書等	各科目で使用したテキスト、配布資料、模擬問題集またはワークブック								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	3領域(人間と社会・こころとからだのしくみ・介護)の科目における知識・技術の基本を確認し、一つひとつの理由や根拠に基づいて理解していくことができる。								
LO-2									
LO-3	具体的な事例を基にした応用問題に正解することができる。								
LO-4	授業で行う練習試験、模擬試験では日ごろの成果を発揮し、合格点が取得できる。								
LO-5	友人間でお互いの学習内容を確認し合い、相互に学習意欲を向上させていくことができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70	30							100
LO-1	40	10							50
LO-2									
LO-3	10	10							20
LO-4	10	10							20
LO-5	10								10
備考	毎回の小テスト、模擬試験、で習熟度でグループ編成し、授業をします。成績は、期末試験・毎回の小テスト・模擬試験で評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	本科目に関するガイダンス 前期のすすみ方、自己の学習の仕方、模擬試験について説明 2回の実力試験範囲分かる	
	【予習】本シラバスを読み講義の概要・目的を抑え、科目の進み方が分かる	90分
	【復習】次回の実力試験に向けて 理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
第2回	実力試験 1 回目 1 年次に学習した範囲の課題に取り組む	
	【予習】実力試験に向けて 試験御範囲で理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】実力試験 1 回目で、間違えた箇所を調べ重要なポイントをプリントに記述する。	90分
第3回	実力試験 2 回目 1 年次に学習した範囲の課題に取り組む	
	【予習】実力試験に向けて 試験御範囲で理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】実力試験 2 回目で、間違えた箇所を調べ重要なポイントをプリントに記述できる	90分
第4回	領域人間と社会：人間の尊厳と自立 人間関係とコミュニケーション・人間としての尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について理解できる。	
	【予習】社会福祉士及び介護福祉士法 社会福祉士法 人権に関する法律等理解不足のところ、苦手なところをテキスト・資料で振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第5回	領域介護：介護の基本 介護の歴史、介護問題の背景、介護福祉士の役割と機能、尊厳を支える介護、介護を必要とする人の理解、介護サービスについて理解できる。	
	【予習】介護の歴史、介護問題の背景、介護福祉士の役割と機能、尊厳を支える介護、介護を必要とする人の理解、介護サービスについて理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第6回	領域介護：生活支援技術 利用者の個性を理解しなぜその技術が必要なのか理解する。自立に向けたみじたく・移動・食事・入浴・清潔・排泄・睡眠の介護について理解する。	
	【予習】自立に向けたみじたく・移動・入浴・清潔・排泄・睡眠の介護について理解不足のところをテキストで、振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく。確実に点数を取得できるよう基本と実習における実際の場で統合できるよう整理できる	90分
第7回	領域介護：生活支援技術 利用者の個性を理解しなぜその技術が必要なのか理解する。自立に向けた住居環境・家事援助について理解する。	
	【予習】自立に向けた住居環境・家事援助において基本的な理論と知識を正しく理解できるようテキスト・配布資料を見て振り返る。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく。確実に点数を取得できるよう基本と実習における実際の場で統合できるよう整理できる	90分
第8回	領域介護：介護過程 介護過程の意義と目的、情報集とアセスメント、介護過程の展開、チームアプローチについて必要な知識を理解する。	
	【予習】介護過程の意義と目的、アセスメントの定義と方法、情報収集の方法と解釈、介護過程の展開、評価について基本的な理論と知識を正しく理解できるようテキスト・配布資料を見て振り返る。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく	90分
第9回	領域：こころとからだのしくみ 人体を構成している各組織や器官の構造を理解する。生体の機能を維持していくために、各器官が、どのように働いているか理解する。	
	【予習】人体の構造と機能について医学一般の授業で使用したテキスト・授業時のノートから振り返る。理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく	90分
第10回	領域：こころとからだのしくみ 人体の構造や機能と生活行為がどのように運動しているか理解する。生活行為・動作に関する基本的な知識を知り、生活支援技術に關ず仕組みを理解する。	
	【予習】人体のしくみから様々な生活行為を関連させておく。姿勢・移動動作、入浴・清潔動作、身支度の動作、食神關する動作、睡眠などの基本的な知識を正しく理解できるようテキスト・配布資料を見る。また、理解不足のところや苦手なところをテキスト・資料で振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述できる	90分

第11回	領域：人間と社会 社会の理解 介護保険制度、社会保障制度のしくみ、個人を守る制度、障害者総合支援法など制度のしくみとサービスの内容等社会福祉の基本的な部分を理解する。	
	【予習】社会福祉の歴史、介護保険制度のしくみ、障害者自立支援、総合支援法のしくみ、日本の社会保障制度等理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	0分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく	0分
第12回	領域：こころとからだのしくみ 認知症の理解 認知症を取り巻く状況、医学的側面からの認知症（中核症状・BPSD・周辺症状）、認知症ケアについて正しく理解する。	
	【予習】認知症の原因疾患の症状・特徴、認知症による障害を正しく理解できるようテキスト・配布資料を見て振り返る。	0分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく	0分
第13回	領域：こころとからだのしくみ 障害の理解と発達と老化のしくみ 障害の概念 障害者福祉の基本理念、障害の医学的側面を含めた基礎的な知識を理解する。人の成長・発達について理解する。高齢者に多い疾患と症状の現れ方について分かる。老化について生活への影響を、心理的・社会的・生理的側面からとらえ基礎的な知識を理解する。	
	【予習】障害者福祉法、ノーマライゼーションの意義・歴史的経緯、障害の医学的側面御基礎的知識（身体機能意障害・内部障害・視覚聴覚障害・言語障害）、障害者の心理的側面等理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る。発達課題、老化のメカニズム等テキストや資料で振り返る。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述できる	90分
第14回	前期外部模擬試験（基礎編）実施	
	【予習】試験前までに学習した範囲をまとめておく。毎授業時の練習問題を見直し、誤って回答したところについて調べたポイントを特に重要視する。試験まで、計画的に学習時間を設け確実に合格点（72点）が取得できるよう取り組む。	90分
	【復習】自己の回答で、誤った回答の問題について解説書から正しい解答を記述し、テキスト・練習問題から調べたことを空欄に記述できる。自己の苦手な問題傾向を認識し、後期の学習への目標にできる	90分
第15回	前期外部模擬試験（基礎編）実施	
	【予習】試験前までに学習した範囲をまとめておく。毎授業時の練習問題を見直し、誤って回答したところについて調べたポイントを特に重要視する。試験まで、計画的に学習時間を設け確実に合格点（72点）が取得できるよう取り組む。	90分
	【復習】自己の回答で、誤った回答の問題について解説書から正しい解答を記述し、テキスト・練習問題から調べたことを空欄に記述できる。自己の苦手な問題傾向を認識し、後期の学習への目標にできる	90分

授業科目名	介護福祉総合演習			科目コード	W181-31				
科目区分	専門科目 - キャリア	担当教員名	石橋 郁子						
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	介護福祉総合演習	後継科目	なし						
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	3領域(人間と社会・こころとからだのしくみ・介護)を専門分野の専任教員が講義や試験を通して学びを深めていきます。模擬試験(基礎編・実力編)を段階的に行い、修得度を確認し、個別の指導を受け学習できる。								
学習目標	介護福祉士に必要な3領域(人間と社会・こころとからだのしくみ・介護)の専門知識を習得し、卒業時共通試験に合格できる。								
キーワード	卒業時共通試験 3領域(人間と社会・こころとからだのしくみ・介護) 外部模擬試験								
テキスト・ 参考書等	各科目で使用したテキスト 配布資料 して学ぶ。(平成25年介護福祉士国家試験対応問題集及びワークブックから選定)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	3領域(人間と社会・こころとからだのしくみ・介護)の科目における知識・技術の基本を確認し、一つひとつの理由や根拠に基づいて理解する。								
LO-2									
LO-3	具体的な事例を基にした応用問題に正解することができる。								
LO-4									
LO-5	友人間でお互いの学習内容を確認し合い、相互に学習意欲を向上する。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	90					10			100
LO-1	50								50
LO-2									
LO-3	40								40
LO-4									
LO-5						10			10
備考	その他Aについては、意見発表、グループワークでの活動などに点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期学習の進め方・自己学習、外部模擬試験、直前学習について理解できる。前期外部の模試結果を参考に自己の学習課題を設定し、自主学習の計画を立てる。	
	【予習】前期に購入した問題集及びテキストから苦手な科目を見直す。	90分
	【復習】自己の学習計画を見直し、計画した科目の問題に取り組む	90分
第2回	領域：こころとからだのしくみ：発達と老化の理解 過去の問題から難易度が高い問題に取り組む。発達の定義と人物について理解する	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。 人間関係とコミュニケーション【11】～【15】 人間関係とコミュニケーション【16】～【20】	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する コミュニケーション技術【111】～【115】 コミュニケーション技術【116】～【120】	90分
第3回	領域：介護：介護の基本 介護の歴史、介護問題の背景、介護福祉士の役割と機能、尊厳を支える介護、介護を必要とする人の理解、介護サービスについて理解できる。練習問題に取り組む。	
	【予習】介護の歴史、介護問題の背景、介護福祉士の役割と機能、尊厳を支える介護、介護を必要とする人の理解、介護サービスについて前期から理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る コミュニケーション技術【126】～【130】	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第4回	領域：人間と社会：人間の尊厳と自立 人間関係とコミュニケーション・人間としての尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について理解できる。難易度が高い問題や惑わされやすい問題への対応がわかり、練習問題に取り組む	
	【予習】社会福祉士及び介護福祉士法 社会福祉士法 人権に関する法律等理解不足のところ、苦手なところをテキスト・資料で振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第5回	領域：こころとからだのしくみ みじたく・移動・食事に関連したこころとからだのしくみを理解する。過去の問題で難易度の高いもの、苦手とする問題、紛らわしい問題への対応がわかり練習問題に取り組む。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第6回	領域：こころとからだのしくみ 入浴・排せつ・睡眠・ターミナルに関連した、こころとからだのしくみについて理解する。過去の問題で難易度の高いもの、苦手な問題、紛らわしい問題への対応がわかり練習問題に取り組む	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第7回	領域：こころとからだのしくみ認知症の理解 医学的に見た認知症の基礎・認知症に伴う心とからだの変化について理解する。過去の問題で、難易度が高い問題、紛らわしい問題への対応がわかり練習問題に取り組む。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第8回	領域：心とからだのしくみ 障害の理解 身体、精神、知的、発達障害、難病について障害の特性、障害の受容や適応機制、障害が及ぼす心理的影響、日常生活への影響について理解する。難易度の高い問題、苦手とする問題の対応がわかり練習問題に取り組む。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	0分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	0分
第9回	領域：介護生活支援技術 生活の理解・生活支援について理解する。自立に向けた居住環境・みじたく・移動・食事・入浴と清潔保持・家事・睡眠・終末期の介護について分かる。難易度の高い問題への対応がわかり練習問題に取り組む。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第10回	領域：社会の理解 社会保障制度の発達、日本の社会保障制度のしくみ（社会保険と社会扶助）について理解する。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分

第11回	領域：社会の理解 介護保険制度（介護保険制度創設の背景と目的、介護保険制度のしくみ、介護サービスの利用までの流れ、居宅・介護予防サービス、地域密着型サービス、介護支援員専門員の役割について理解する。障害者総合支援法、生活保護制度について分かる。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第12回	外部模擬試験 実力編の実施	
	【予習】後期に学習してきたプリント、問題集を使用し、試験に向けて計画的に予習を進めていく	90分
	【復習】誤ったところ、苦手とする科目について学習する	90分
第13回	外部模擬試験 実力編の実施	
	【予習】後期に学習してきたプリント、問題集を使用し、試験に向けて計画的に予習を進めていく	90分
	【復習】誤ったところ、苦手とする科目について学習する	90分
第14回	内部模擬試験 今まで学習してきたところを振り返り合格点がとれるよう試験に臨む	
	【予習】後期に学習してきたプリント、問題集を使用し、試験に向けて計画的に予習を進めていく	90分
	【復習】誤ったところ、苦手とする科目について学習する	90分
第15回	内部模擬試験 今まで学習してきたところを振り返り試験に向けて計画的に進めていく。	
	【予習】後期に学習してきたプリント、問題集を使用し、試験に向けて計画的に予習を進めていく	90分
	【復習】誤ったところ、苦手とする科目について学習する	90分

授業科目名	総合的研究			科目コード	W191-10				
科目区分	専門科目 - 研究		担当教員名	吉牟田 裕					
開講時期	1年後期・2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連	短期大学士(介護福祉学)								
授業の概要	社会福祉、介護福祉および生活福祉についての2年間の学習の中で、各自が触発されたテーマについて、より深く掘り下げた主体的調査研究としておこなうものです。各テーマの専門ごとに専任教員全員が分担して、個別的・継続的に指導し、研究成果をレポートにまとめ、報告会で発表します。								
学習目標	介護福祉専門職として必要な研究態度や自己研鑽・自己啓発の能力を養うこと目的としています。また、高齢者や障害者の介護や、介護福祉士としてのあり方について理解を深めてもらうことを目標としています。								
キーワード	主体的、調査、社会福祉、介護福祉、生活福祉								
テキスト・ 参考書等	総合的研究報告集バックナンバー(学内専用)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人間の多様な価値観、社会のしくみ、文化を理解し、幅広い教養を習得している。また、社会概念の基礎を理解し、介護実践に必要な専門的知識を習得している。								
LO-2	論文作成・研究発表において、的確に記録・記述することができる方法を身につけている。								
LO-3	福祉分野の諸課題を発見し、研究方法を用いて考察することができる。								
LO-4	社会的状況や福祉の動向などに関心をもち、自己研鑽・自己啓発能力を身につけている。また、専門職に必要な倫理観に関心をもつことができる。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている。また、円滑なコミュニケーションの取り方の基本を身につけ、他者と協調、協働して行動することができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)				80	10	10			100
LO-1				20					20
LO-2				10	10				20
LO-3				20					20
LO-4				20					20
LO-5				10		10			20
備考	その他Aは、研究を進る際の研究グループ内での協調・協働を評価する								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	全体オリエンテーション(科目の概要説明、グループ分け)	
	【予習】	0分
	【復習】前年度総合的研究報告集の熟読(1)	45分
第2回	分野別オリエンテーション(授業の年間計画の説明、グループ分けの再確認)	
	【予習】	0分
	【復習】前年度総合的研究報告集の熟読(2)	45分
第3回	研究テーマの確定1(分野ごとに希望研究テーマの内容を確認)	
	【予習】研究テーマを考える	45分
	【復習】	0分
第4回	研究テーマの確定2(リーダー、サブリーダー選出、研究テーマとグループを確定)	
	【予習】前年度総合的研究報告集の熟読(3) 研究テーマの深化	45分
	【復習】	0分
第5回	研究テーマの確定3(研究テーマとグループの全体調整)	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画の立案準備	45分
第6回	調査研究の方法1(調査方法及びレポート構成の指導・講義)	
	【予習】	0分
	【復習】調査方法及びレポート構成を理解する	45分
第7回	調査研究の方法2(グループ別文献検索指導)	
	【予習】	0分
	【復習】文献検索の方法に習熟する	45分
第8回	研究計画の立案1(先行研究の調査、文献検索)	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画の作成1	45分
第9回	研究計画の立案2(先行研究の調査、文献検索)	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画の作成2	45分
第10回	調査の準備と実施1(調査準備 学内調査 学外調査、調査開始)	
	【予習】	0分
	【復習】調査の準備または実施	45分

第11回	調査の準備と実施2(調査準備 学内調査 学外調査、調査開始)	
	【予習】	0分
	【復習】 調査の準備または実施	45分
第12回	調査の準備と実施3(調査準備 学内調査 学外調査、調査開始)	
	【予習】	0分
	【復習】 調査の準備または実施	45分
第13回	中間まとめの準備1(中間発表会に掲示するポスター製作準備)	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター作製	45分
第14回	中間まとめの準備2(中間発表会に掲示するポスター製作準備)	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター作製	45分
第15回	中間まとめの準備3(中間発表会に掲示するポスター製作準備)	
	【予習】 中間まとめの資料作成	45分
	【復習】	0分
第16回	中間まとめ	
	【予習】 中間まとめの資料作成	45分
	【復習】	0分
第17回	中間発表の準備1(調査結果の整理と考察)	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果の整理と考察	45分
第18回	中間発表の準備2(調査結果の整理と考察)	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果の整理と考察	45分
第19回	中間発表の準備3(調査結果の整理と考察)	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果の整理と考察	45分
第20回	結果の整理と考察(調査結果の整理と考察、追加調査の実施など)	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果の整理と考察、追加調査の実施など	45分

第21回	記録集の作成 (作成準備ならびに執筆開始)	
	【予習】	0分
	【復習】 記録集作成準備ならびに執筆	45分
第22回	原稿提出 (完成原稿とデータを提出)	
	【予習】 記録集作成準備ならびに執筆	45分
	【復習】	0分
第23回	原稿の校正1	
	【予習】	0分
	【復習】 1校の完了	45分
第24回	原稿の校正2	
	【予習】	0分
	【復習】 2校の完了	45分
第25回	原稿の校正3	
	【予習】	0分
	【復習】 3校の完了	45分
第26回	原稿の校正4	
	【予習】	0分
	【復習】 4校の完了	45分
第27回	発表会の準備1 (発表原稿の準備、使用機材の確認)	
	【予習】	0分
	【復習】 発表の練習	45分
第28回	発表会の準備2 (発表原稿の準備、使用機材の確認)	
	【予習】	0分
	【復習】 発表の練習	45分
第29回	発表会リハーサル	
	【予習】	0分
	【復習】 リハーサルの総括、発表原稿などの改善	0分
第30回	発表会(口頭発表)	
	【予習】 発表の練習	45分
	【復習】	0分

授業科目名	現代社会と福祉			科目コード	W511-10				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	小平 達夫 野村 幸伸 彼谷 環					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士、医療事務、介護事務								
授業の概要	学内の教員や学園内の教員、ならびに外部の非常勤講師を交えたオムニバス形式でおこないます。								
学習目標	学科の特徴である3つの学び（介護福祉分野、ソーシャルワーク分野、福祉ビジネス分野）の導入科目に位置づけ、今日の社会保障や社会福祉の動向、ならびに経済情勢、そして社会福祉士をはじめとするソーシャルワークの専門性などを紹介することで、その後の学習に結びつける。								
キーワード	相談援助、ケアワーク、シニアビジネス、								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	今日の日本における介護福祉、ソーシャルワーク、福祉ビジネスを取巻く環境を理解するとともに、その背景にも理解を深める。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	受講カードにその日の授業内容を正しくふり返ることができている。与えられた課題に対し、前向きに取り組んでいる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40		30			15	15		100
LO-1	40		30						70
LO-2									
LO-3									
LO-4						15	15		30
LO-5									
備考	担当教員から課題レポートを課すことを基本とする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーションならびに、福祉を取巻く資格制度の説明。	
	【予習】	60分
	【復習】	30分
第2回	多職種連携について理解を深める	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	多職種連携の実践例を学ぶ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	医療・介護・福祉の連携について理解を深める	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	医療・介護・福祉の連携の具体的な事例より学ぶ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	大規模社会福祉法人の施設の在り方と役割について理解を深める	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	大規模社会福祉法人の施設の運営について理解を深める	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	大規模社会福祉法人の施設における専門職の働きについて理解を深める	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	大規模社会福祉法人の施設における専門職の働きについて理解を深める	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	大規模社会福祉法人における学びの集大成	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	富山県のスクールソーシャルワーク事業	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	ソーシャルワーカーが取り組む社会問題としての貧困 (ソーシャルワークを学ぶことの意味を考える。)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	・NPO法人の社会福祉実践の紹介・34年間の障がいを持つ人の福祉実践から考えること・社会福祉とは何か・障がいとは何か ・人が生きるとは何か	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	・地域包括支援センターから見る地域社会の問題及び課題とその対応について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	第1回から14回の振り返りと総括	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	生活と社会			科目コード	W511-20				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	関 好博 樋口 康彦					
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	コミュニケーション論、現代社会と人間								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格(必修)								
授業の概要	家族あるいは地域社会が個人とどのようにつながっているのかを学びます。また、私たちが参加する組織や集団との関わりを考え、社会の中での個人を理解できることを目指します。そして、変化するライフスタイルや生活支援と福祉の体系などからも社会全体を捉えられるよう、演習を交えて進めていきます。								
学習目標	1 個人の暮らしと生活の在り方の意義、理念を理解する。 2 個人と家族、個人と地域、個人と社会の関係性を理解する。 3 自助、公助、共助の内容を理解する。								
キーワード	生活、家族、地域社会、社会・組織、ライフスタイル								
テキスト・ 参考書等	高橋幸幸他編 新・介護福祉士養成講座「2 社会と制度の理解」中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	社会学における用語を理解し、使いこなせるようになる。(地域)社会・生活・家族などといった社会生活を構成する要素と自分の生活を引き合わせて理解することができる。介護福祉士として、社会全般を捉えられるようになる。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	授業アンケートにその日の授業内容を正しく振り返ることができる。与えられた課題に対し、前向きに取り組んでいる。								
LO-5									
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70					30			100
LO-1	70								70
LO-2									
LO-3									
LO-4						30			30
LO-5									
備考	「その他A」は、受講カードへの取り組みや書込み内容を参酌して評価を与えます。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	生活と福祉(1) 人と生活、生活の構成要素	
	【予習】テキスト第1章の第1節 を読んで、初出の用語や知らない語句を自分で調べておくこと。	90分
	【復習】生活の要素と構造について、自分の生活に引き合わせてふり返しをしておく。	90分
第2回	生活と福祉(2) 家族の定義、家族構造と形態、家族の機能と役割	
	【予習】テキスト第1章の第2節 を読んで、初出の用語や知らない語句を自分で調べておくこと。	90分
	【復習】家族の多様な機能や役割から、家族の定義を試みる。	90分
第3回	生活と福祉(3) 多様化する家族と家族観	
	【予習】テキスト第1章の第2節 を読んで、初出の用語や知らない語句を自分で調べておくこと。	90分
	【復習】自分の家族の生活と家族の個人化の現象について考えてみる。	90分
第4回	生活と福祉(4) 地域に暮らす個人、地域社会の集団と組織	
	【予習】テキスト第1章の第3節 を読んで、初出の用語や知らない語句を自分で調べておくこと。	90分
	【復習】自分が住んでいる町内の自治会活動について、家族から聞き取りをする。	90分
第5回	生活と福祉(5) 変貌する地域社会	
	【予習】テキスト第1章の第3節 を読んで、初出の用語や知らない語句を自分で調べておくこと。	90分
	【復習】自分が住んでいる地域の都市化あるいは過疎化について、行政のホームページを元に人口や世帯数の変化などを調べてみる。	90分
第6回	生活と福祉(6) 「社会」の捉え方、社会と組織、新しい人的ネットワーク	
	【予習】テキスト第1章の第4節 を読んで、初出の用語や知らない語句を自分で調べておくこと。	90分
	【復習】富山県民ボランティア総合支援センターのホームページから、県内で活動する特定非営利活動法人の様子と法人認証の流れなどを把握する。	90分
第7回	生活と福祉(7) 労働環境と家庭、	
	【予習】テキスト第1章の第5節 を読んで、初出の用語や知らない語句を自分で調べておくこと。	90分
	【復習】厚生労働省のホームページで、厚生労働白書に書かれてある女性の社会進出や産業化の実態を各自で確認しておく。	90分
第8回	生活と福祉(8) 少子化と高齢化 少子化	
	【予習】テキスト第1章の第5節 「少子化」を読んで、初出の用語や知らない語句を自分で調べておくこと。	90分
	【復習】厚生労働省のホームページで、子ども・子育て白書の関連ページを各自で確認しておく。	90分
第9回	生活と福祉(9) 少子化と高齢化 高齢化	
	【予習】テキスト第1章の第5節 「高齢化」を読んで、初出の用語や知らない語句を自分で調べておくこと。	90分
	【復習】厚生労働省のホームページで、高齢社会白書の関連ページを各自で確認しておく。	90分
第10回	生活と福祉(10) 地域社会とライフスタイル、(11) 社会福祉と社会保障、社会福祉と福祉サービスの理念、社会福祉の法制度と実施体制、自助・共助・公助のバランスと福祉の多元化	
	【予習】テキスト第1章の第5節 と第6節を読んで、初出の用語や知らない語句を自分で調べておくこと。	90分
	【復習】テキストに出てくるいくつかの調査結果について、各自でホームページなどで調べておく。	90分

第11回	老年期における生活と心理。老年期における心理的な変化について。老年期における心理の変化により生活はどのように変わっていくのか。	
	【予習】老年期における性格の変化について調べる。	90分
	【復習】授業で配ったプリントの内容を復習する。	90分
第12回	老年期における生活と心理。老年期における身体的変化と社会的関係の変化。高齢者の生活満足度。	
	【予習】老年期におけるQOLについて調べる。	90分
	【復習】授業で配ったプリントの内容を復習する。	90分
第13回	家族の機能。家族観の変遷。家族の各発達段階における課題と危機。家族と地域、家族と社会のかかわりについて。	
	【予習】家族のライフサイクルについて調べる。	90分
	【復習】授業で配ったプリントの内容を復習する。	90分
第14回	自殺について。自殺の国際比較。自殺しやすい人の特徴。自殺と福祉。	
	【予習】各国の自殺率について調べる。	90分
	【復習】授業で配ったプリントの内容を復習する。	90分
第15回	犯罪について。犯罪と社会。犯罪と福祉。総まとめと、定期試験に向けての勉強のポイントの解説。	
	【予習】犯罪者の処遇について調べる。テスト範囲となるところを中心に、これまで学んだことをしっかりと理解しておく。	90分
	【復習】今回の授業で配ったプリントの内容を復習する。これまでの授業を振り返り、章ごとに重要点をまとめる。	90分

授業科目名	生活と情報			科目コード	W511-30				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	吉牟田 裕					
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	社会福祉調査論					
関連科目	福祉と情報								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目(選択)								
授業の概要	情報システムの基礎について学ぶとともに、情報伝達や情報活用に関する技能を習得します。具体的には、ワープロや表計算、プレゼンテーションと、情報社会を生きるためのセキュリティの知識とモラルについても身につけることを目指します。								
学習目標	Windows、インターネット、オフィスツールの基本操作方法を習得するとともに、情報を取り扱ううえで必要なセキュリティと情報モラルを身につけます。								
キーワード	パソコン、ワープロ、表計算、プレゼンテーション、インターネット								
テキスト・ 参考書等	「繰り返して慣れる！スピードマスター Office 2007 & 情報モラル」 noa出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識を身につける。								
LO-2	パソコンにより、効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20		60	20				100
LO-1		20							20
LO-2				60	20				80
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の進め方、学習の目標、パソコン教室の使い方、タッチタイピング Google Chrome のダウンロード	
	【予習】	0分
	【復習】 タッチタイピングの練習	45分
第2回	Word : チラシの作成(1) 教科書の動画 (1) 本文	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】 ウィンドウの操作を復習する	25分
第3回	基本編 Word チラシを作成しましょう 次の「説明動画」にアクセスし、お気に入りに登録してください。	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】 ファイルとフォルダの操作に習熟する	25分
第4回	ワープロの基礎 パーベキューイラスト ひまわり	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第5回	レポートの作成 ・携帯電話.docx ・普及率と利用実態.xlsx	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】 文書の作成を完了する	25分
第6回	レポートの作成	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】 ワープロの課題を完成させる	25分
第7回	フィールドワーク.docx フィールドワーク資料.xlsx onizuka.jpg	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第8回	表計算の基礎	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第9回	表の作成 成績表.xlsx	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】 練習問題の回答を作成する	25分
第10回	グラフ・図形の作成	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】 表計算の課題を完成させる	25分

第11回	プレゼンテーションの基礎	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第12回	プレゼンテーションの作成	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】基本的なプレゼンテーションを作成する	25分
第13回	図表およびアニメーションを利用したプレゼンテーション 表計算 応用問題 P.76 ポーリング大会.xlsx	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】プレゼンテーション課題を完成させる	25分
第14回	プレゼンテーション 資料 学園祭メモ.txt タイムスケジュール.xlsx クローバー祭発表メモ.txt	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第15回	情報モラル 加害者にならないために	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】情報セキュリティ・モラルについて、レポートを作成する	25分

授業科目名	コミュニケーション論			科目コード	W511-40				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	小平 達夫					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	コミュニケーション技術I、コミュニケーション技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	生活支援の入り口は、自身と対象者の関係作りから始まる。本講義では、関係作りのため必須であるコミュニケーションの基礎について知識と理解を深め、個別・具体的な「コミュニケーション技術」を学ぶための基礎を固める。								
学習目標	介護実践するために、人間の理解や他者への情報の伝達に必要な「基礎的コミュニケーション能力」を習得するとともに、人間関係の形成やコミュニケーションの基礎理解を目指します。								
キーワード	コミュニケーション、自己覚知、理解、共感、認知世界								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会 新・介護福祉士養成講座 「人間の理解」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人間関係の形成のために、人間理解のための認知世界や自己覚知などの理解と、さまざまな視点から見た人間関係や、コミュニケーションの定義・環境・技法の知識を有する。								
LO-2	自らにかかるストレスに対し、適切な対応をとってバーンアウトを避ける技能を有する。								
LO-3	認知世界の違いを考慮してコミュニケーションに反映する判断力を有する。								
LO-4									
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている。また、円滑なコミュニケーションの取り方の基本を身につけ、他者と協調、協働して行動することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	20	30			10			100
LO-1	40								40
LO-2		20							20
LO-3			30						30
LO-4									
LO-5						10			10
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	人間関係の形成 関係づくりのための人間理解(1) 個々人の認知世界	
	【予習】本シラバスを読み、授業の目的を理解すること。教科書 第3章第1節の1を読んでおくこと	90分
	【復習】身の回りで、認知世界のずれが原因で起こったできごとを列挙し、分析する	90分
第2回	人間関係の形成 関係づくりのための人間理解(2) 主体的な生き方と人生の主人公としての個人	
	【予習】教科書 第3章第1節の2を読んでおくこと	90分
	【復習】マズローの欲求5段階節について調べる	90分
第3回	人間関係の形成 関係作りのための人間理解(3) ストレスを理解する	
	【予習】教科書 第3章第1節の3を読んでおくこと	90分
	【復習】ストレス管理のため、自分に不足しているものはないか、あるいはよりよくコントロールするための改善点を検討してみる	90分
第4回	人間関係の形成 関係作りのための人間理解(4) 援助対象者のとらえ方 人間関係の形成 人間関係のさまざまな広がり	
	【予習】教科書 第3章第1節の4を読んでおくこと	90分
	【復習】映画や小説・マンガなどで、認知症高齢者の認知のずれがどのように描かれているか調べてみる	90分
第5回	人間関係の形成 発達と人間関係(1) 成人期の人間関係・家族と人間関係	
	【予習】教科書 P106～110 をよく読んでおく	90分
	【復習】教科書 第3章の演習 1・2 についてレポートを作成する	90分
第6回	人間関係の形成 発達と人間関係(2) 家族と人間関係・エコロジカルな視点・集団力学から見た人間関係	
	【予習】教科書 第3章第2節の1を予習しておくこと	90分
	【復習】教科書 第3章の演習3の半生録をつくる	90分
第7回	人間関係の形成 介護職と対人関係	
	【予習】教科書 第3章第2節の2を予習しておくこと	90分
	【復習】教科書 第3章の演習4のファミリーマップをつくる	90分
第8回	コミュニケーションの基礎 コミュニケーションとは	
	【予習】教科書 第3章第2節の3・4を予習しておくこと	90分
	【復習】教科書 第3章の演習5のエコマップをつくる	90分
第9回	コミュニケーションの基礎 コミュニケーションの目的と方法(1)	
	【予習】教科書 第3章第2節の5を予習しておくこと	90分
	【復習】バーンアウトを避けるため、自分に不足しているものはないか、あるいはよりよくコントロールするための改善点を検討する	90分
第10回	コミュニケーションの基礎 コミュニケーションの目的と方法(2)	
	【予習】教科書 第3章の演習3～5をバーンアウト防止の観点も交えて再検討し、仕上げをする	60分
	【復習】半生録・ファミリーマップ・エコマップを使って、自分心を取りまく人間関係について分析する	120分

第11回	コミュニケーションの基礎 コミュニケーションを促す環境	
	【予習】教科書 第3章第3節の1・2を予習しておくこと	90分
	【復習】敬語の使い方について調べ、自分の敬語の使い方にまちがいがいかチェックする	90分
第12回	コミュニケーションの技法と実際 コミュニケーション技法を知る カウンセリングの技術	
	【予習】教科書 第3章第3節の3・4を予習しておくこと	90分
	【復習】教科書 第3章の演習8の「利用者へのアプローチ」を複数考える。	90分
第13回	コミュニケーションの技法と実際 生活場面面接の技術	
	【予習】教科書 第3章第4節の1・2を予習しておくこと	90分
	【復習】カウンセリングの技法について理解すること	60分
第14回	コミュニケーションの技法と実際 動作法	
	【予習】教科書 第3章第4節の2・3を予習しておくこと	90分
	【復習】生活場面面接の技法について理解すること	60分
第15回	コミュニケーションの技法と実際 理解力と表現力 コミュニケーション技法を活かす振り返り	
	【予習】これまで学習してきた内容でわからない箇所、理解不足の箇所を把握すること	60分
	【復習】これまで学習してきた内容をすべて復習し、定期試験に備えること	180分

授業科目名	ボランティア演習			科目コード	W511-50				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	関 好博					
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	地域福祉論 、					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目(選択)								
授業の概要	テキストを毎回1章ごと進めていながら、解説の後に演習をおこない、学習を深められるようにしていきます。演習では全員に意見や考えの発表を求めます。学校休業日におけるボランティア体験を、Web「ボランティア手帳」を活用し、前期末試験の最終日まで3回以上を努力目標として課します。								
学習目標	ボランティア全般について学ぶとともに、ボランティア体験学習を通じて市民としての生き方について考え、現代社会の問題解決力と社会を見つめる感性を高めることをねらいとします。								
キーワード	ボランティアコーディネーター、企業の社会貢献活動、災害救援ボランティア、福祉教育、施設ボランティア								
テキスト・ 参考書等	小倉常明他編 「いちばんはじめのボランティア」樹村房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	ボランティア活動の理念や法制度、社会の変化とこれまでの動き、そしてこれからのあり方などを理解するとともに、関係機関の働きや私たちがなすべきことなどについて、理解することができる。								
LO-2	演習課題での意見発表を、誠実におこなうことができる。								
LO-3	与えられた演習課題について積極的に取り組み、テーマに基づいた自分なりの解答を導きだすことができる。								
LO-4	受講カードにその日の授業内容を正しくふり返ることができている。与えられた課題に対し、前向きに取り組んでいる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			90		10				100
LO-1			45						45
LO-2					10				10
LO-3			45						45
LO-4									
LO-5									
備考	LO-1のレポートは、期末試験に替えて授業での学びを4回分、所定の様式で提出してもらうものです。LO-3のレポートは、期末レポートに合わせてボランティア体験3回分の感想を出してもらうものです。LO-3の成果発表は、授業での演習に対する取り組みと発表に対する評価です。LO-4は毎回の受講カードに対する評価です。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ボランティア活動の定義や特徴・性格などについて正しく理解する。	
	【予習】テキスト第1章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】ボランティアという言葉の意味や関連用語の意味との違いを説明できるようにまとめる。	90分
第2回	ボランティア活動の理念について理解する。	
	【予習】テキスト第1章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】ボランティア手帳で最近のボランティア活動の傾向を調べてみる。	90分
第3回	ボランティア活動の法と制度について理解する。	
	【予習】テキスト第3章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】赤い羽根共同募金のホームページやその他の募金活動のホームページを探し、それぞれの趣旨や目的などを把握しておく。	90分
第4回	障害者スポーツ大会の事前説明	
	【予習】プログラムを読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】障害者スポーツについて調べておく。	90分
第5回	障害者スポーツ大会での補助役員	
	【予習】役割分担に目を通してくる。	90分
	【復習】障害のあるスリートとの交流を振り返る。	90分
第6回	富山県障害者スポーツ大会の補助役員	
	【予習】事前研修で配布のあった資料を熟読し、当日の動きを把握しておく。	90分
	【復習】自分の役割をまとめておく。	90分
第7回	富山県障害者スポーツ大会の運営補助スタッフとしての参加(2)	
	【予習】事前研修で配布のあった資料を熟読し、当日の動きを把握しておく。	90分
	【復習】参加者と積極的に交流できたか振り返りながら、感想をまとめておく。	90分
第8回	特定非営利活動促進法、NPO法人、赤い羽根共同募金、社協とボランティアセンター、ボランティア保険、ボランティア表彰制度について学ぶ。	
	【予習】県内のNPO法人についてインターネットで調べてくる。	90分
	【復習】ボランティアを取り巻く制度や組織に対して理解を深める。	90分
第9回	ボランティア活動の担い手について理解する。	
	【予習】テキスト第5章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】地元や県の社会福祉協議会、さらには県民ボランティア総合支援センターのホームページで、どのような団体がどのような目的で活動しているかを把握する。	90分
第10回	福祉施設とボランティア活動との関わりについて理解する。	
	【予習】テキスト第7章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】施設にボランティアに行った際には、どのような職員が担当し、どのような受入がなされ、ほかにどんな活動を受け入れているかなどをできるだけ見てくる。	90分

第11回	献血とボランティア活動との関わりについて理解する。	
	【予習】 Webボラ手帳の献血ルームのコミュニティを読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】 献血の意義を思い返し、ボランティアとしての意味づけを試みる。	90分
第12回	災害支援とボランティア活動との関わりについて理解する。	
	【予習】 テキスト第9章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】 東日本大震災や阪神淡路大震災など、これまでの災害救援ボランティア活動の様子を、本やインターネットで確認しておく。	90分
第13回	企業の地域貢献とボランティア活動との関わりについて理解する。	
	【予習】 テキスト第10章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】 インターネット検索で、どんな企業がどのような社会貢献活動に取り組んでいるかを各自で調べる。	90分
第14回	地域社会とボランティア活動の関わりについて理解する。	
	【予習】 テキスト第6章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】 地元の社会福祉協議会が取り組んでいる小地域福祉活動（ふれあいいきいきサロンほか）について、社協の広報誌やホームページで調べておく。	90分
第15回	ボランティアコーディネーターとボランティアの関わりについて理解する。	
	【予習】 テキスト第13章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】 日本ボランティアコーディネーター協会のホームページを参照し、ボランティアコーディネーターに求められることについて思いを深める。	90分

授業科目名	人間の尊厳と自立			科目コード	W511-60				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	盛永 審一郎					
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	コミュニケーション論、生活と社会		後継科目	なし					
関連科目	社会保障								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	「人間」の理解を基礎として、人間としての尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について理解し、介護場面における倫理的課題について対応できるための基礎を学びます。								
学習目標	1. 人間の尊厳と自立の意味と意義を理解する。 2. 人権の歴史や基本的人権の概念を理解する。 3. 多様な価値観・人生観を理解し、寛容の精神を培う。 4. 介護場面における倫理的課題を理解する。								
キーワード	人間の尊厳、基本的人権、自立・自律、倫理、権利擁護								
テキスト・ 参考書等	白澤政数編 介護福祉士養成テキストブック1 『人間の尊厳と自立』 ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人間の尊厳、自立、人権の概念の歴史、意味、意義に関する知識を有する。								
LO-2									
LO-3	人間の多様な価値観、文化を理解し、寛容の精神を培い、介護場面における倫理的課題を解決できる判断力を有する。								
LO-4	様々な人権問題に関心をもち、積極的に授業に臨む姿勢を有する。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って行動するケアリングの姿勢を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		50	30			20			100
LO-1		50							50
LO-2									
LO-3			30						30
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他 A については、ビデオを視聴しての感想、グループワークでの活動などに点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	本講義におけるガイダンス、評価の説明。 2016年7月に起こった相模原障害者殺傷事件の問題点は何かを考える。虐待。	
	【予習】相模原殺傷事件や虐待について、インターネットなどのメディアを駆使して調べてくる。テキストの24～27頁を読んでくる。	90分
	【復習】P22～3のタスキギ 事件の問題点は何かを考える。また歴史において似た事例はないかを捜す。	90分
第2回	ナチスドイツのT4計画や日本の731部隊の人体実験を通して「人間の尊厳」の侵害について学ぶ。	
	【予習】T4計画や731部隊の人体実験について、インターネットなどのメディアを駆使して調べてくる。	90分
	【復習】P.45～49の身体拘束の問題について考える。	90分
第3回	介護福祉士とクライアントの関係について学ぶ。(テキスト・人間の尊厳と自立 「第1章 人間に対する価値観」P1～21)。	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる。分からない語句は調べてくる。高齢者福祉の3大原則とは何か、インフォームドコンセント、セルフケアの概念について調べる。	90分
	【復習】P21の練習課題1, 2, 3について考える。	90分
第4回	尊厳の保持の例として身体拘束のことを学ぶ。(テキスト・人間の尊厳と自立 第2章人間の尊厳の保持、1人間の尊厳、P24～27)。	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる。分からない語句は調べてくる。ケーススタディ(P45)を読んで、問題点は何か、どうすればよいのだろうか考えてくる。特に「身体拘束」について、厚生労働省のホームページを必ず参照しておくこと。	90分
	【復習】P50の演習問題2について考える。	90分
第5回	1970年代にアメリカで誕生した超学際的学問であるバイオエシックスの基本的考え方を学ぶ。(テキスト・人間の尊厳と自立 第2章人間の尊厳2生命倫理の4原則その1 1自律尊重原則、2善行原則、P28～31)。	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる。分からない語句は調べてくる。近代第一の哲学者カントについて調べてみる。	90分
	【復習】P50の演習問題1について考える。	90分
第6回	バイオエシックスの基本的考え方を学ぶ(続)。(テキスト・人間の尊厳と自立 第2章人間の尊厳の保持、2生命倫理の4原則その1 3無危害原則、4公正・平等原則、P31～33)。	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる。分からない語句は調べてくる。	60分
	【復習】トリアージについて、公正・平等原則を用いて各自考える。	90分
第7回	徳倫理とケアリング、パーソンセンタードケアの概念について学ぶ。(テキスト・人間の尊厳と自立 第2章人間の尊厳の保持、3徳倫理、4尊厳と「自律」・「自立」、P34～36)。	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる。分からない語句は調べてくる。自律と自立の相違について考えてみる。パーソンセンタードケアとは何か調べてくる。	90分
	【復習】P50の演習問題3について考える。	90分
第8回	判断能力がない依頼者の場合の家族の代理判断について学ぶ。(テキスト・人間の尊厳と自立 第2章人間の尊厳の保持 5 SOLとQOL,6日常ケアにおける尊厳、7尊厳を保持するために、8ケーススタディ、P37～51)。	
	【予習】P45のケーススタディについて読み、バイオエシックスの4原則を当てはめて、考えてみる。SOLとQOLの違いについて考える。胃ろうについて調べてくる。	90分
	【復習】終末期医療について、各自尊厳の保持を念頭に、考えてみる。	90分
第9回	専門職とは何か、倫理綱領がなぜあるのか、そして倫理綱領の意味を考える。(テキスト・人間の尊厳と自立 第3章 介護福祉士の倫理と専門職規定、P52～67)。	
	【予習】テキストの該当箇所をよく読んでくる。分からない語句は調べてくる。自分たちの職業に、なぜ倫理綱領があるのかを考える。	90分
	【復習】P64～65の演習課題について考える。	90分
第10回	高齢者の尊厳保持について学ぶ。(テキスト・人間の尊厳と自立 第4章尊厳保持への介護福祉士の対応、P68～89)。	
	【予習】テキストの該当箇所をよく読んでくる。分からない語句は調べてくる。高齢者、認知症などについて調べてくる。	90分
	【復習】P87の演習問題と取り組む。	90分

第11回	自立と自律の概念、および、「ノーマライゼーション」や「コミュニティアクティブ」「IL運動」の概念について学ぶ。(テキスト・人間の尊厳と自立 第5章自立の意味、P90～107)。	
	【予習】テキストの該当箇所をよく読んでくる。分からない語句は調べてくる。特に、「自律」と「自立」の違いについてもう一度確認する。「ノーマライゼーション」や「コミュニティアクティブ」「IL運動」の概念について予習する。	90分
	【復習】P107の演習問題と取り組む。	90分
第12回	自立支援の視点として、リハビリテーション、エンパワメントの概念について学ぶ。(テキスト・人間の尊厳と自立 第6章自立支援の視点と方法、P110～129)。	
	【予習】テキストの該当箇所をよく読んでくる。分からない語句は調べてくる。特に、リハビリテーション、エンパワメントの概念について、調べてくる。	90分
	【復習】P129の演習問題と取り組む。	90分
第13回	尊厳を維持した介護事例をターミナルケアの事例を通して考える。(テキスト・人間の尊厳と自立 第7章 尊厳を維持した介護事例、1 施設における尊厳ある看取りの実践、P132～144)。	
	【予習】テキストの該当箇所をよく読んでくる。分からない語句は調べてくる。終末期医療について調べてくる。	90分
	【復習】ターミナルケアの事例を通して、「人間の尊厳の保持」をもう一度各自で考える。	90分
第14回	認知症の人の尊厳を維持した介護事例について学ぶ。(テキスト・人間の尊厳と自立 第7章 尊厳を維持した介護事例 2認知症の人の尊厳を維持した介護、P145～154)。	
	【予習】テキストの該当箇所をよく読んでくる。分からない語句は調べておく。認知症のケースについてよく読んで考えておく。	90分
	【復習】第7章の事例のうち1例を選んで各自レポートを作成する。	120分
第15回	ALS患者の在宅ケアでの介護事例について学ぶ。ならびに基礎知識の確認テスト。(テキスト・人間の尊厳と自立 P155～169)。	
	【予習】テキストの該当箇所をよく読んでくる。分からない語句は調べておく。これまで学んだ重要な概念について復習しておく。	120分
	【復習】自立を支援する介護事例を通して、その人らしさを大切にするケアとはなにかまとめる。	90分

授業科目名	レクリエーション概論			科目コード	W511-70				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	岩上 厚子					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	特になし		後継科目	レクリエーション活動援助法					
関連科目									
資格等 取得との関連	レクリエーション・インストラクター指定科目								
授業の概要	・レクリエーション支援の目的と、それを達成するための方法の裏付けとなる人の心の仕組みを学びます。								
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション支援者の役割は、対象者がレクリエーション活動を楽しむことを通して心を元気にできるようにすることであると理解する。 ・対象者のライフステージに即した心の元気づくりを理解する。また、レクリエーション活動を実施することで地域のきずなづくりに貢献できることを理解する。 ・信頼関係が構築される人の心の仕組みについて理解する。 								
キーワード	マズローの5段階欲求説 フロー理論 ハードル設定 ライフステージ								
テキスト・ 参考書等	「楽しさとおした心の元気づくり」 公益財団法人 日本レクリエーション協会								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	レクリエーション支援の仕方、支援者としての姿勢を理解し、自分がどんな支援者になるのかという見通しが持てるようになること。								
LO-2									
LO-3	社会的課題から、楽しさと心の元気づくりに関するレクリエーション支援のあり方を考察することができること。								
LO-4	心身を元気にするレクリエーション支援の社会的役割に関心を持つことができること。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		20			20			100
LO-1	30								30
LO-2									
LO-3	30					20			50
LO-4			20						20
LO-5									
備考	主に講義形式で行いますが、グループワークも取り入れていきます。能動的な態度で臨みましょう。Aはグループワークへの取り組み度です。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	・オリエンテーション ・レクリエーションを学ぶにあたって ・アイスブレイキングの体験	
	【予習】レクリエーションのイメージをまとめておく。	30分
	【復習】「レクリエーション」の言葉の整理をする。	30分
第2回	第1章 レクリエーション概論 ・レクリエーション支援の理解 ・レクリエーション・インストラクターの役割	
	【予習】教科書10ページから17ページを読む	60分
	【復習】	0分
第3回	第2章 楽しさと心の元気づくりの理論 ・レクリエーション活動の楽しさを通じた心の元気づくりの理解	
	【予習】フロア理論、マズローの5段階欲求説について調べる	90分
	【復習】	0分
第4回	第2章 楽しさと心の元気づくりの理論 ・対象者の心の元気づくりの理解	
	【予習】	0分
	【復習】障がいのある人への配慮を整理する	60分
第5回	第2章 楽しさと心の元気づくりの理論 ・心の元気と地域のきずなづくり	
	【予習】公民館や児童館などのチラシからどんな事業が行われているか調べる。	90分
	【復習】全国のレクリエーション協会のHPから地域のきずなづくりに関連する事業を調べる。	90分
第6回	第3章 レクリエーション支援の理論 ・信頼関係づくりの理論	
	【予習】	0分
	【復習】授業で体験したGWTの感想をまとめる。	60分
第7回	第3章 レクリエーション支援の理論 良好な集団づくりの理論	
	【予習】自分が感じた居心地のいい集団、悪い集団の体験談をまとめる。	60分
	【復習】	0分
第8回	第3章 レクリエーション支援の理論 ・自主的、主体的にレクリエーション活動を楽しむ力を育む理論	
	【予習】	0分
	【復習】地域やレクリエーション協会が主催する行事に参加する。	120分
第9回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	レクリエーション活動援助法			科目コード	W511-71				
科目区分	教養科目 - 人間と社会	担当教員名	岩上 厚子						
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	レクリエーション概論	後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連	レクリエーション・インストラクター指定科目								
授業の概要	福祉分野において実際に援助者になった場合を想定し、具体的な援助技術の習得を目指します。単発的なレクリエーション財の獲得のみを目的とするのではなく、企画、立案の方法、財の選択・アレンジ・提供の方法などを演習と講義を組み合わせで行います。								
学習目標	個人や集団とのコミュニケーション能力、集団の中でのコミュニケーション促進方法を身につけ、アクティビティの選択方法、展開方法、相互作用の引き出し方と活用方法について学習し、対象者に合わせたレクリエーション財をアレンジできるようになること。								
キーワード	コミュニケーション、アイスブレイキング、ホスピタリティトレーニング、CSSプロセス、A-PIEプロセス								
テキスト・ 参考書等	「楽しさをおとした心の元気づくり」公益財団法人 日本レクリエーション協会								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	CSSプロセスの重要性を理解し、反応の捉え方、伝え方などの技法を身に付けていること。								
LO-2	A-PIEプロセスの手順を理解し支援計画を立てることができること。								
LO-3	実際にアレンジした素材・アクティビティを展開する際に、相互作用の活用方法等目的にあわせたレクリエーション・ワークを活用できること。								
LO-4									
LO-5	対象者との良好なコミュニケーションに不可欠な支援者の姿勢・態度・行動について理解し、対象者との良好な関係づくりや集団の雰囲気作りができること。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20		80				100
LO-1					30				30
LO-2			20						20
LO-3					30				30
LO-4									
LO-5					20				20
備考	授業で体験できるレク財は限られています。積極的に現場実習に出かけ理論と実技を基にした「展開法」を学びましょう。詳細は、掲示板のポスターなどでお知らせします。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	レクリエーション支援の方法 ・ホスピタリティの体験的理解 (ホスピタリティ1)	
	【予習】テキスト55ページ～65ページをよく読んでおく。	60分
	【復習】	0分
第2回	レクリエーション支援の方法 ・ホスピタリティの習得 (ホスピタリティ2)	
	【予習】	0分
	【復習】「ゲームでホスピタリティ」を体験してみて気づきをまとめる。	60分
第3回	レクリエーション支援の方法 ・アイスブレイキング・モデルの体験 (アイスブレイキング1)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	レクリエーション支援の方法 ・アイスブレイキングの効果を高める支援技術の習得 (アイスブレイキング2)	
	【予習】	0分
	【復習】アイスブレイキングの展開法を具体的に書き出す。	60分
第5回	レクリエーション支援の方法 ハードル設定の習得 (身近な素材を使ったカードづくり)	
	【予習】日頃からカードづくりに必要な素材を収集しておく。	90分
	【復習】	0分
第6回	レクリエーション支援の方法 CSSプロセスの習得 (身近な素材を使ったカードづくり)	
	【予習】	0分
	【復習】カードの使い方、アレンジ法をまとめる。	30分
第7回	レクリエーション支援の方法 アレンジ法の習得 地域づくりと回想法	
	【予習】インターネットなどで回想法について調べる。	60分
	【復習】	0分
第8回	レクリエーション支援の方法 自主的、主体的に楽しむ力を育むレクリエーション活動の展開法の総合演習) ジャンボすごろくの作成	
	【予習】ジャンボすごろくづくりの準備 (テーマを決める)	30分
	【復習】	0分
第9回	レクリエーション支援の方法 自主的、主体的に楽しむ力を育むレクリエーション活動の展開法の総合演習) ジャンボすごろくの作成	
	【予習】ジャンボすごろくの仕上げ	30分
	【復習】ハードル設定、CSSプロセスのキーワードをまとめる。	60分
第10回	レクリエーション活動の習得 モデル・プログラムの習得 「健康体操」	
	【予習】高齢者のなじみの歌を調べる	30分
	【復習】健康体操の復習	30分

第11回	レクリエーション活動の習得 モデル・プログラムの習得 「クラフト」	
	【予習】	0分
	【復習】地域のレクリエーション行事やレクリエーション協会の事業に参加する。	120分
第12回	レクリエーション活動の習得 モデル・プログラムの習得 「生涯スポーツ」	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	支援演習 A-PIEプロセスに沿った支援計画	
	【予習】A-PIEプロセスについて調べる。	60分
	【復習】	0分
第14回	支援演習 「健康体操」（ケアピクスの理論に沿った支援）	
	【予習】	0分
	【復習】健康体操の復習（試験に向けて、キューイングを書き出す）	120分
第15回	まとめ・試験	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	運動と健康			科目コード	W531-10				
科目区分	教養科目 - 健康 - 健康とスポーツ		担当教員名	立島 真					
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	健康スポーツ								
資格等 取得との関連									
授業の概要	生活環境の変化にともなって、生活習慣病の増加・体力の低下等が注目されるようになった現代社会において、特に運動不足に起因する運動不足病、また超高齢化社会の到来により生じる新たな課題への対応について、運動と健康面から生活のあり方を考える。								
学習目標	現代社会の特徴を健康面から考えるとともに、健康で豊かな生活を築き上げるために、運動がもつ意義や役割について理解する。								
キーワード	健康、運動、体力、生活習慣病、運動処方								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	現代社会の特徴を捉え、健康・体力づくりや生活習慣病の予防に対する運動の必要性を理解している。								
LO-2	生涯にわたり健康・体力を自己管理することの大切さを理解し、健康管理に関して考察することができる。								
LO-3	健康や体力に関する諸課題を発見し、考察することができる。								
LO-4	各自の健康や体力に関心をもち、学習活動に積極的に参加することができる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		40	60						100
LO-1		40							40
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、健康と体力の概念と定義	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	20分
	【復習】授業の評価方法を理解する。健康と体力の概念を理解し確認する。	30分
第2回	平均寿命の推移と健康寿命	
	【予習】寿命の変化について調べる。	30分
	【復習】平均寿命の推移と健康寿命の現状について確認する。	20分
第3回	疾病傾向からみた現代生活と健康・体力の状況	
	【予習】高度経済成長以前と以後のライフスタイルの変化について調べる。	30分
	【復習】国内の疾病の現状を理解する。	20分
第4回	体力の推移、スポーツ記録	
	【予習】スポーツ記録について調べる。	30分
	【復習】行動体力について理解を深める。	20分
第5回	健康を目的とした体力づくり	
	【予習】トレーニングの基本原則について調べる。	30分
	【復習】健康のために必要な運動処方を確認する。	20分
第6回	現代社会とスポーツ、オリンピックの歴史	
	【予習】近代オリンピックについて調べる。	30分
	【復習】オリンピックの歴史を確認する。課題の作成。	120分
第7回	これからの健康	
	【予習】予防医学について調べる。	30分
	【復習】自分の健康管理について理解する。	20分
第8回	高齢者の運動処方 課題レポート作成	
	【予習】これまでの講義を踏まえ、興味・関心のある課題を考える。	30分
	【復習】期末課題のレポートを作成する。	240分

授業科目名	健康スポーツ（バドミントン）			科目コード	W531-11				
科目区分	教養科目 - 健康 - 健康とスポーツ		担当教員名	立島 真					
開講時期	1年前期		授業の方法	実技					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	運動と健康 健康スポーツ ・ (ゴルフ、スノースポーツコース)								
資格等 取得との関連									
授業の概要	基本ストローク（サービス、クリアー、ヘアピン、ドライブ、ドロップショット、スマッシュ）の技術の向上を図るとともに、バドミントンのゲームを楽しめ、審判もできるといったレベルを目指します。これまでの運動経験から受講生の技術に差があると予想されますが、レベル別のグルーピングや課題を設ける予定です。スポーツが苦手な人でも実践の中で大切な役割があるものです。お互いのレベルを認め合い、「皆で楽しむ」ことをテーマに工夫する能力も養いたいと思います。								
学習目標	生涯スポーツに結びつくようなスポーツの実践を通して、そのスポーツの技術特性、練習方法、身体への影響を理解するとともに、健康の維持・増進や体力・運動技術の向上を図り、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技術を高めます。								
キーワード	生涯スポーツ、バドミントン								
テキスト・ 参考書等	特に使用しない								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	バドミントンのルールや審判法を理解し、一人でゲームを進行できる。バドミントンの歴史やルールについてレポートできる。								
LO-2	バドミントンの基本ストローク（サービス、クリアー、ヘアピン、ドライブ、ドロップショット、スマッシュ）が一通りできる。								
LO-3	自らの基本ストロークの技能レベルを分析し、ゲームやラリー、ペアとのコンビネーションなど状況に応じた対応ができる。								
LO-4	健康の維持・増進や体力の向上に関心が高く、バドミントンに必要な技術の獲得に意欲的に取り組むことができる。安全やマナーに留意して練習・ゲーム等を行う態度がみられる。備品や用具の整理・整頓に協力的である。								
LO-5	グループ活動において人の気持ちを思いやり共感しながら活動できる。仲間と協調し安全で楽しい活動に取組める。バドミントンに必要な技術を教え、教わるなど仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			10			90			100
LO-1			10			10			20
LO-2						30			30
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						10			10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、シラバスの説明、健康状況調査、班編成、ストレッチ、トレーニング、ラケット・シャトルの扱い	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	30分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する。	30分
第2回	基本ストローク（サービス、クリアー、ヘアピン、ドライブ、ドロップショット、スマッシュ）	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間のトレーニングを計画する。	30分
	【復習】	0分
第3回	基本ストローク半コートシングルスゲーム	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第4回	ダブルスゲームと審判方法	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第5回	チーム対抗団体戦（ダブルス）	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第6回	チーム対抗団体戦（ダブルス）	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第7回	チーム対抗団体戦（ダブルス）	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第8回	チーム対抗団体戦（ダブルス）	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第9回	チーム対抗団体戦（ダブルス）	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第10回	シングルのゲームとレベル別班編成	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分

第11回	レベル別班編成とダブルスゲーム	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第12回	レベル別班編成とダブルスゲーム	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第13回	レベル別班編成とダブルスゲーム	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第14回	レベル別班編成とダブルスゲーム	
	【予習】バドミントンの歴史やルールに関するレポートを作成する。	60分
	【復習】バドミントンの歴史やルールに関するレポートを作成する。	60分
第15回	レベル別班編成とダブルスゲーム	
	【予習】バドミントンの歴史やルールに関するレポートを作成する。	60分
	【復習】バドミントンの歴史やルールに関するレポートを授業時に提出する。	0分

授業科目名	健康スポーツ（ゴルフ）			科目コード	W531-11				
科目区分	教養科目 - 健康 - 健康とスポーツ		担当教員名	立島 真 大門 信吾					
開講時期	1年前期		授業の方法	実技					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	健康（テニス）健康スポーツ ・（スノースポーツコース） 運動と健康								
資格等 取得との関連									
授業の概要	ゴルフに関心のある学生を対象とし、基礎レッスン、ルール、マナーの講義や実習を通して、生涯スポーツとしてゴルフを楽しめるための基礎的能力を養います。授業は主に学外のゴルフ練習場で行い、移動の際は原則大学のバスを利用します。まとめとしてゴルフコースでのラウンド実習を行う予定です。授業経費8,000円程度は自己負担となります。								
学習目標	生涯スポーツに結びつくようなスポーツの実践を通して、そのスポーツの技術特性、練習方法、身体への影響を理解するとともに、健康の維持・増進や体力・運動技術の向上を図り、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技術を高めます。								
キーワード	生涯スポーツ、集中授業、ゴルフ								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	コースのラウンドを進行するためのルールやマナーを理解している。								
LO-2	ショートアイアンでの基本的ショットができる。								
LO-3	自らのスイングを分析し、用意されたクラブを一通り使うことができる。								
LO-4	ゴルフに必要な技術の獲得に意欲的に取り組むことができる。安全やマナーに留意してレッスンを行う態度がみられる。備品や用具の整理・整頓に協力的である。								
LO-5	レッスンやコースラウンドにおいて人の気持ちを思いやり共感しながら活動できる。仲間と協調し、安全で楽しい活動に取り組める。ゴルフに必要な技術を教え、教わるなど仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、シラバスの説明、健康状況調査（学内教室）	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	30分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する。	30分
第2回	スイング理論とショートアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】レッスン内容について確認する。	30分
第3回	スイング理論とショートアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第4回	スイング理論とショートアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第5回	スイング理論とミドルアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第6回	スイング理論とミドルアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第7回	スイング理論とウッドクラブのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第8回	スイング理論とウッドクラブのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第9回	スイング理論と総合レッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第10回	スイング理論と総合レッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×実習までの10日間） レッスン内容について確認する。	130分

第11回	ゴルフのマナーとルール、安全上の注意とラウンド予定（学内教室）	
	【予習】ゴルフのルール、マナーについて確認する	40分
	【復習】	0分
第12回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】	0分
第13回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】スコアカードの提出とともに、初ラウンドを振り返る。用具を確認し、返却する。	60分

授業科目名	健康スポーツ（スノースポーツ）			科目コード	W531-11				
科目区分	教養科目 - 健康 - 健康とスポーツ		担当教員名	立島 真 大門 信吾					
開講時期	1年後期		授業の方法	実技					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	健康スポーツ ・ (ゴルフコース) 健康スポーツ ・ (スノースポーツコース) 運動と健康								
資格等 取得との関連									
授業の概要	スノースポーツに関心のある学生を対象として、スキー・スノーボードの基礎レッスンや講義を通して、生涯スポーツとしてスノースポーツを楽しめるための基礎的能力を養います。授業は二泊三日の集中授業で長野県・梅池高原スキー場で行います。授業に関わる経費20,000円程度(宿泊費・食費・交通費)とレンタル料、リフト代は自己負担となります。								
学習目標	生涯スポーツに結びつくようなスポーツの実践を通して、そのスポーツの技術特性、練習方法、身体への影響を理解するとともに、健康の維持・増進や体力・運動技術の向上を図り、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技術を高めます。								
キーワード	生涯スポーツ スキー スノーボード 集中授業								
テキスト・ 参考書等	特に使用しない								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	用具の安全管理やゲレンデにおけるマナーを理解している。								
LO-2	滑降に関する基本的な技能ができる。								
LO-3	自らの実習中に獲得した技能を分析し、滑降や斜面に応用して安全で楽しい滑降ができる。								
LO-4	スノースポーツに必要な技術の獲得、安全性やマナーなどに意欲的に取り組むことができる。								
LO-5	グループ活動において、人の気持ちを思いやり仲間と協調して活動に取り組める。スノースポーツに必要な技術を教え、教わるなど仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、実習の説明、健康状況調査、事前トレーニングについて	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	30分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する。	30分
第2回	滑走能力と班編成(講義)	
	【予習】2泊3日の実習に備えて事前トレーニングを行う。(スキー場での事前滑降を推奨する)	240分
	【復習】	0分
第3回	スキー場の危険性とマナー、装備や用具の重要性について(講義)	
	【予習】	0分
	【復習】レンタル用具及び自分の用具・装備を確認する。	60分
第4回	開校式、 班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】	0分
第5回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】班別ミーティングにおいて、レッスン内容や翌日の予定、怪我・体調管理を確認する。	30分
第6回	「楽しく安全なスノースポーツ」(講義)	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】講義内容を再確認する。	20分
第7回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第8回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第9回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第10回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】班別ミーティングにおいて、レッスン内容や翌日の予定、怪我・体調管理を確認する。	30分

第11回	「楽しく安全なスノースポーツ」(講義)	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】講義内容を再確認する。	20分
第12回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第13回	班別での総合滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第14回	班別での総合滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第15回	班別での総合滑降、閉講式	
	【予習】	0分
	【復習】レンタル用具やヘルメット、ゼッケンなどを確認し、返却する。	60分

授業科目名	健康スポーツ（ゴルフ）			科目コード	W531-12				
科目区分	教養科目 - 健康 - 健康とスポーツ		担当教員名	立島 真 大門 信吾					
開講時期	1年前期		授業の方法	実技					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	健康（テニス）健康スポーツ ・（スノースポーツコース） 運動と健康								
資格等 取得との関連									
授業の概要	ゴルフに関心のある学生を対象とし、基礎レッスン、ルール、マナーの講義や実習を通して、生涯スポーツとしてゴルフを楽しめるための基礎的能力を養います。授業は主に学外のゴルフ練習場で行い、移動の際は原則大学のバスを利用します。まとめとしてゴルフコースでのラウンド実習を行う予定です。授業経費8,000円程度は自己負担となります。								
学習目標	生涯スポーツに結びつくようなスポーツの実践を通して、そのスポーツの技術特性、練習方法、身体への影響を理解するとともに、健康の維持・増進や体力・運動技術の向上を図り、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技術を高めます。								
キーワード	生涯スポーツ、集中授業、ゴルフ								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	コースのラウンドを進行するためのルールやマナーを理解している。								
LO-2	ショートアイアンでの基本的ショットができる。								
LO-3	自らのスイングを分析し、用意されたクラブを一通り使うことができる。								
LO-4	ゴルフに必要な技術の獲得に意欲的に取り組むことができる。安全やマナーに留意してレッスンを行う態度がみられる。備品や用具の整理・整頓に協力的である。								
LO-5	レッスンやコースラウンドにおいて人の気持ちを思いやり共感しながら活動できる。仲間と協調し、安全で楽しい活動に取り組める。ゴルフに必要な技術を教え、教わるなど仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、シラバスの説明、健康状況調査（学内教室）	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	30分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する。	30分
第2回	スイング理論とショートアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】レッスン内容について確認する。	30分
第3回	スイング理論とショートアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第4回	スイング理論とショートアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第5回	スイング理論とミドルアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第6回	スイング理論とミドルアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第7回	スイング理論とウッドクラブのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第8回	スイング理論とウッドクラブのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第9回	スイング理論と総合レッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第10回	スイング理論と総合レッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×実習までの10日間） レッスン内容について確認する。	130分

第11回	ゴルフのマナーとルール、安全上の注意とラウンド予定（学内教室）	
	【予習】ゴルフのルール、マナーについて確認する	40分
	【復習】	0分
第12回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】	0分
第13回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】スコアカードの提出とともに、初ラウンドを振り返る。用具を確認し、返却する。	60分

授業科目名	健康スポーツ（スノースポーツ）			科目コード	W531-12				
科目区分	教養科目 - 健康 - 健康とスポーツ		担当教員名	立島 真 大門 信吾					
開講時期	1年後期		授業の方法	実技					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	健康スポーツ ・ (ゴルフコース) 健康スポーツ ・ (スノースポーツコース) 運動と健康								
資格等 取得との関連									
授業の概要	スノースポーツに関心のある学生を対象として、スキー・スノーボードの基礎レッスンや講義を通して、生涯スポーツとしてスノースポーツを楽しめるための基礎的能力を養います。授業は二泊三日の集中授業で長野県・梅池高原スキー場で行います。授業に関わる経費20,000円程度(宿泊費・食費・交通費)とレンタル料、リフト代は自己負担となります。								
学習目標	生涯スポーツに結びつくようなスポーツの実践を通して、そのスポーツの技術特性、練習方法、身体への影響を理解するとともに、健康の維持・増進や体力・運動技術の向上を図り、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技術を高めます。								
キーワード	生涯スポーツ スキー スノーボード 集中授業								
テキスト・ 参考書等	特に使用しない								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	用具の安全管理やゲレンデにおけるマナーを理解している。								
LO-2	滑降に関する基本的な技能ができる。								
LO-3	自らの実習中に獲得した技能を分析し、滑降や斜面に応用して安全で楽しい滑降ができる。								
LO-4	スノースポーツに必要な技術の獲得、安全性やマナーなどに意欲的に取り組むことができる。								
LO-5	グループ活動において、人の気持ちを思いやり仲間と協調して活動に取り組める。スノースポーツに必要な技術を教え、教わるなど仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、実習の説明、健康状況調査、事前トレーニングについて	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	30分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する。	30分
第2回	滑走能力と班編成(講義)	
	【予習】2泊3日の実習に備えて事前トレーニングを行う。(スキー場での事前滑降を推奨する)	240分
	【復習】	0分
第3回	スキー場の危険性とマナー、装備や用具の重要性について(講義)	
	【予習】	0分
	【復習】レンタル用具及び自分の用具・装備を確認する。	60分
第4回	開校式、 班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】	0分
第5回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】班別ミーティングにおいて、レッスン内容や翌日の予定、怪我・体調管理を確認する。	30分
第6回	「楽しく安全なスノースポーツ」(講義)	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】講義内容を再確認する。	20分
第7回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第8回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第9回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第10回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】班別ミーティングにおいて、レッスン内容や翌日の予定、怪我・体調管理を確認する。	30分

第11回	「楽しく安全なスノースポーツ」(講義)	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】講義内容を再確認する。	20分
第12回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第13回	班別での総合滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第14回	班別での総合滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第15回	班別での総合滑降、閉講式	
	【予習】	0分
	【復習】レンタル用具やヘルメット、ゼッケンなどを確認し、返却する。	60分

授業科目名	英語			科目コード	W551-10				
科目区分	教養科目 - 外国語科目 - 英語		担当教員名	シェリー・スキャンラン 望月 健一					
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	なし。		後継科目	なし。					
関連科目	なし。								
資格等 取得との関連	なし。								
授業の概要	<p>望 月：英語の基本的な語彙と表現を学びます。主に福祉の分野のトピックを取り上げ、英語の読解力とコミュニケーション能力の向上をはかります。</p> <p>Scanlan：This class will help students communicate in both written and oral English. Each week students will focus on a different topic of everyday English. (この授業では、学生が英語の書き言葉・話し言葉でコミュニケーションをとることを支援します。毎週、日常生活の中の</p>								
学習目標	<p>望 月：総合的な英語力の向上を目指します。主に福祉の分野で使われる表現を学びます。</p> <p>Scanlan：Students will focus on developing vocabulary and grammar skills. (語彙と文法力を伸ばすことに重点を置きます。)</p>								
キーワード	英語の語彙 文法 コミュニケーション								
テキスト・ 参考書等	<p>望 月：プリント使用。</p> <p>Scanlan：Materials provided by teachers. (プリント使用。)</p>								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】英語の基本的な語彙と表現を修得している。また、日常生活や福祉の分野のトピックを通して、日本と外国の文化について理解している。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	【関心・意欲・態度】日常生活や福祉の分野のトピックに関心を持つことができる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	30	30				40			100
LO-1	30	30				20			80
LO-2									
LO-3									
LO-4						20			20
LO-5									
備考	<p>【成績評価方法】</p> <p>望 月：最終試験 約60%、授業への参加・予習状況 [その他、A] 約40%で評価します。 *試験については、採点后答案を返却し、解説を行います。</p> <p>Scanlan：Grades will be based on inclass work and homework [A] (40%) and a final test (60%). (教室内の活動・宿題 [その他、A] (40%) と最終試験 (60%) によって成績評価を行います。)</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Introduction: what do you do? (イントロダクション、あなたは、どんなことをしていますか?)	
	【予習】 None. (なし。)	0分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習をする。)	20分
第2回	What do you do? cont./pair interviews (あなたは、どんなことをしていますか?二人ずつペアになって、インタビューをする。)	
	【予習】 Work on the homework assigned in the last lesson. (前回の授業で出された宿題に取り組む。)	40分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson	20分
第3回	How often do you.....? (あなたは、・・・[週に]どれくらいやっていますか?)	
	【予習】 Work on the homework assigned in the last lesson	40分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson	20分
第4回	Talking about likes and dislikes (好きなこと、嫌いなことについて)	
	【予習】 Work on the homework assigned in the last lesson	40分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson	20分
第5回	Where were you? (以前は、どこで何をしていましたか?)	
	【予習】 Work on the homework assigned in the last lesson	40分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson	20分
第6回	Review and activities (復習、教室内の活動)	
	【予習】 Work on the homework assigned in the last lesson	40分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson	120分
第7回	Final test (最終試験)	
	【予習】 Preparation for final test (最終試験の準備)	120分
	【復習】 What do you do?, How often do you.....?, Likes and dislikes, Where were you? (あなたは、どんなことをしていますか?好きなこと、嫌いなことについて。以前は、どこで何をしていましたか?)	60分
第8回	実力診断テスト 資料：福祉の分野で使用される基本的な語彙・表現(1)：体の各部位の名称	
	【予習】 なし	0分
	【復習】 授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	20分
第9回	資料：Japan needs more nurses and care-workers (日本には、もっと多くの看護師と介護福祉士が必要である) 資料：A nurse is talking to a 75 year-old patient (看護師が75歳の患者に話しかける) 資料：英語のことわざ・引用句	
	【予習】 上記の会話文及びことわざ・引用句に出てくる単語・表現の意味・発音・用法等について英和辞典で調べておく。また、わからない点を質問のかたちにまとめておく。	40分
	【復習】 わからなかった単語、表現、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第10回	資料：福祉の分野で使用される基本的な語彙・表現(2)：老年期に関する表現 資料：Adult Diapers Outsell Baby Diapers (大人用のおむつの売り上げ、赤ちゃん用のおむつの売り上げを上回る)	
	【予習】 上記の語彙・表現の一覧表及び新聞記事に出てくる単語・表現の意味・発音・用法等について英和辞典で調べておく。また、わからない点を質問のかたちにまとめておく。	40分
	【復習】 わからなかった単語、表現、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分

第11回	資料 : Late Adulthood (1) (高齢者)	
	【予習】 上記のエッセイに出てくる単語・表現の意味・発音・用法等について英和辞典で調べておく。また、わからない点を質問のかたちにまとめておく。	40分
	【復習】 わからなかった単語、表現、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第12回	資料 : Late Adulthood (2) (高齢者)	
	【予習】 上記のエッセイに出てくる単語・表現の意味・発音・用法等について英和辞典で調べておく。また、わからない点を質問のかたちにまとめておく。	40分
	【復習】 わからなかった単語、表現、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第13回	資料 : Humanity (ヒューマンイティ) (1)	
	【予習】 上記の新聞記事に出てくる単語・表現の意味・発音・用法等について英和辞典で調べておく。また、わからない点を質問のかたちにまとめておく。	40分
	【復習】 わからなかった単語、表現、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第14回	資料 : Humanity (ヒューマンイティ) (2)	
	【予習】 上記の新聞記事に出てくる単語・表現の意味・発音・用法等について英和辞典で調べておく。また、わからない点を質問のかたちにまとめておく。	40分
	【復習】 わからなかった単語、表現、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第15回	資料 : Humanity (ヒューマンイティ) (3) 学習のまとめ・評価	
	【予習】 上記の新聞記事に出てくる単語・表現の意味・発音・用法等について英和辞典で調べておく。また、わからない点を質問のかたちにまとめておく。	0分
	【復習】 最終試験に向けて、第 8 - 14回の授業で扱った会話文、新聞記事、エッセイの復習を行う。	120分

授業科目名	教養演習			科目コード	W591-10				
科目区分	教養科目 - 教養演習		担当教員名	小平 達夫					
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	総合的研究								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格								
授業の概要	担当教員ごとに少人数を割り振ってのゼミクラス方式を取り入れての学習を進める。基礎的な学習をまず合同でおこなった後、グループに分かれてそれぞれの設けたテーマでの調査をおこない、その結果をもちよっての発表会を開催する。								
学習目標	学生の自発的・主体的な学習意欲の喚起と、教員やクラスメイトとの交流によるチームワークづくり、さらには短大生として求められる基礎的な国語能力の修得など。								
キーワード	導入教育								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	大学生としての基礎的な国語能力と調査に関する知識を習得している。								
LO-2	読み書きや聴き話し、さらには人前での発表に関する力を修得している。								
LO-3	聴く、話すの両面において、その場にふさわしい態度で演習課題に取り組める。								
LO-4	学習意欲や向上心を持ち、自主的・主体的調査研究に必要な学習態度を身につける。								
LO-5	・身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			75			15	10		100
LO-1			15						15
LO-2						15			15
LO-3			30						30
LO-4			30						30
LO-5							10		10
備考	LO-5は担当教員による、発表会までの取り組み方での評価をもとにおこなう。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス（教養演習のテーマとねらい、過去の発表の様子など）、グループワーク（第一印象、自己紹介）	
	【予習】	0分
	【復習】入学したてでの第一印象と、やがて見えてくるその人らしさ。第一印象は、ややもするとその人にレッテルを貼ることもなりかねません。できるだけ、相手のいい面に目を向けていくように心がけてください。自己紹介のやり方がわかったと思うので、自分の型をもちながら今後の参考にしてみてください。	0分
第2回	演習「他者紹介」、次回の演習の説明（1分間スピーチ）	
	【予習】	0分
	【復習】1分間スピーチのポイントになぞらえて、例文を作成してみました。参考にしてみてください。特に配慮した点は、導入に「つかみ」を置いたところ。そして、一文を短くまとめたところです。一番いいことが終わりにあることにも、ぜひ気づいてください。皆さんも最低1分間しゃべれるように、準備をしてきてください。	0分
第3回	総合的研究の中間発表に向けてのガイダンス、「1分間スピーチ」の発表、次回からの班分けの説明	
	【予習】1分間スピーチを声に出して読んでみる。できれば、誰かに一度聞いてもらう。読みづらい、聞きづらいところがあれば、そこがうまく書けてないという証になる。文章を書くときには、前の分とのつながりをよく確認して書き進むこと。発表は、大きな声で前を向いておこなうこと、はきはきとしたしゃべりを意識すること。	0分
	【復習】	0分
第4回	班別活動：班長の選出、このあとの進め方の説明と新聞記事の冊子の配布、各自で興味を持った記事選び、不明な用語調べ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	前回選んだ新聞記事をもとに発表（記事の要約、選んだ理由など）、発表に対する意見交換、意見を反映させての修正と再発表	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	班別：グループ内で各自の興味関心あるテーマについて意見交換し、一人ひとり異なるテーマを決定させる。ワークシート配布予定。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	班別：グループでの調査テーマのを決めるために、グループ内で一人ひとり、自分の興味のアルテーマについてプレゼンをおこなう。前回のワークシートを活用。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	班別：調査活動その1	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	班別：調査活動その2	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	班別：調査活動その3	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	班別：調査活動その4	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	班別：調査活動その5	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	班別：調査活動のまとめと報告書の作成、各自レポート作成	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	発表準備と練習、報告書の印刷製本	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	発表会の開催	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	現代社会と人間			科目コード	X511-10				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 人文科学系		担当教員名	梅本 恵 高木 綾子					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	なし								
授業の概要	各学科教員・外部講師が各回の講義を担当し、目的について共通理解を図りつつ、オムニバス形式で開講する。詳細は教養総合科目現代社会と人間を参照のこと。								
学習目標	総合短期大学である本学の特徴を活かし、現代社会における地域課題と密接につながる「食と健康」、「保育と育児」、「情報と経営」、「福祉と介護」の各分野、その他現代社会と地域を理解するのに役立つ幅広い事柄を自らの専攻とは異なる学生と共に学習することによって、地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うことを目的とする。								
キーワード	現代を生きる - よりよい富山のために -								
テキスト・ 参考書等	講師によっては、授業前に資料を配付する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	現代社会と地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うための方法を身につけている。								
LO-2	現代社会と地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うための技能を身につけている。								
LO-3	現代社会と地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い思考力・判断力・表現力を持ち、実践的な展開や課題解決することが出来る。								
LO-4	地域について自ら考えようとする意欲があり、実践的な展開や課題解決方法について主体的に学びを深めることが出来る。								
LO-5	地域社会の一員であることの自覚を持ち、他者を尊重し、協力・協働を図る人間性を有している。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	毎回の振り返りシート(40%程度)、最終回のパネルディスカッションに関するレポート(60%程度)の内容を、LO1・LO2・LO3・LO4・LO5それぞれの観点で総合的に評価する。尚、追再試験は実施しない。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	学長 宮田 伸朗・富山国際大学 子ども育成学部教授 大藪 敏宏・富山近代史研究会会員舟竹 孝 「富山短期大学のDNAを探る - 「聖地」老田地区願海寺・野々上と「父祖」南原繁 - 」	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	0分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	0分
第2回	富山短期大学 食物栄養学科 教授 田淵 英一 「人生の勝ち組と負け組について考えよう」(ディベート)	
	【予習】講師についてプロフィール等をしらべ、関連しそうな新聞記事・雑誌等を読んでおく。	0分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	0分
第3回	富山短期大学 経営情報学科 准教授 高木 綾子 「相手の心に寄り添うおもてなしとは」	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	0分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	0分
第4回	富山短期大学 福祉学科 准教授 井上 理絵 「触れるケアの効果」	
	【予習】講師についてプロフィール等をしらべ、関連しそうな新聞記事・雑誌等を読んでおく。	0分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	0分
第5回	富山県美術館 館長 雪山 行二 「美術館に何が可能か」	
	【予習】講師についてプロフィール等をしらべ、関連しそうな新聞記事・雑誌等を読んでおく。	0分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	0分
第6回	富山短期大学 幼児教育学科 准教授 山川 賀世子 「子どもの心の発達」	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	0分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	0分
第7回	舟橋村長 金森 勝雄 「日本一ちいさな村から発信する「子育て共助のまちづくり」」	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	0分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	0分
第8回	学内講師によるパネルディスカッション	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	0分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	0分